

**桂川町子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書**

平成26年3月
桂 川 町

目 次

I 調査概要	1
II 就学前児童調査結果	
1 対象者及び保護者の特性	4
2 祖父母などにみてもらえる状況	5
3 保護者の就労状況について	6
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望	12
5 子育て支援サービスについて	17
6 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	20
7 病児・病後児保育について	23
8 一時預かりについて	24
9 放課後児童クラブについて	26
10 育児休業制度等の利用状況	30
11 自主的な活動への参加状況について	33
12 児童虐待について	34
13 子育て全般について	35
14 本町の子育て支援策についての満足度と重要度	36
III 小学生児童調査結果	
1 対象者及び保護者の特性	40
2 祖父母などにみてもらえる状況	42
3 保護者の就労状況について	43
4 放課後児童クラブについて	49
5 病児・病後児保育について	62
6 一時預かりについて	63
7 自主的な活動への参加状況について	65
8 児童虐待について	66
9 子育て全般について	67
10 本町の子育て支援策についての満足度と重要度	68
調査票	
就学前児童保護者用	73
小学生児童保護者用	93
概要版	107

/ 調査概要

1 調査の目的

国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、基礎自治体である市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。

これを受けて、平成 27 年度を初年度とする『桂川町子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、町民の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。

2 調査実施方法

調査は、以下の方法により実施しました。

区 分	就学前児童調査	小学生児童調査
1.調査対象者	就学前児童全員の保護者	小学校 1 年～6 年の全児童の保護者
2.調査方法	町内の幼稚園や保育所に通っている児童については、幼稚園、保育所で配布・回収し、それ以外の児童については、郵送による配布・回収を実施	町内の小学校に通っている児童については、小学校で配布・回収し、それ以外の児童については、郵送による配布・回収を実施
3.調査期間	平成 25 年 12 月 6 日～ 12 月 20 日（12 月 31 日）	平成 25 年 12 月 6 日～ 12 月 20 日（12 月 31 日）
4.回収状況	配布数 567 回収数 330 回収率 58.2%	配布数 511 回収数 301 回収率 58.9%

(※)「3.調査期間」の（ ）内は最終締切日

3 集計にあたっての注意点

グラフは、パーセントで示しています。

グラフ中に表示している「n=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

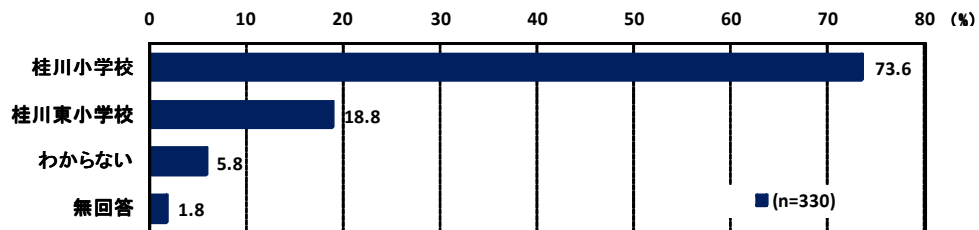
算出されたパーセントは、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合もあります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

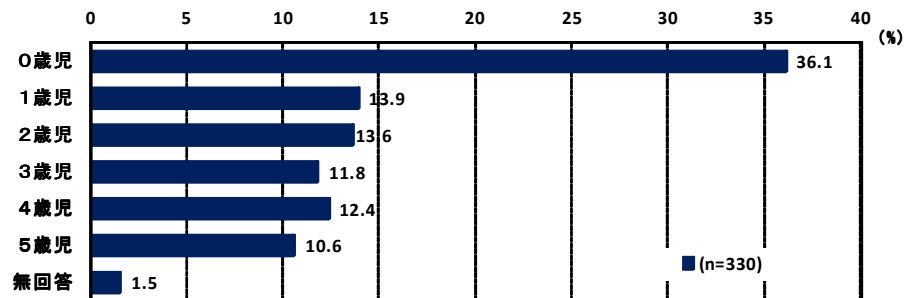
// 就学前児童調査結果

1. 対象者及び保護者の特性

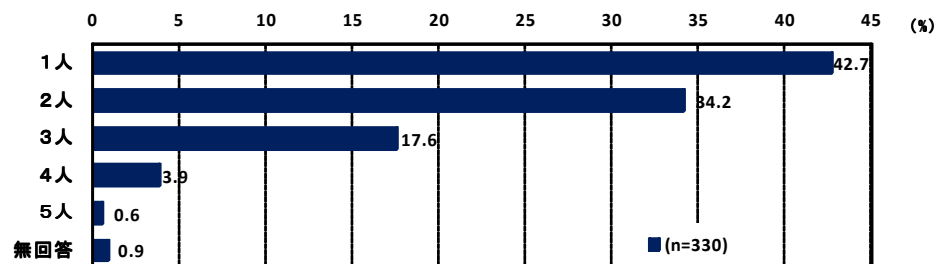
問1. お住まいの小学校を教えてください。(1つに○)



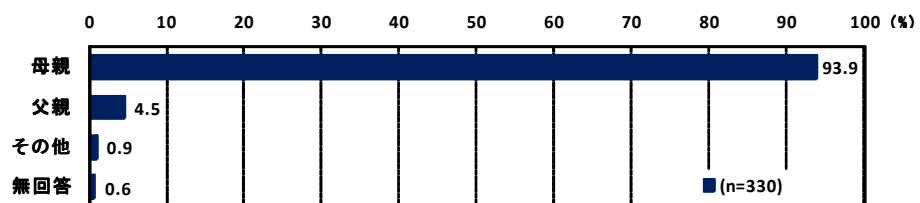
問2. あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。



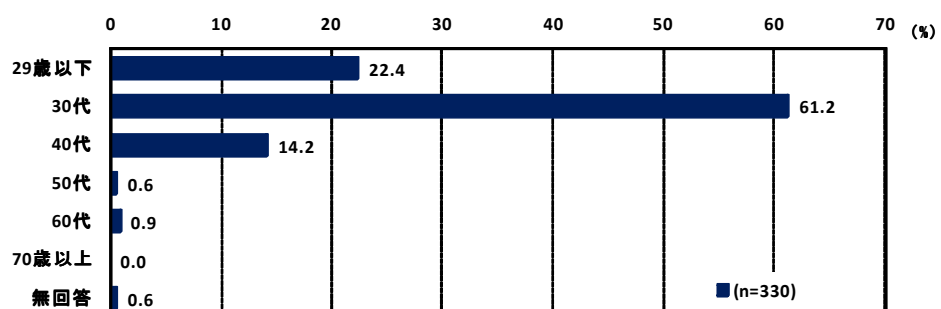
問3. あて名のお子さんにきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。



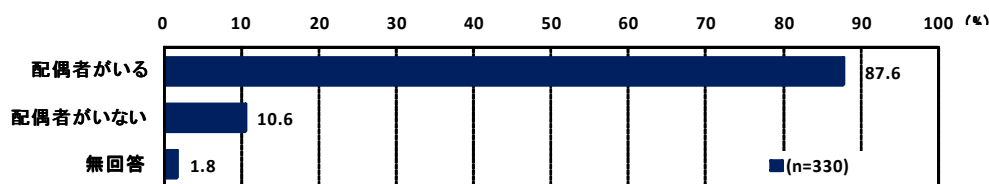
問4. あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



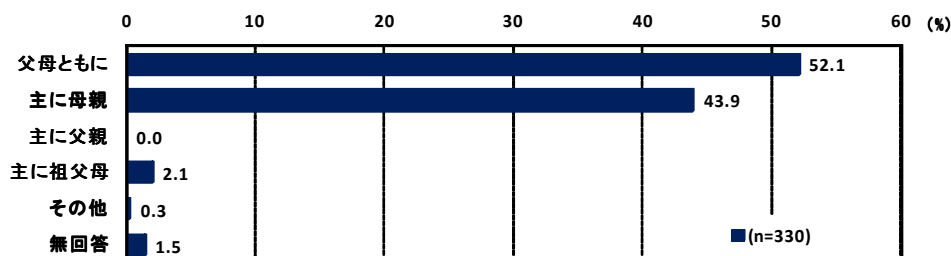
問5. この調査票にご回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)



問6. この調査票にご回答いただく方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



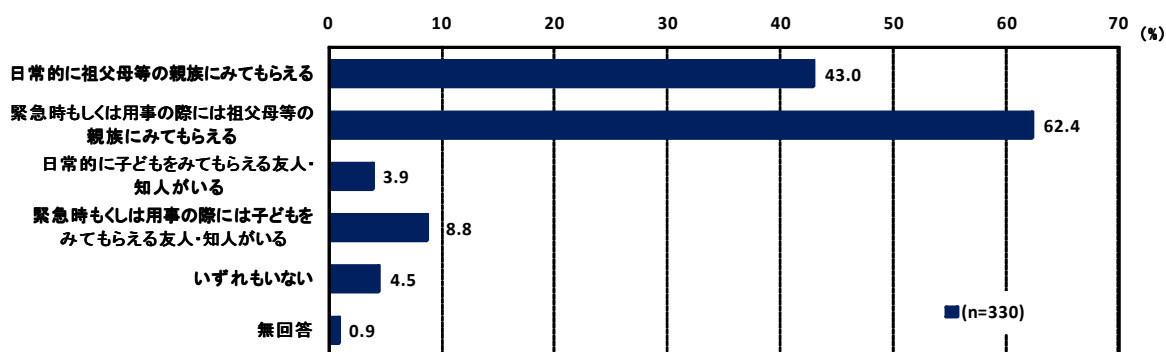
2. 祖父母などにみてもらえる状況

祖父母等にみてもらふことのできる人について、その状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.4%と全体の約3分の2を占めています。

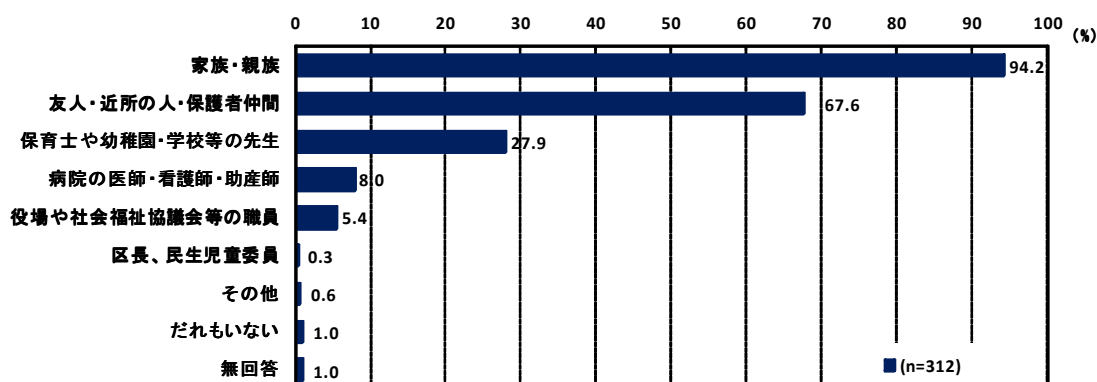
また子育てについて、気軽に相談できる人は、「家族・親族」の94.2%が目立って多く、以下「友人・近所の人・保護者仲間」(67.6%)と続いています。前回調査と比較すると、「家族・親族」がもっとも多く、ついで「友人・近所の人・保護者仲間」が多くなっている点では、同様の結果となっています。

(※) 前回調査：平成21年3月実施 就学前児童 調査数545 回収数237 回収率43.5%

問8. 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



問9. 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)



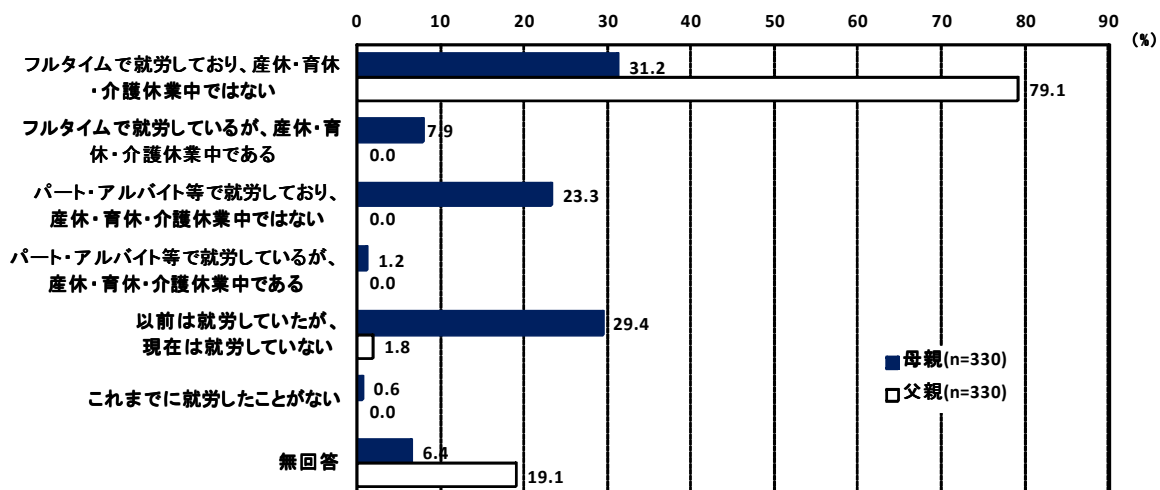
3. 保護者の就労状況について

3-1. 母親(父親)の就労形態

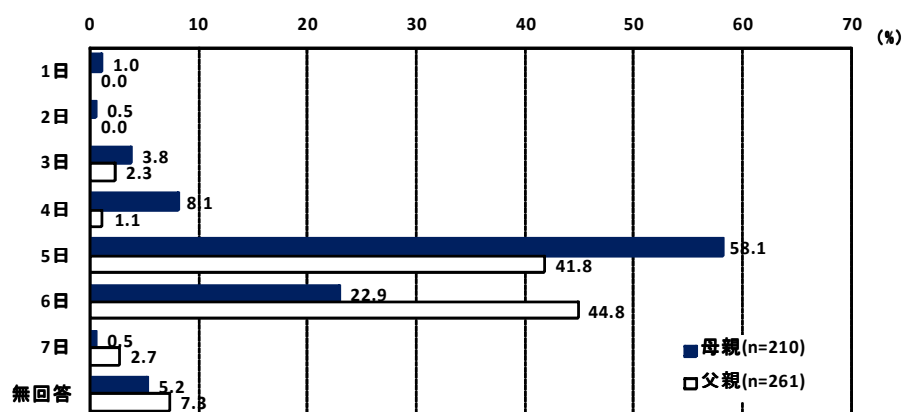
母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 31.2%でもっとも多く、ついで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 29.4%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 23.3%となっています。

1 週当たり就労日数は、「5 日」がもっとも多く、平均で母親が 5.0 日、父親が 5.4 日となっています。また 1 日当たり就労時間数は「8～9 時間未満」が 43.8%でもっとも多く、平均で母親が 6.5 時間、父親が 9.3 時間となっています。出勤・帰宅時間についてみると、母親の出勤時間は「8 時台」が 50.0%、ついで「7 時台」が 23.3%で、帰宅時間は「18 時台」の 41.0%がもっとも多くなっています。

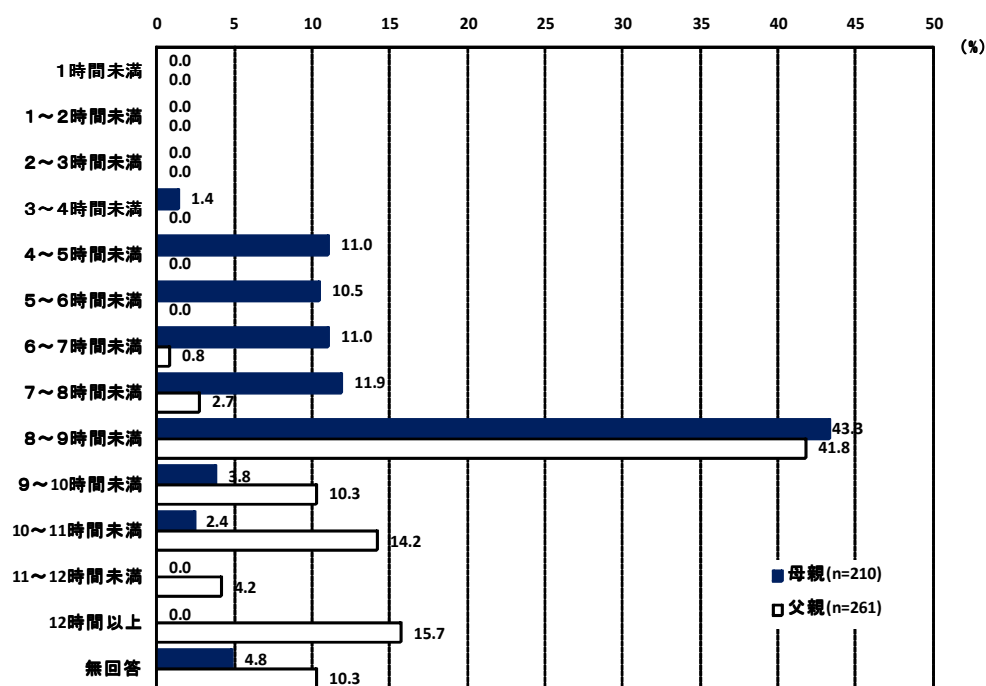
問10. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)



【1週間当たり就労日数】 平均 母親 5.0日 父親 5.4日

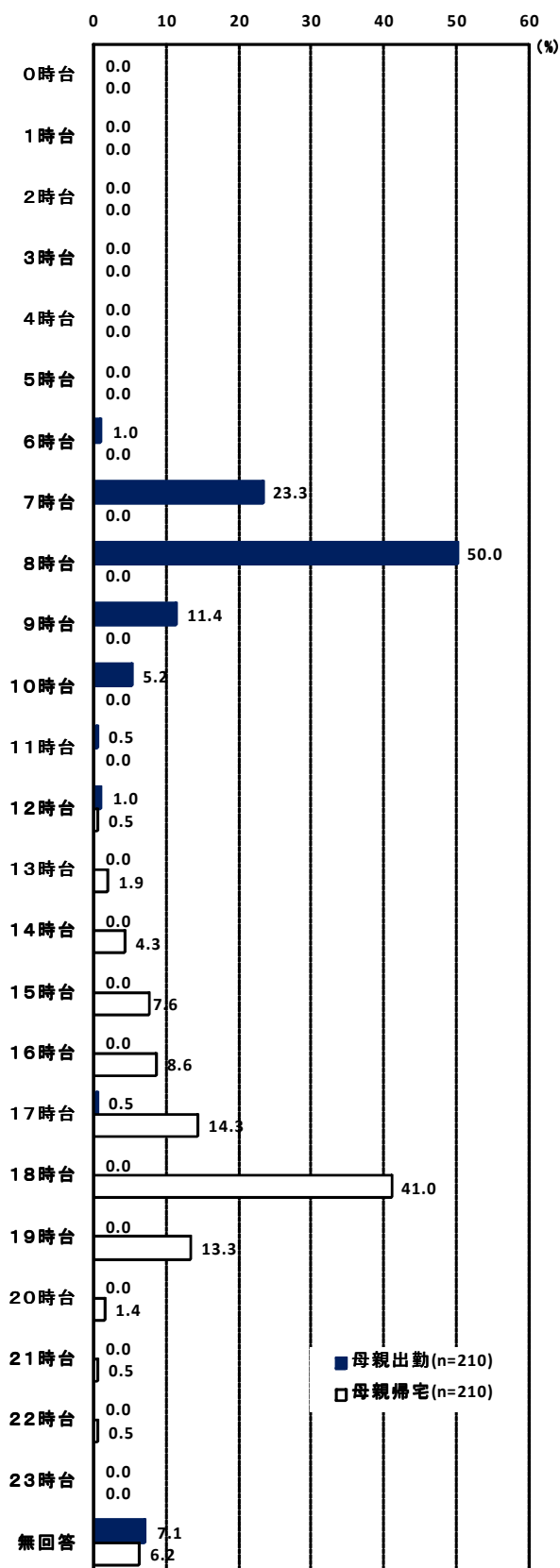


【1日当たり就労時間数】 平均 母親 6.5時間 父親 9.3時間

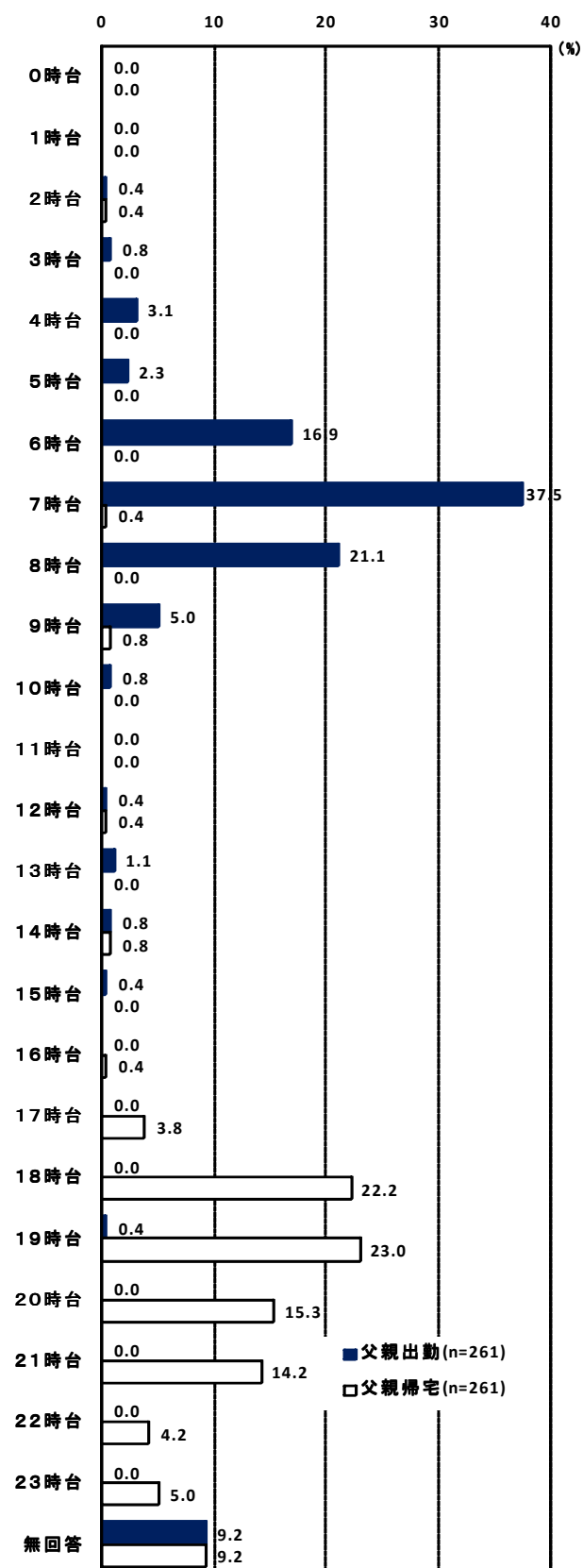


【出勤・帰宅時刻】 平均 母親 出勤 8時04分 帰宅17時20分
 父親 出勤 7時12分 帰宅19時13分

【母親】



【父親】



■ 就労形態による世帯累計 ■

サンプル数		330							
		父				親			
		フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答・いない	
母	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	87 26.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	0 0.0%	13 3.9%	
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	21 6.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.5%	
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	57 17.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.6%	0 0.0%	18 5.5%	
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	
親	以前は就労していたが、現在は就労していない	83 25.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	13 3.9%	
	これまでに就労したことがない	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	無回答・いない	8 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	0 0.0%	13 3.9%	

上段：実数 下段：サンプル数を母数とするパーセント

共働き世帯	168	50.9%
専業主婦世帯	99	30.0%
父親就労無回答世帯	63	19.1%
母親就労無回答世帯	11	3.3%

母親・父親の就業形態からみた家族類型をみると、共働き世帯が 50.9%でもっとも多く、ついで、母親が専業主婦の世帯が、30.0%となり、この2つの類型が大半を占めています。

共働き世帯の就業形態では、母親が「フルタイム」の比率が「パート・アルバイト」の比率を 15 ポイント近くほど上回っており、教育・保育サービス別の今後の必要量に影響を及ぼすと予想されます。

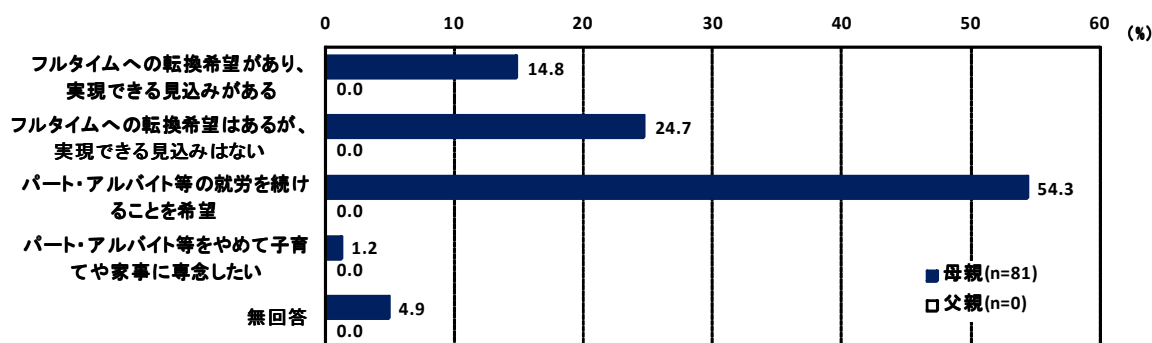
3-2. フルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 54.3%でもっとも多く、過半数を占めています。ついで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 24.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 14.8%となっています。

全体の 4 割近くの人々がフルタイムへの転換を希望していますが、そのうち実現できる見込みがあるのは 14.8%にとどまっており、フルタイムへの転換の実現が厳しい状況にあることがうかがえます。

問 10 で「3」または「4」に○をした方にうかがいます。

問 10-1. フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)



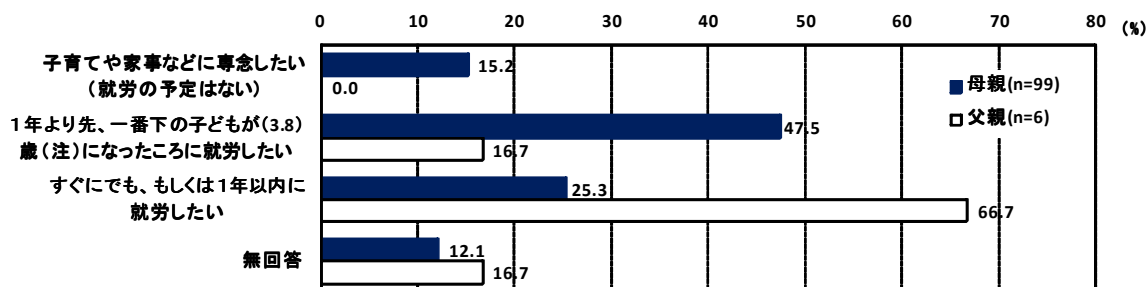
3-3. 現在就労していない母親(父親)の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 25.3%、「1年より先で、一番下の子どもが(3.8)歳になったところに就労したい」が 47.5%と、全体の就労意向は 7 割を超えており、就労意欲は強くなっています。

問 10 で「5」または「6」に○をした方にうかがいます。

問 10-2. 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)



(注) () 歳の数字は、平均年齢

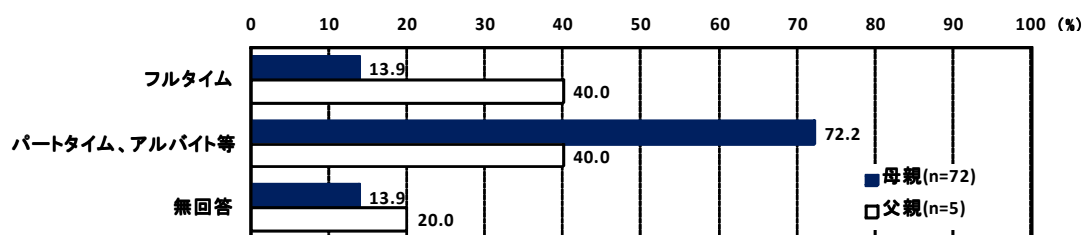
(2) 就労希望の形態

母親が希望する就労形態としては、「フルタイム」は 13.9%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等」が 72.2%と圧倒的に多くなっています。

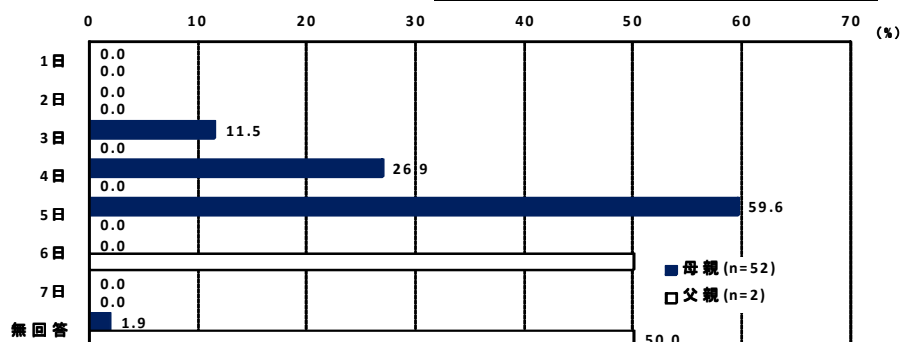
その際の就労時要件としては、希望就労日数は週当たり 5 日が多かったと多く、平均で 4.5 日、希望就労時間は 1 日当たり 5～6 時間未満が多かったと多く、平均で 5.1 時間となっています。

問 10-2 で「2」または「3」の時期に関係なく区間に○をした方にうかがいます。

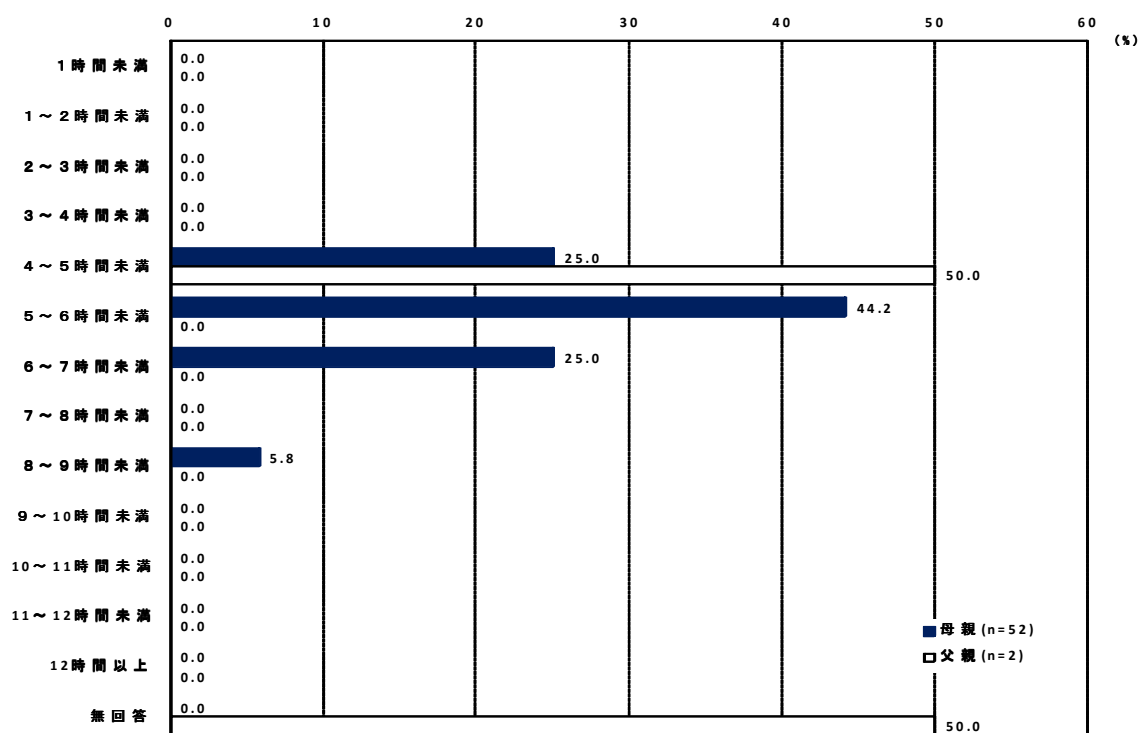
問 10-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)



【パートタイム、アルバイト等 1 週当たり就労日数】平均 母親 4.5 日 父親 6.0 日



【パートタイム、アルバイト等 1 日当たり就労時間】平均 母親 5.1 時間 父親 4.0 時間



4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望

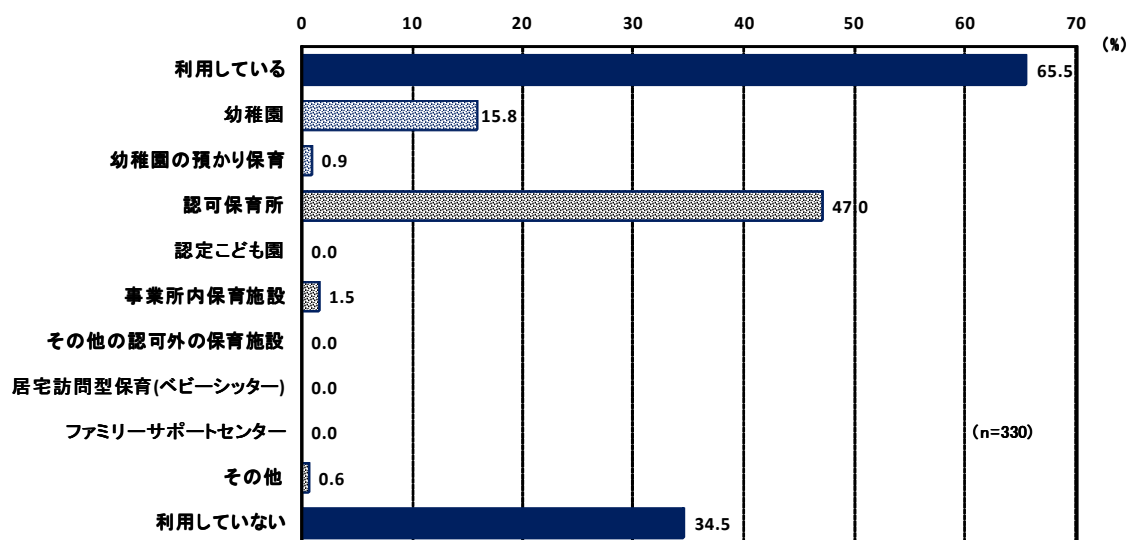
4-1. 利用している事業

何らかの教育・保育の事業を利用している人は、65.5%であり、そのうち、利用している教育・保育の事業としては、「認可保育所」が 47.0%と圧倒的に多く、ついで「幼稚園」の 15.8%が続き、それ以外はいずれも数パーセントの利用率となっています。

問 11. お子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに○)

問 11で「1」に○をした方にうかがいます。

問 11-1. お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。

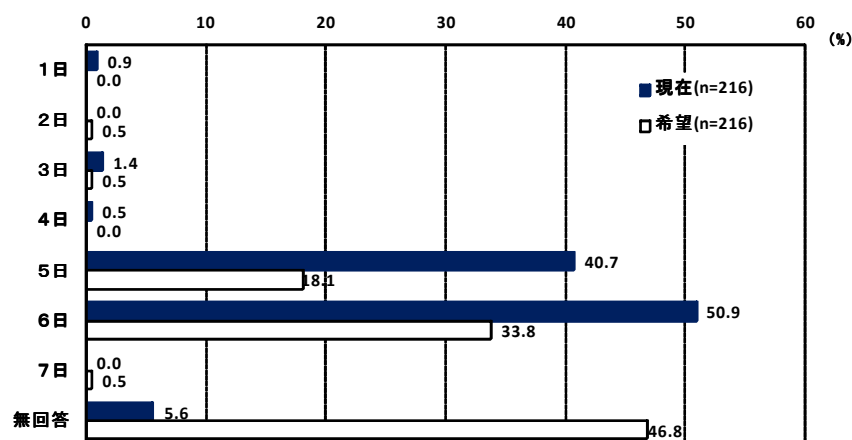


4-2. 保育事業の利用日数と利用時間

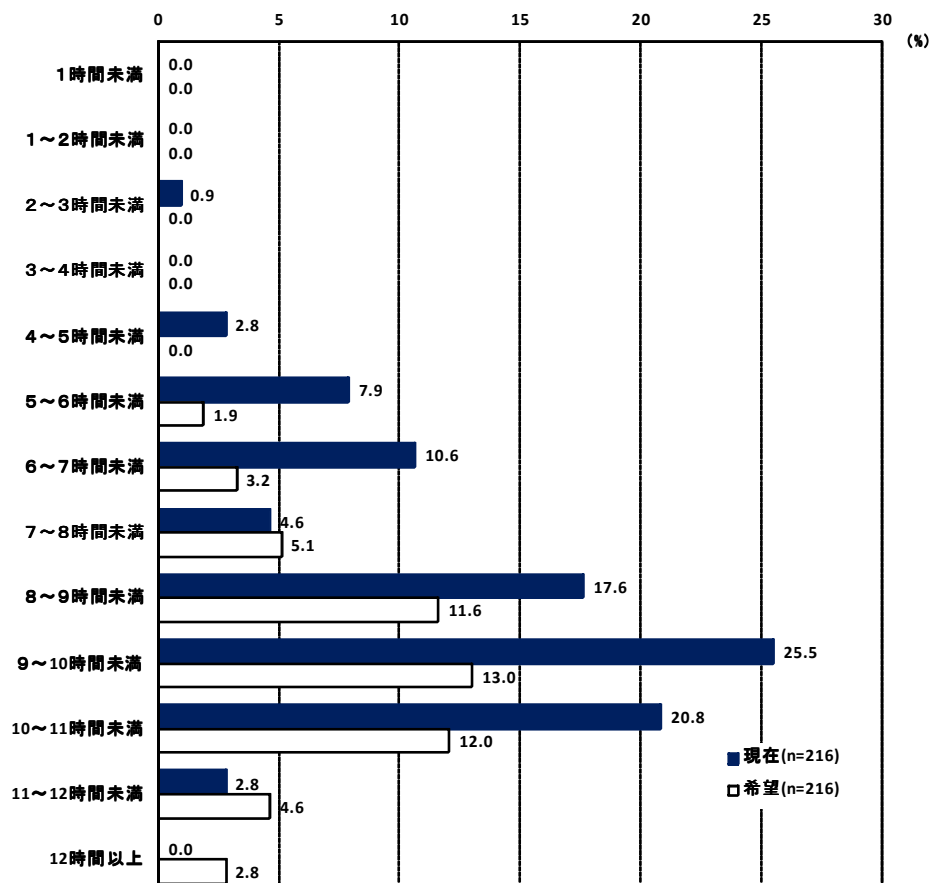
教育・保育の事業を利用している全体の1週当たりの保育日数は、「6日」が50.9%、「5日」が40.7%とこの2項目で大半を占め、平均5.5日となっています。希望する保育日数も同様に「6日」がもっとも多くなっています。1日当たりの保育時間は現在、希望ともに「9～10時間未満」がもっとも多く、平均で現在が8.1時間、希望が8.5時間となっています。保育の開始時刻は、「8時台」が44.4%、「9時台」が29.6%と続いており、終了時刻は「17時台」が42.1%、「18時台」が22.2%となっています。希望開始・終了時刻も同様に、「8時台」及び「17時台」がもっとも多くなっています。

問11-2. 現在の利用状況と、希望する利用日数等を具体的にお答えください。(全体)

【1週当たり保育日数】 平均 現在 5.5日 希望 5.6日

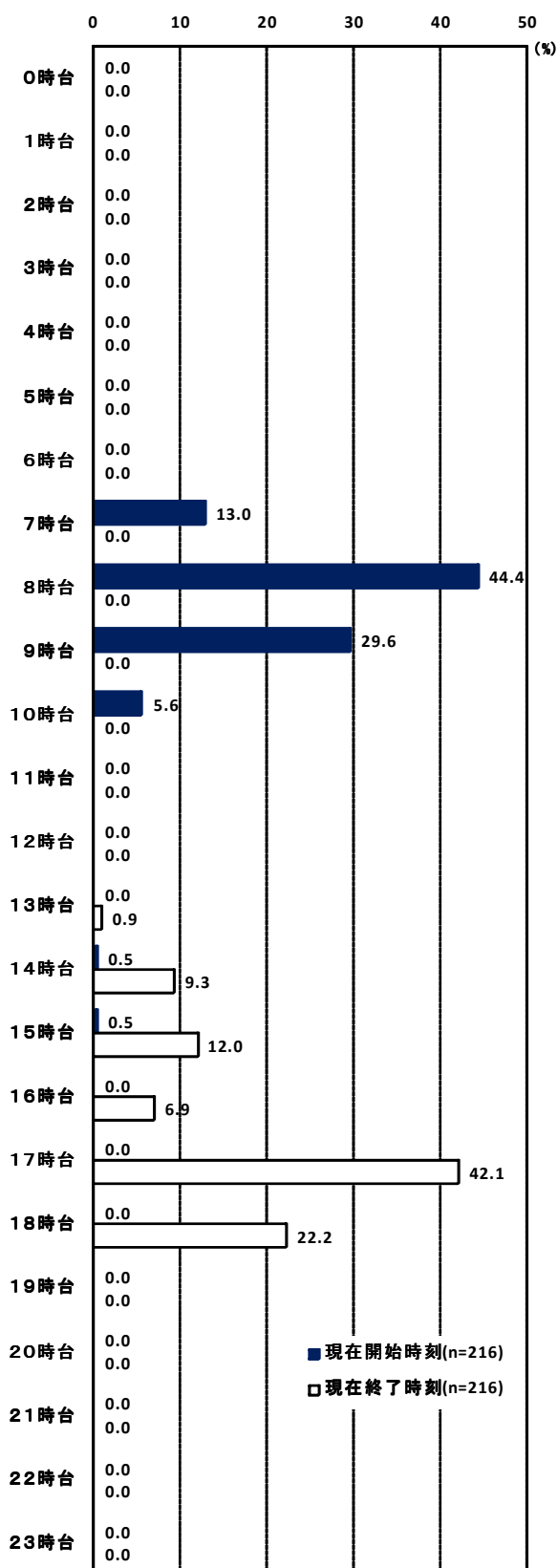


【1日当たり保育時間】 平均 現在 8.1時間 希望 8.5時間

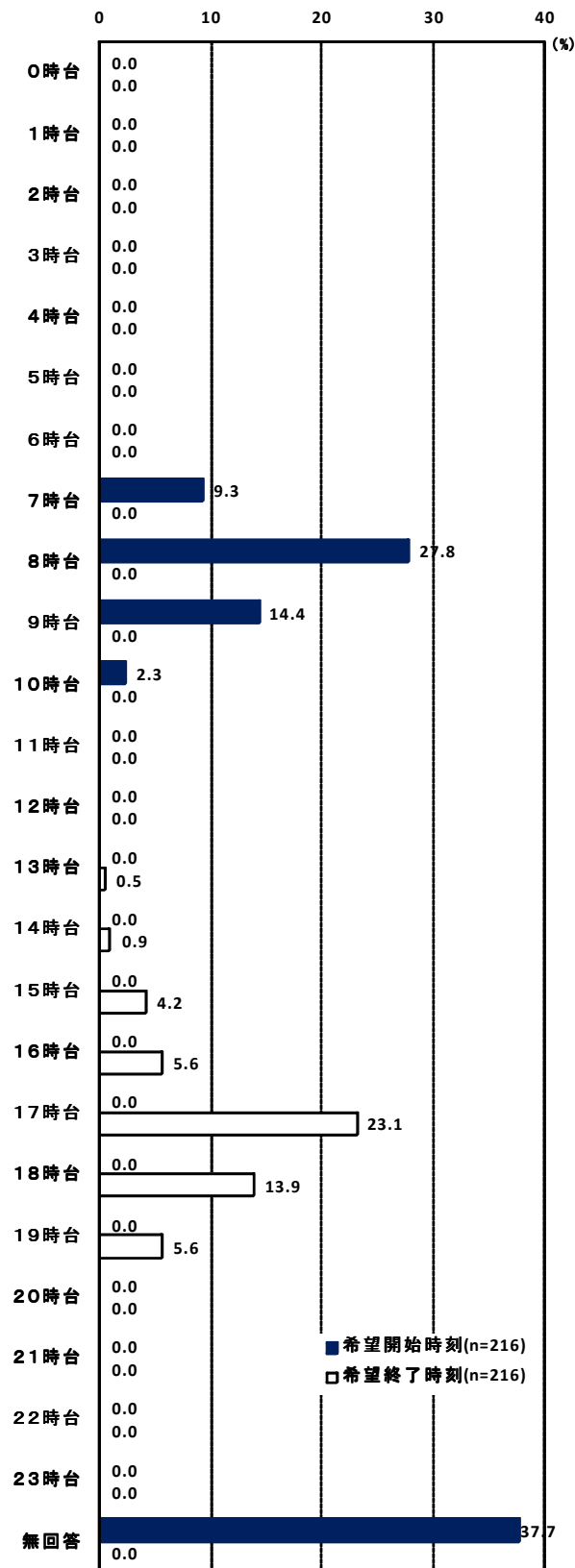


【保育開始・終了時刻】 平均 現在 開始 8 時 29 分 終了 16 時 46 分
希望 開始 8 時 21 分 終了 17 時 16 分

【現在】



【希望】

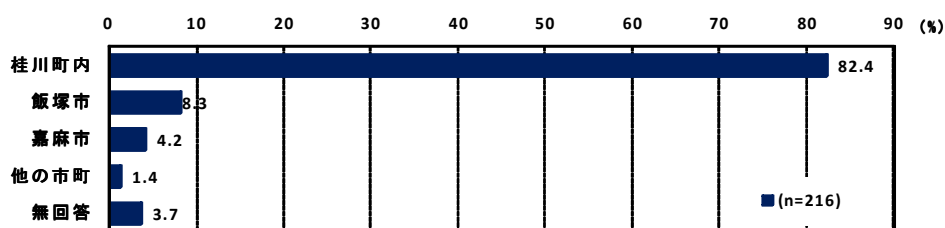


4-3. 教育・保育事業の実施場所と評価

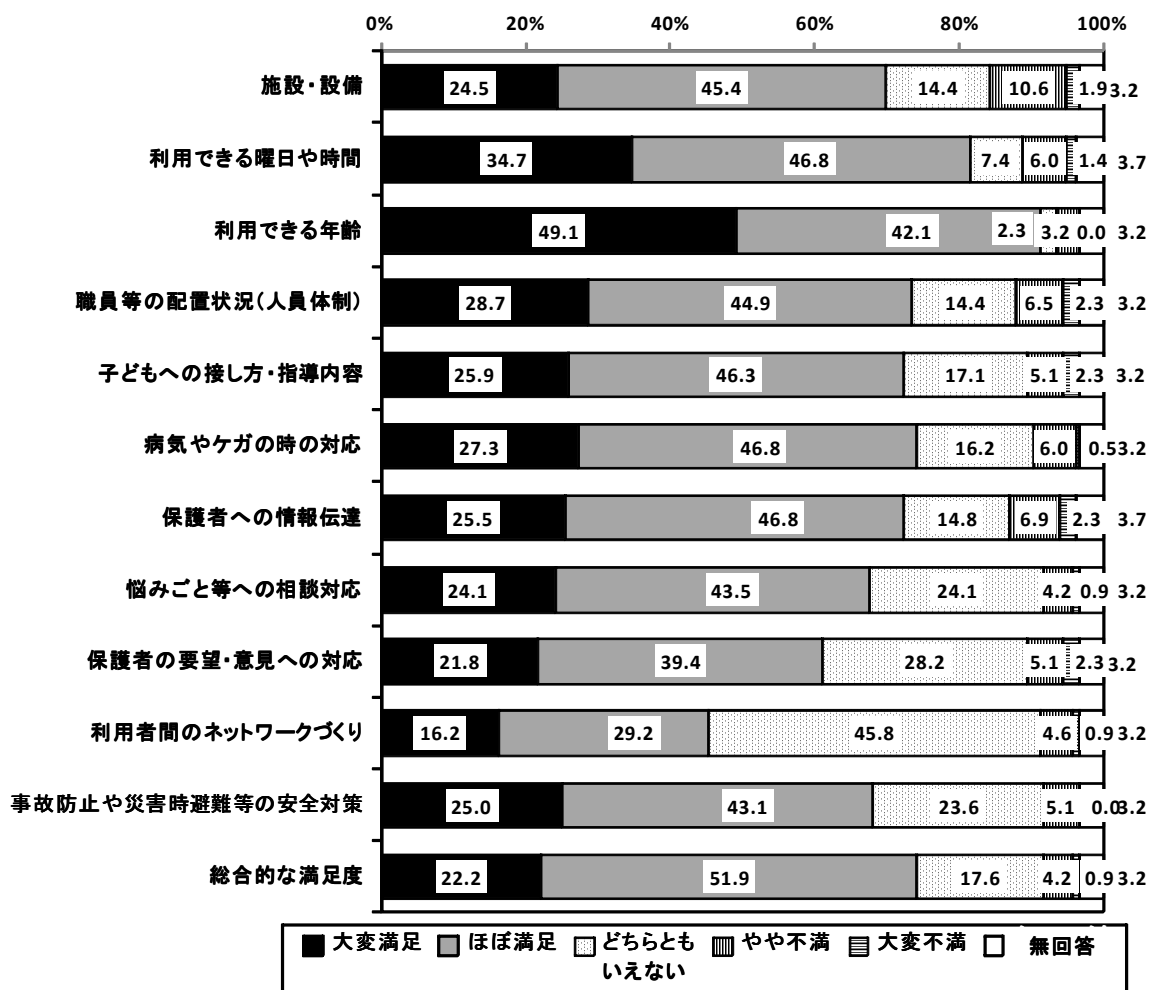
現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「桂川町内」が82.4%で8割以上を占めています。

現在利用している幼稚園や保育所に対する満足度については、「利用できる年齢」が「満足」「ほぼ満足」を合わせて9割以上の満足度となっており、ついで「利用できる曜日や時間」が8割以上で、この2項目が目立って多くなっています。一方、「利用者間のネットワークづくり」は「満足」「ほぼ満足」を合わせて45.4%で、半数以下となっています。利用者間で情報交換や交流ができるネットワークづくりに対するニーズがうかがえます。

問 11-3. 主に利用している事業の実施場所はどこですか。(1つに○)



問 11-4. 現在、利用されている幼稚園や保育所に対してどのように感じていますか。(1～12 及び総合的な満足度それぞれ1つに○)

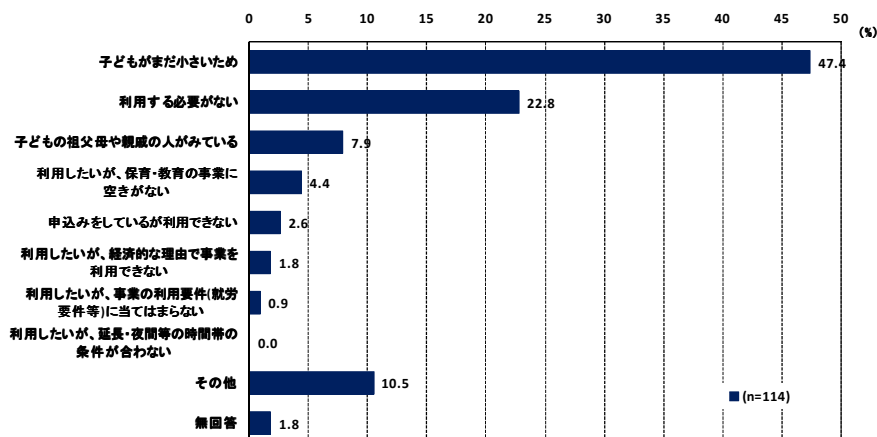


4-4. 利用していない理由

教育・保育の事業を利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」(47.4%)がもっとも多くなっており、ついで「利用する必要がない」は22.8%となっています。

問 11で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

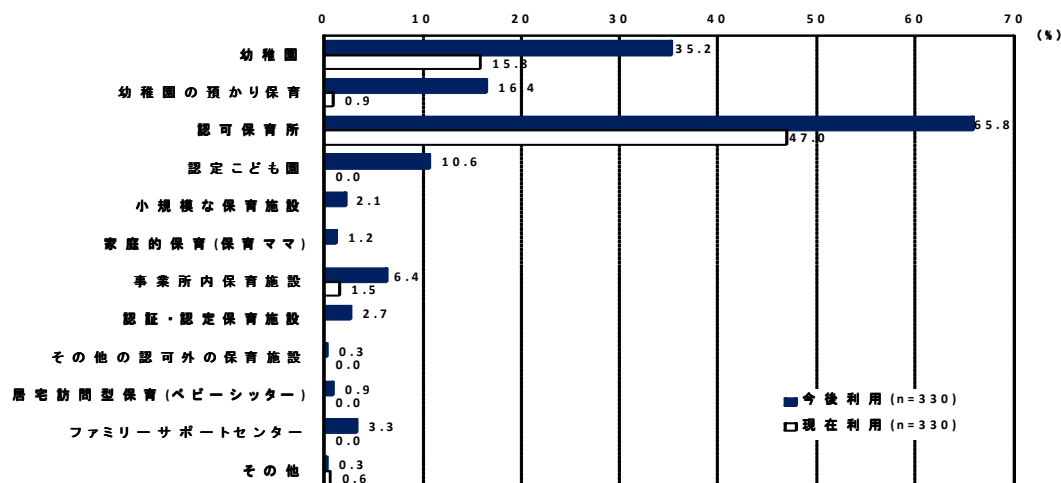
問 11-5. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



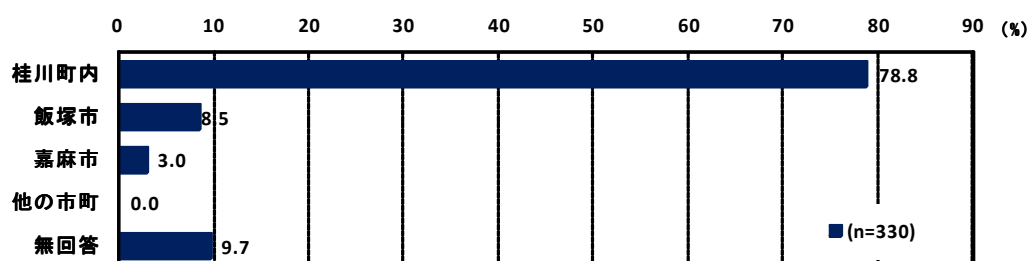
4-5. 今後の利用希望

今後、定期的にご利用したい事業としては、「認可保育所」が65.8%、「幼稚園」が35.2%で、この2項目で大半を占めており、利用したい場所については「桂川町内」の希望が78.8%となっています。

問 12. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



問 12-1. 問 12 で選択した事業を利用したい場所はどこですか。(1つに○)



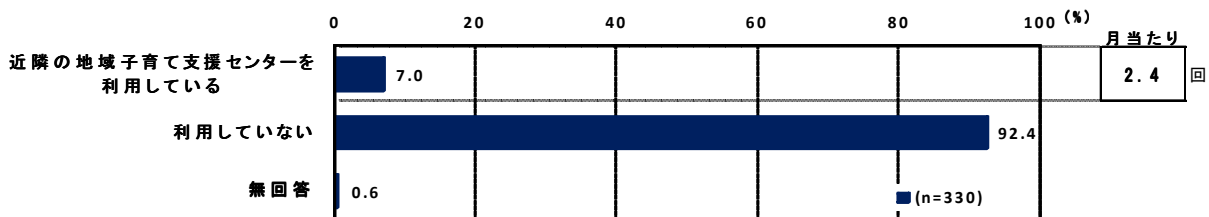
5. 子育て支援サービスについて

5-1. 近隣の地域子育て支援センターの利用状況等

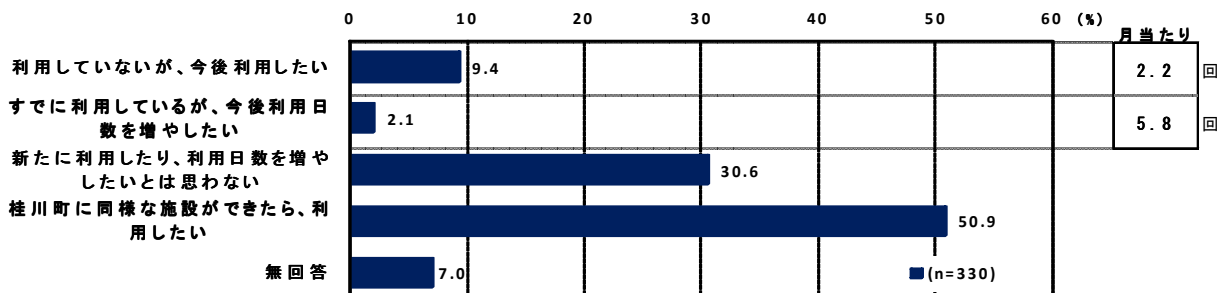
近隣の「地域子育て支援センター」の利用状況についてみると、「近隣の地域子育て支援センターを利用している」と答えた人の割合は 7.0%で、月当たり利用日数は平均 2.4 回となっています。

また今後の利用意向についてみると、「利用していないが今後利用したい」は 9.4%で月当たり 2.2 回の利用を希望しており、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 2.1%で月当たりの利用希望日数は 5.8 回となっています。「桂川町に同様な施設ができれば利用したい」と答えた割合は 50.9%で、過半数が桂川町内に地域子育て支援センターの設置を希望しています。

問 13. 現在、桂川町には「地域子育て支援センター」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)はありませんが、近隣の市町の地域子育て支援センターを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)また、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。



問 14. 問 13 の地域子育て支援センターについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いますか。(1つに○)また、希望するおおよその利用回数(頻度)をお答えください。



5-2. 子育て支援サービスの認知度、利用状況、利用希望等

【認知度】

各種の子育て支援サービスの認知状況としては、「乳幼児健康診査」(96.1%)、「新生児訪問」(86.1%)、「ピヨピヨ教室」(82.7%)が8割以上の認知率と目立って高く、「ブックスタート」も79.4%で続いています。一方、「リフレッシュ事業」(50.3%)、「すくすく広場・サロン事業」(51.8%)、「手作りいろいろ教室・子育て支援講座」(52.1%)に対する認知率は半数程度にとどまりました。

【利用状況】

利用経験では、「乳幼児健康診査」は89.7%と目立って高い利用率となっています。以下「新生児訪問」の71.2%、「ブックスタート」の67.3%、「児童遊園(地域の公園)」の63.6%と続いています。認知度が低めであった「リフレッシュ事業」「手作りいろいろ教室・子育て支援講座」および「ミニミニお話し会」は、いずれも利用率も10%台と低調です。

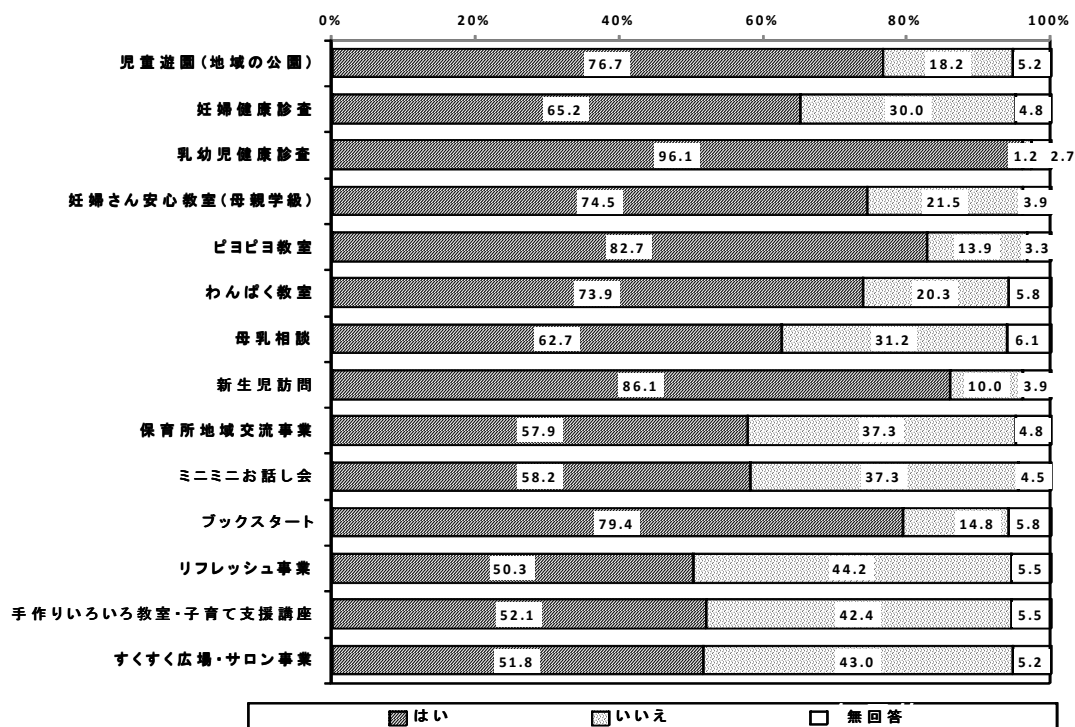
【利用希望】

今後の利用意向としては、認知度・利用率ともに高めであった「児童遊園(地域の公園)」が、利用意向も76.1%と高く、堅調です。同様に「乳幼児健康診査」(73.3%)、「ブックスタート」(63.3%)も高めの利用意向を示しています。

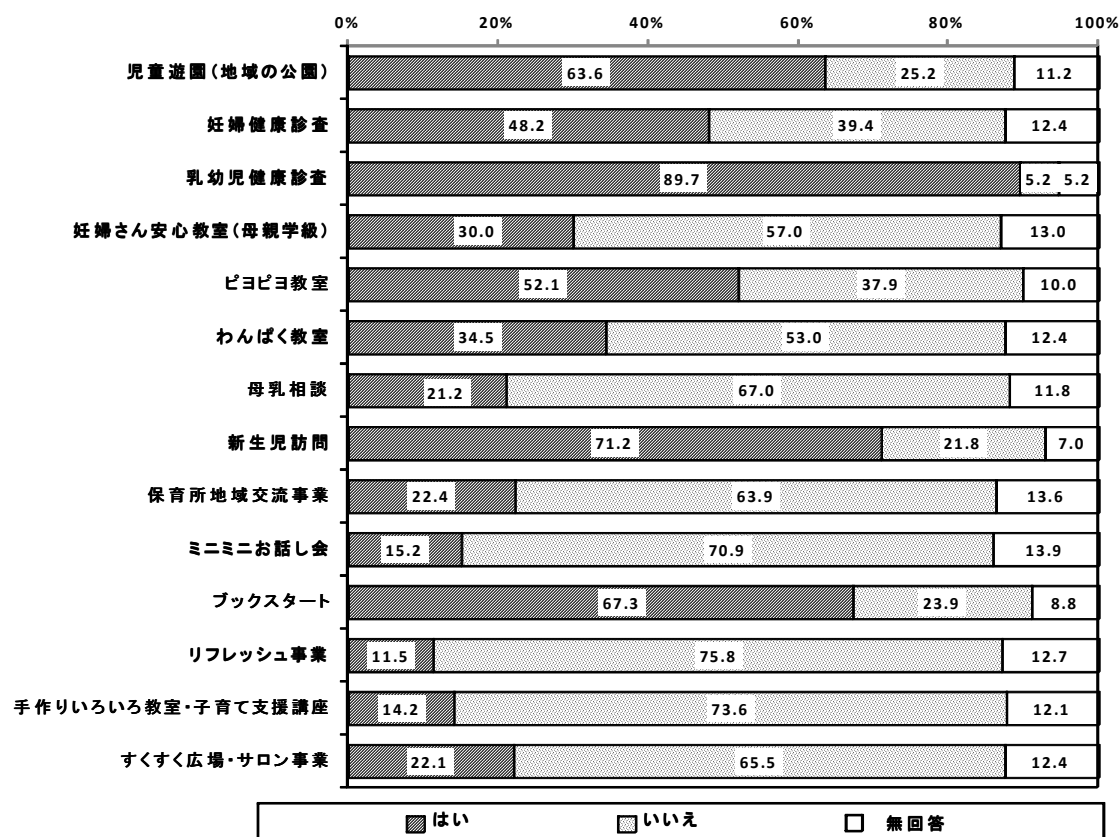
その他、認知度が50%台、利用率10%~20%台とともに低めであった「リフレッシュ事業」「手作りいろいろ教室・子育て支援講座」「すくすく広場・サロン事業」などは4割程度の利用意向率となっており、利用意向はあるものの、実際の利用につなげにくい現状の問題点の改善が必要ながうかがえます。

問 15. 下記の1~14のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A~Cのそれぞれについて、1つに○)

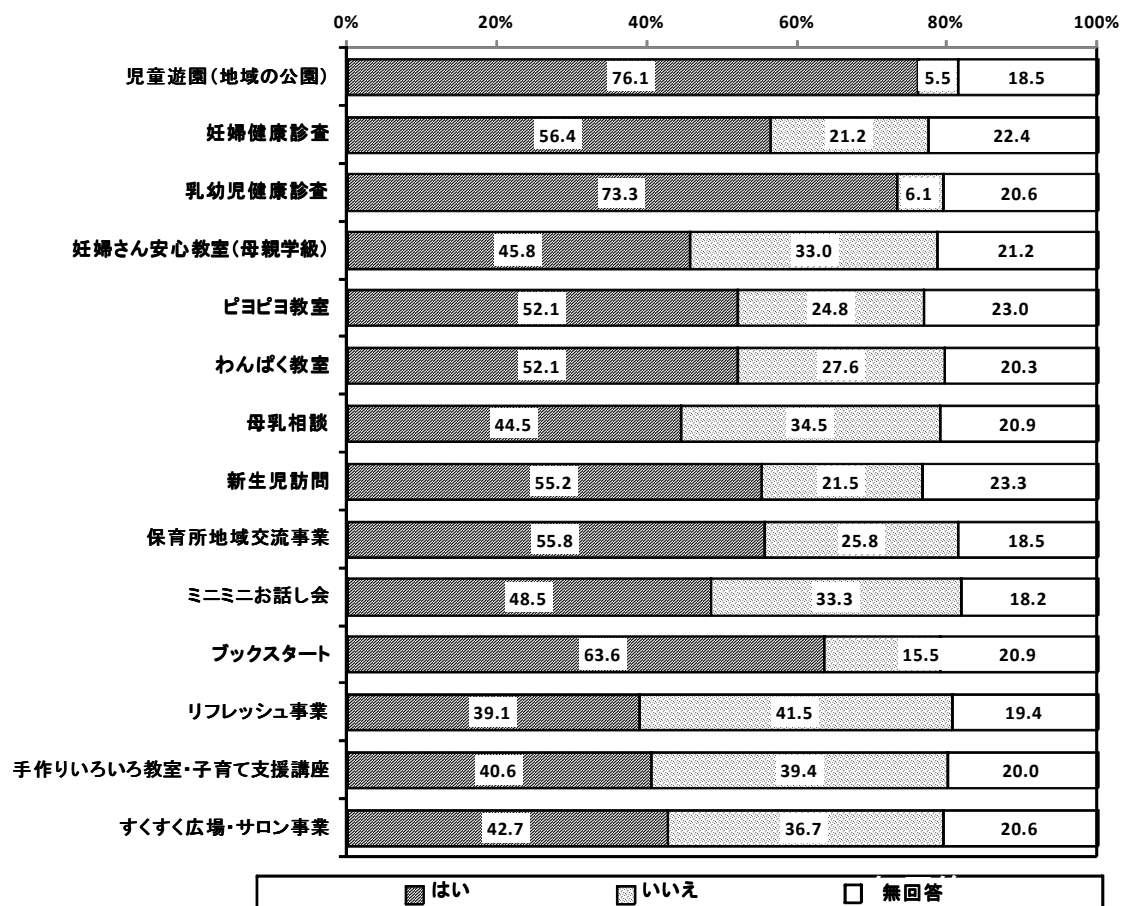
【知っている】



【利用したことがある】



【今後利用したい】



6. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

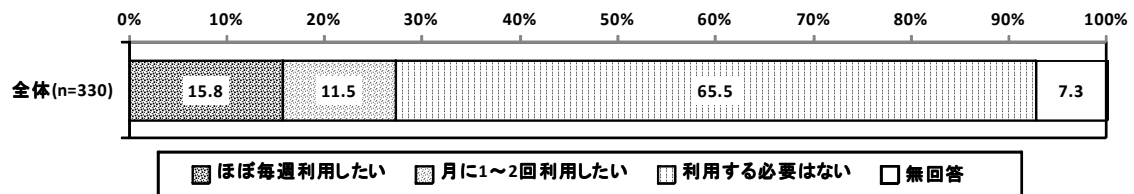
6-1. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

土曜日・日曜日の保育事業の利用希望についてみると、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて 27.3%となっており、日曜日では 18.5%とさらに低くなっています。

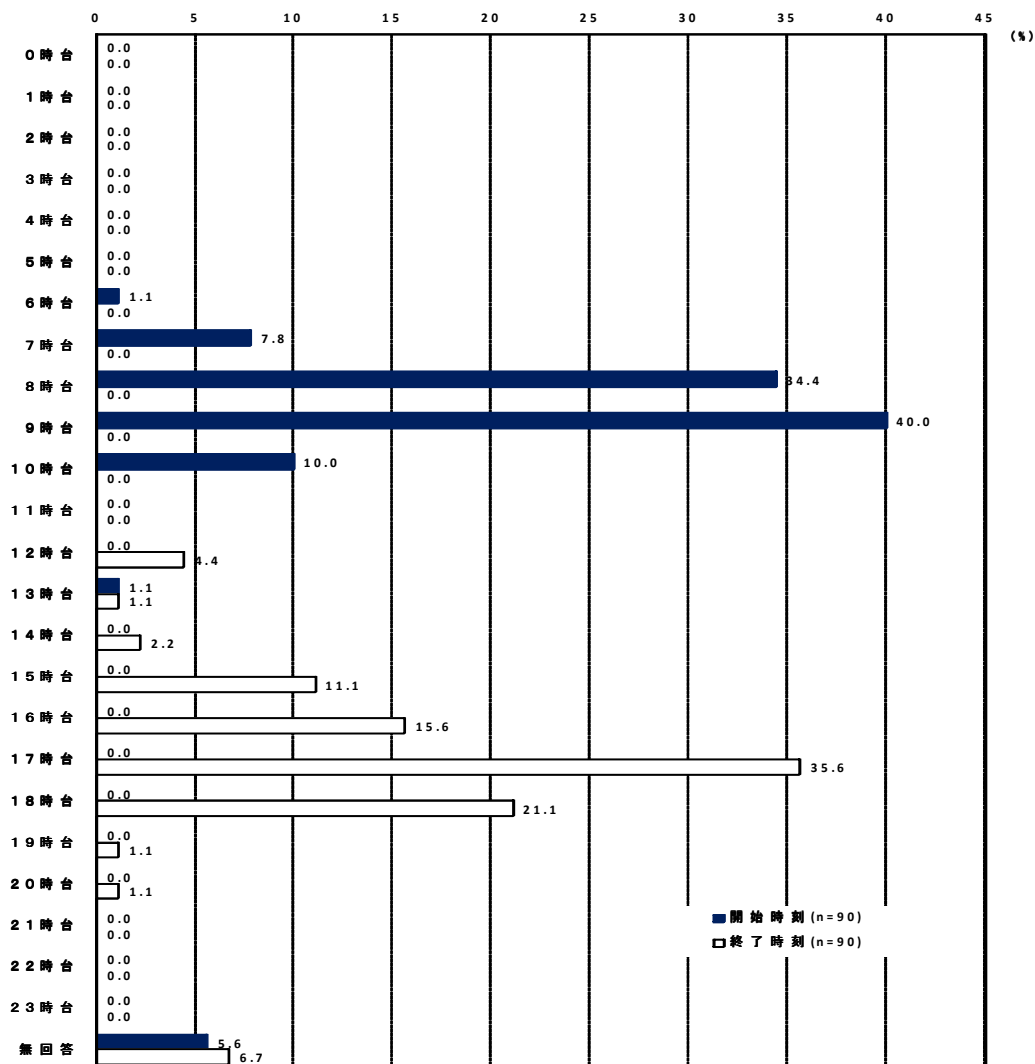
利用時間帯としては、開始時刻は土日とも「8 時台」と「9 時台」が多く、終了時刻は土曜日では「17 時台」、日曜日では「18 時台」がもっとも多くなっています。

問 16. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

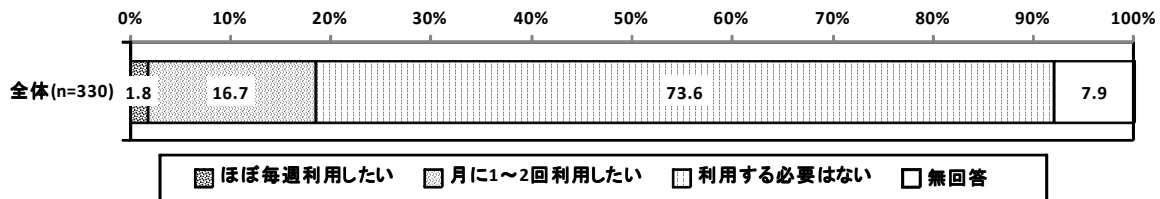
(1) 土曜日



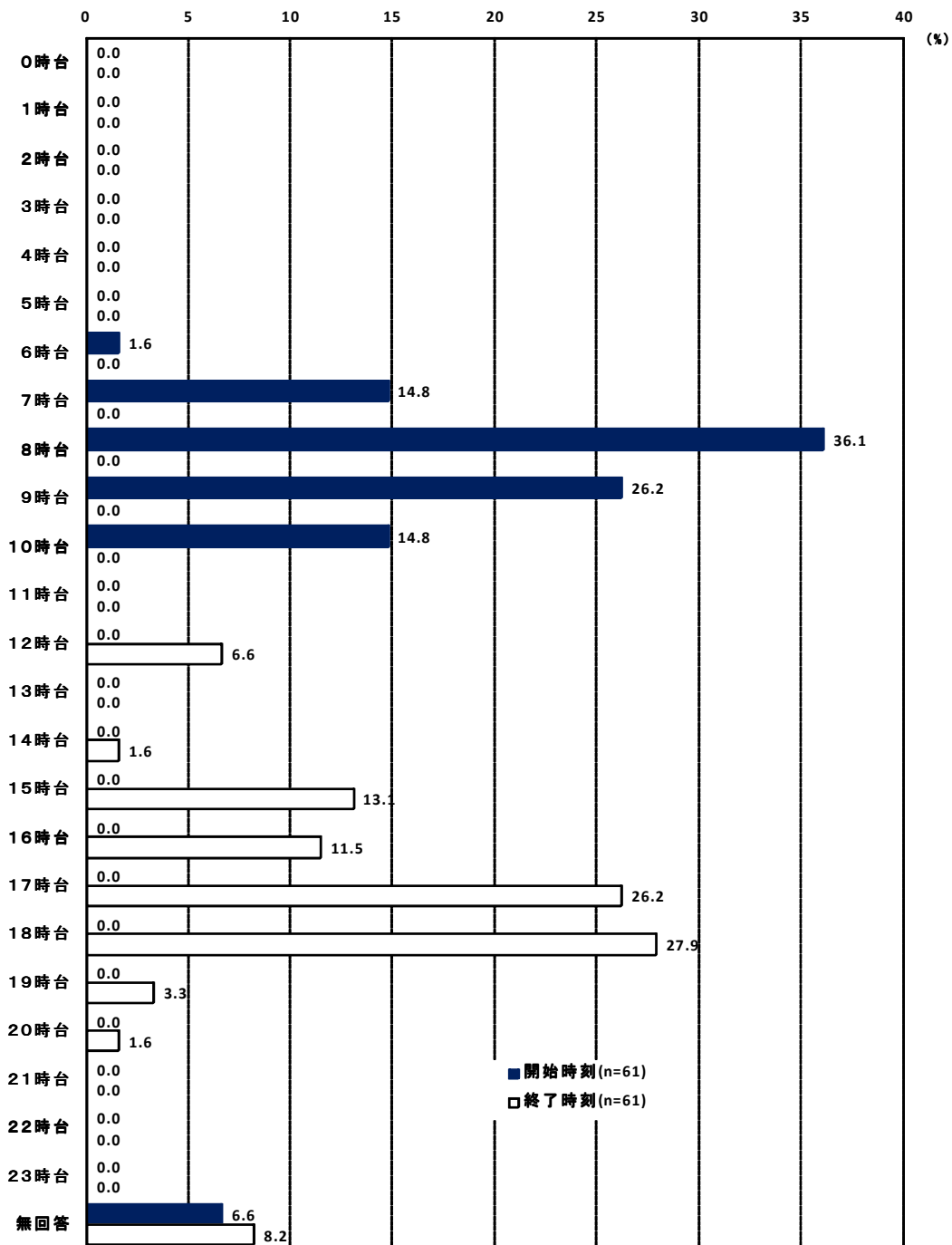
【開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 40 分 終了 16 時 37 分



(2) 日曜日・祝日



【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 32分 終了 16時 40分



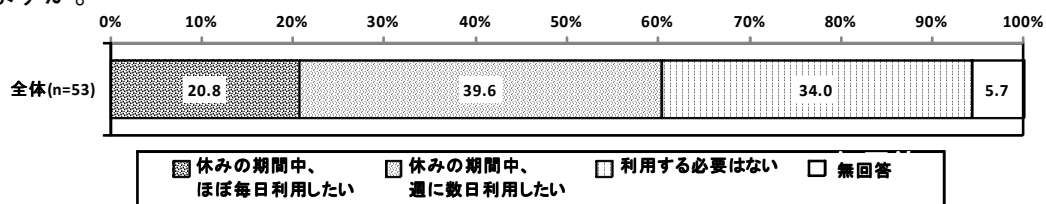
6-2. 幼稚園を利用中の方の利用希望

現在幼稚園を利用している方の、長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせた割合が60.4%と、利用希望は6割を超えています。

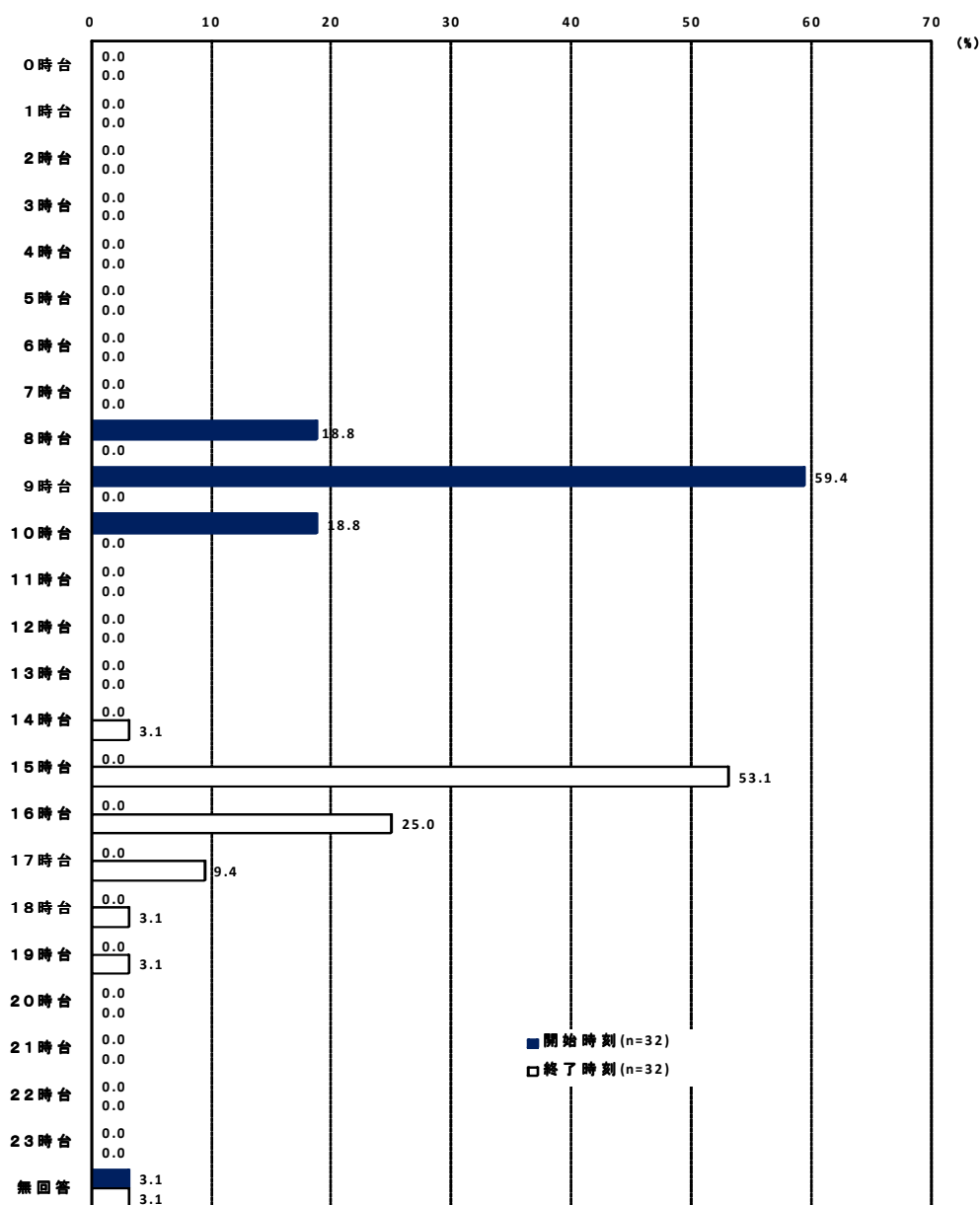
また希望開始時刻は「8 時台」が 59.4%でもっとも多く、希望終了時刻は「15 時台」が 53.1%となっています。

現在、幼稚園を利用している方にうかがいます。

問 17. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。



【開始・終了時刻】 平均 開始 9 時 04 分 終了 15 時 43 分



7. 病児・病後児保育について

7-1. 過去1年間に通常の保育事業を利用できなかったことの有無

この1年間に、子どもが病気やケガで通常の保育事業が利用できなかった経験についてみると、「あった」が69.0%と7割近くを占めています。

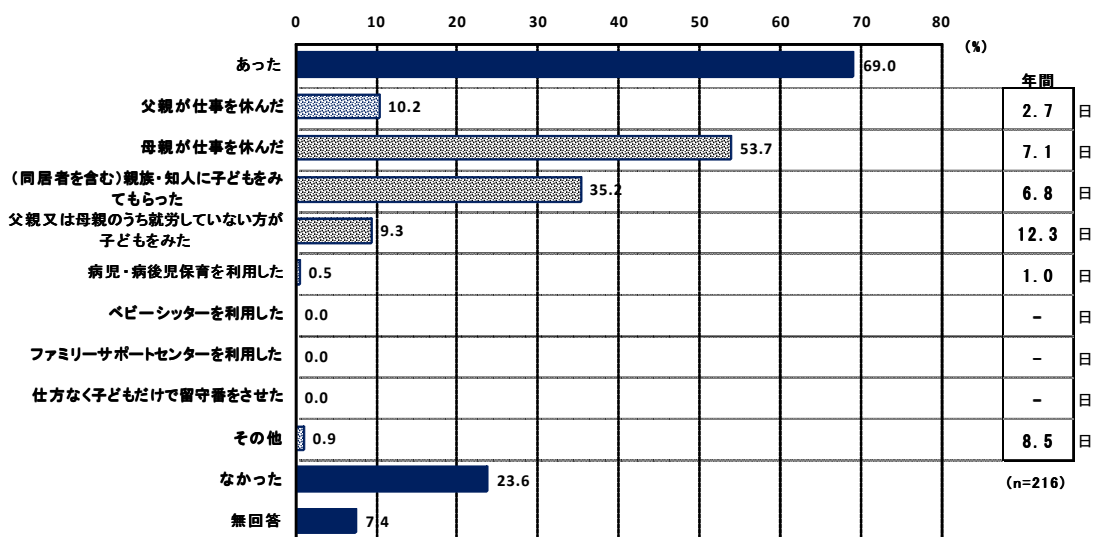
その対処方法としては、「母親が仕事を休んだ」が53.7%と半数以上を占め、その平均日数は7.1日です。ついで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が35.2%で、平均日数6.8日、「父親が休んだ」が10.2%で平均日数2.7日となっています。一方、「病児・病後児保育を利用した」と答えた割合はわずか0.5%にとどまっています。

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方(問11で「1」に○をつけた方)にうかがいます。

問18. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
(1つに○)

問18で「1」に○をした方にうかがいます。

問18-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、
それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

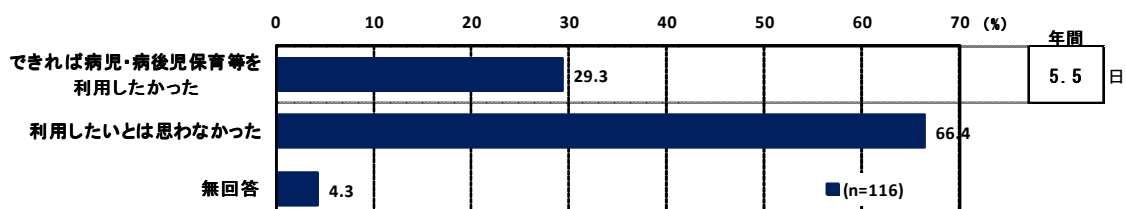


7-2. 病児・病後児保育の利用希望

父親又は母親が仕事を休んで対処した方のうち「できれば病児・病後児保育等を利用したかった」と答えたのは29.3%で、その日数は年間平均5.5日となっています。

問18で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問18-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(1つに○) また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。



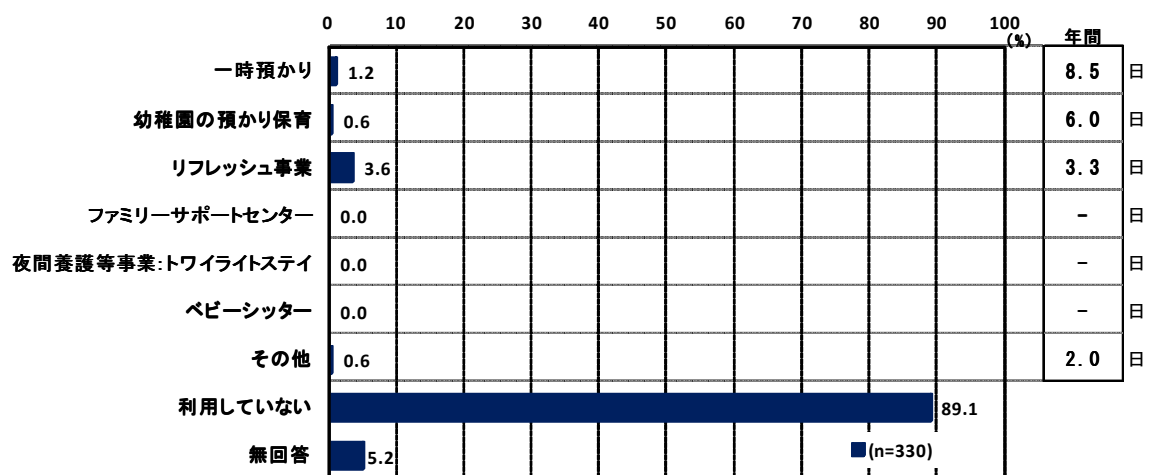
8. 一時預かりについて

8-1. 不特定の教育・保育事業の利用について

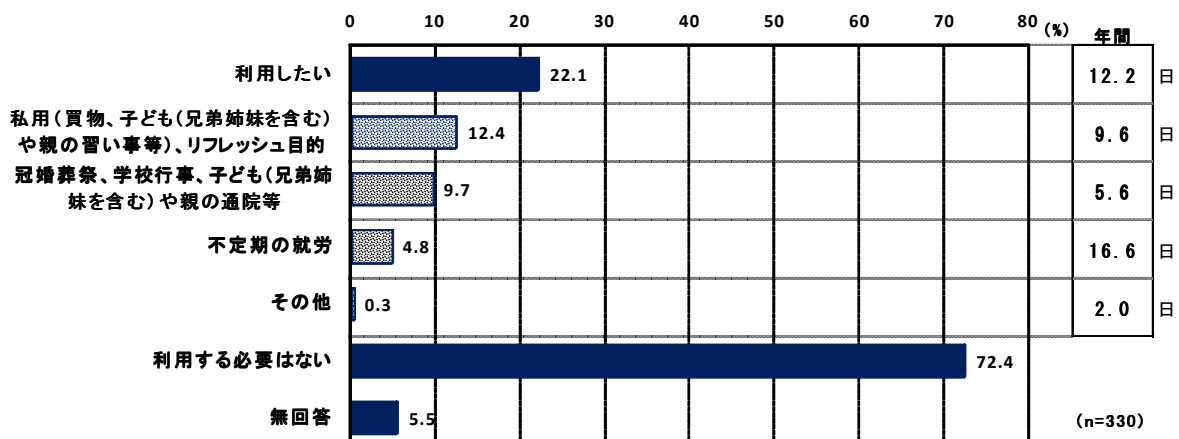
日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業についてみると、「リフレッシュ事業」3.6%、「一時預かり」1.2%、「幼稚園の預かり保育」0.6%といずれも5%以下の低率となっています。

今後「利用したい」と答えたのは22.1%で、年間の必要日数は12.2日となっています。その理由としては、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が12.4%で平均日数9.6日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が9.7%で平均日数5.6日となっています。

問 19. あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。



問 20. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。

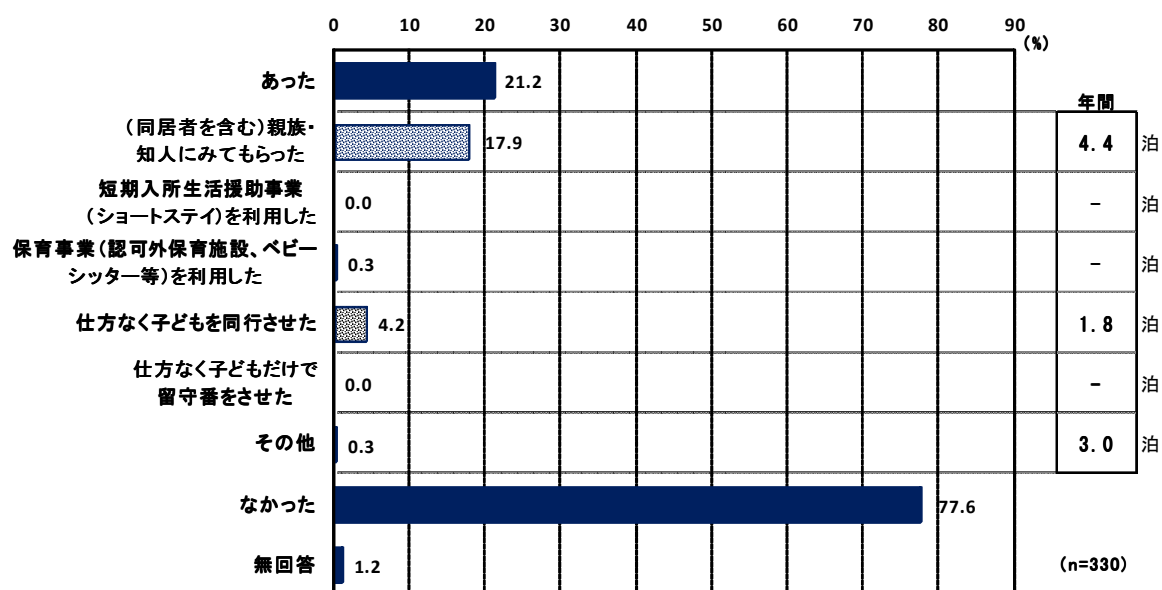


8-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験についてみると、「あった」は21.2%です。

その対処方法としては、17.9%が「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答しており、その平均日数は4.4泊となっています。

問 21. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法の日数もお答えください。



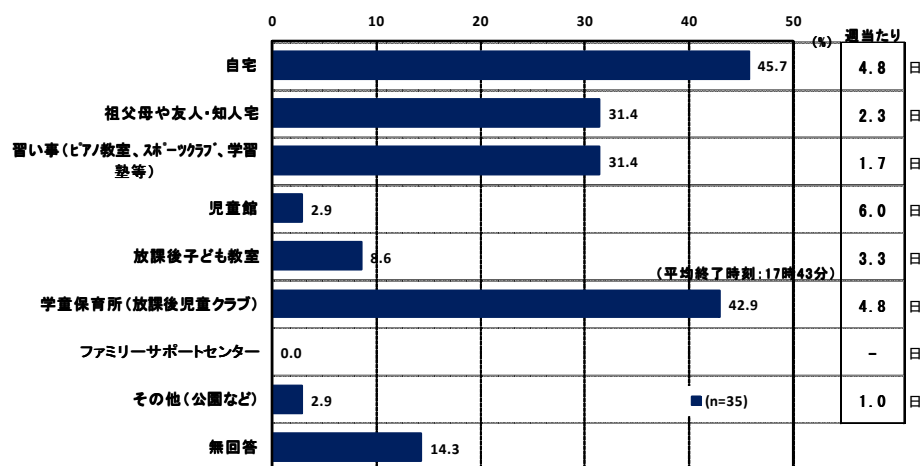
9. 放課後児童クラブについて

9-1. 平日の放課後の過ごし方(低学年の時)

小学校低学年時に平日の放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が 45.7%ともっとも多くなっており、日数は週当たり 4.8 日となっています。ついで「学童保育所（放課後児童クラブ）」が 42.9%で 4 割程度が希望しており、日数は 4.8 日となっています。

あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方にうかがいます。

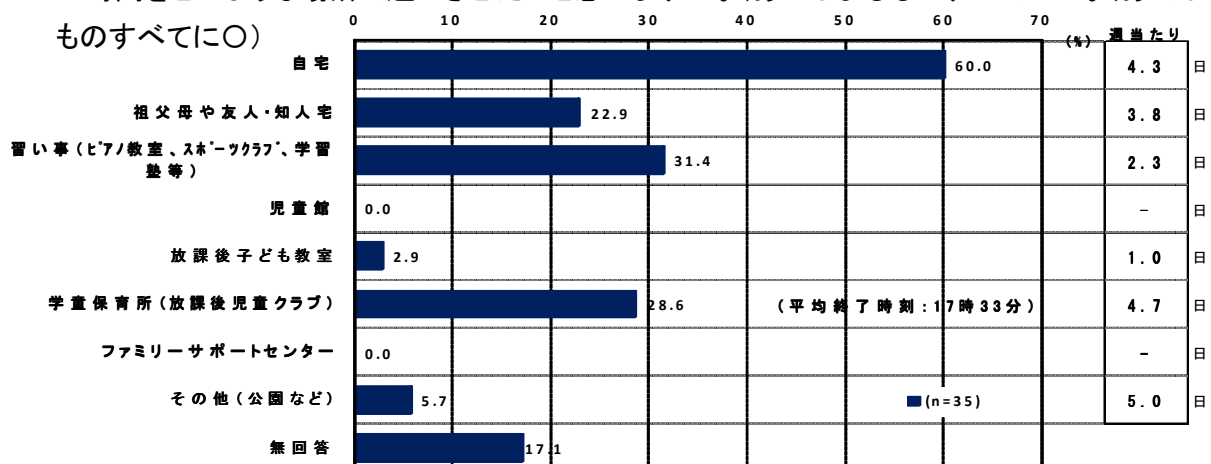
問 22. あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



9-2. 平日の放課後の過ごし方(高学年の時)

小学校高学年時に平日の放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が 60.0%ともっとも多く、週当たり 4.3 日となっています。以下「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等）」が 31.4%で週当たり 2.3 日、「学童保育所（放課後児童クラブ）」が 28.6%で週当たり 4.7 日と続いています。低学年時に比べると、「自宅」と「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等）」を希望する割合が高くなっており、「学童保育所（放課後児童クラブ）」を希望する割合が 14.3 ポイント低くなっています。

問 23. あて名のお子さんについて、学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) (あてはまるものすべてに○)



9-3. 放課後児童クラブの利用意向

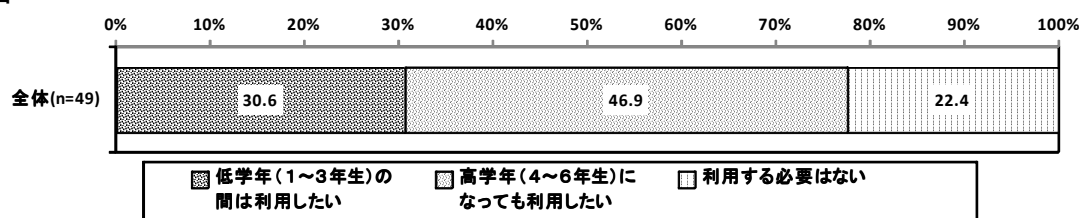
休日等の放課後児童クラブの利用意向をみると、土曜日の利用希望は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせて77.5%と8割近くとなっており、開始時刻は「8時台」、終了時刻は「17時台」がもっとも多くなっています。日曜日の利用希望は「低学年」と「高学年」を含めて利用希望は14.3%にとどまっています。

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中は、「低学年」と「高学年」を合わせた利用希望は93.9%と9割を超えており、特に長期休暇期間中のニーズが高くなっています。

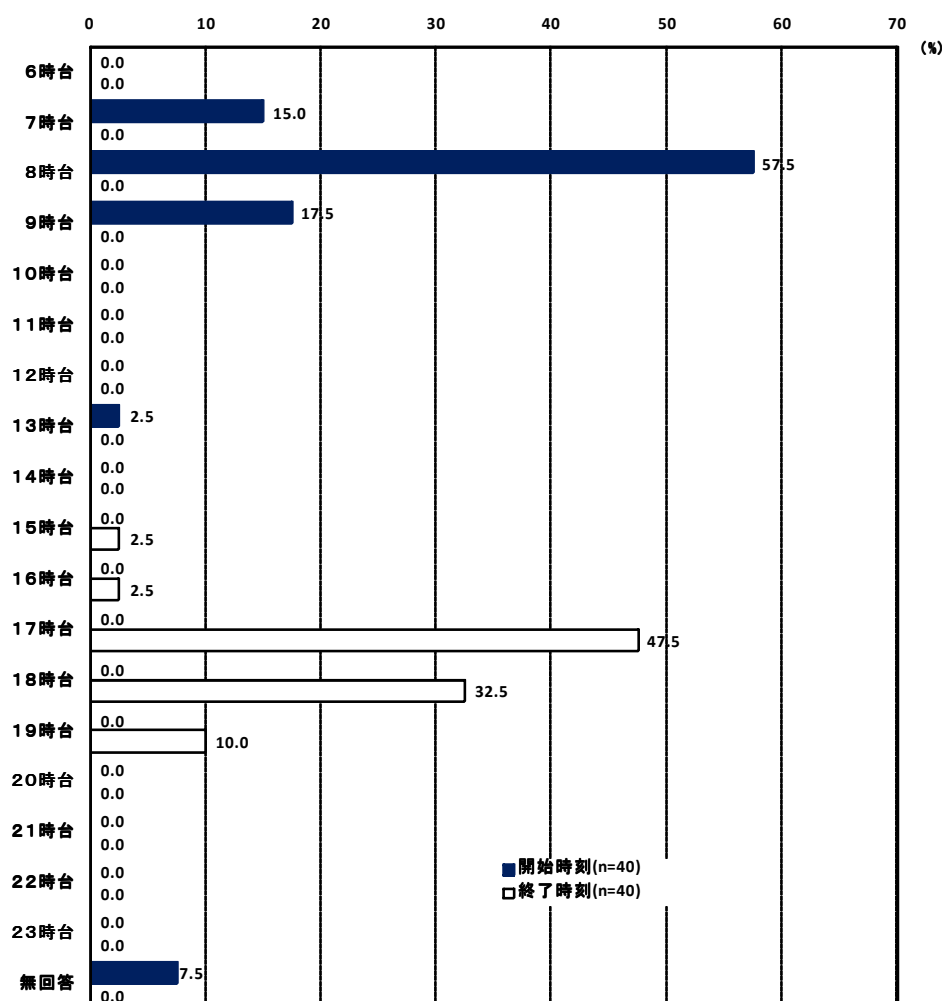
問22または問23で「6. 学童保育所(放課後児童クラブ)」に○をした方にうかがいます。

問24. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中、学童保育所(放課後児童クラブ)の利用希望はありますか。(1つに○)

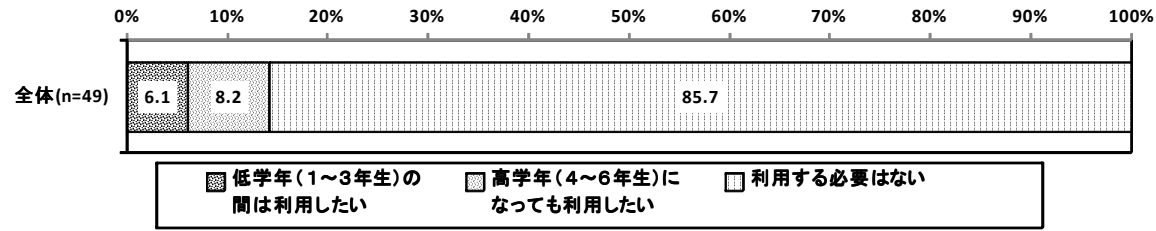
(1) 土曜日



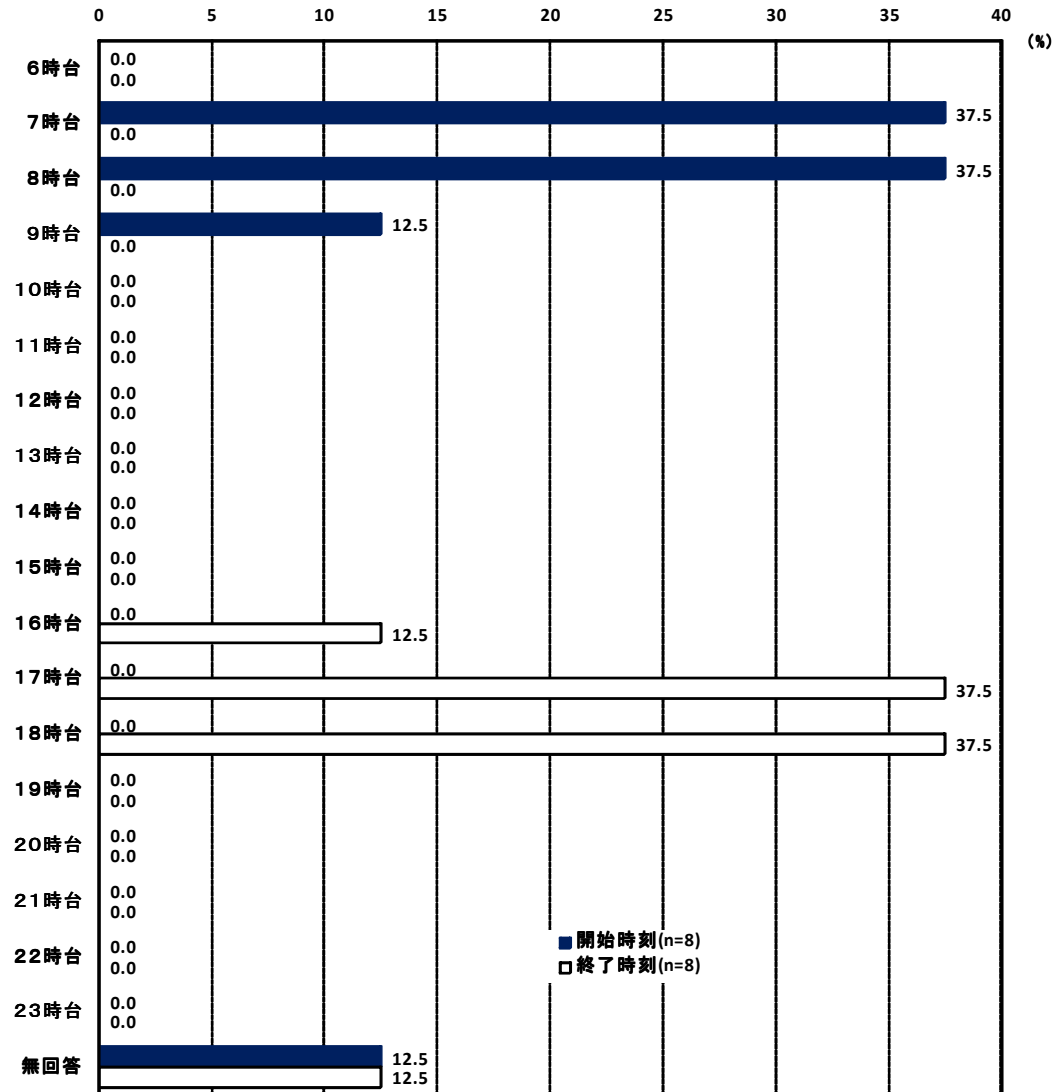
【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 18分 終了 17時 33分



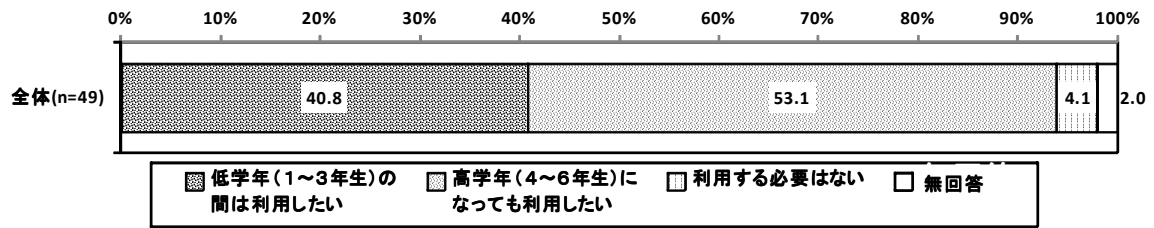
(2) 日曜日・祝日



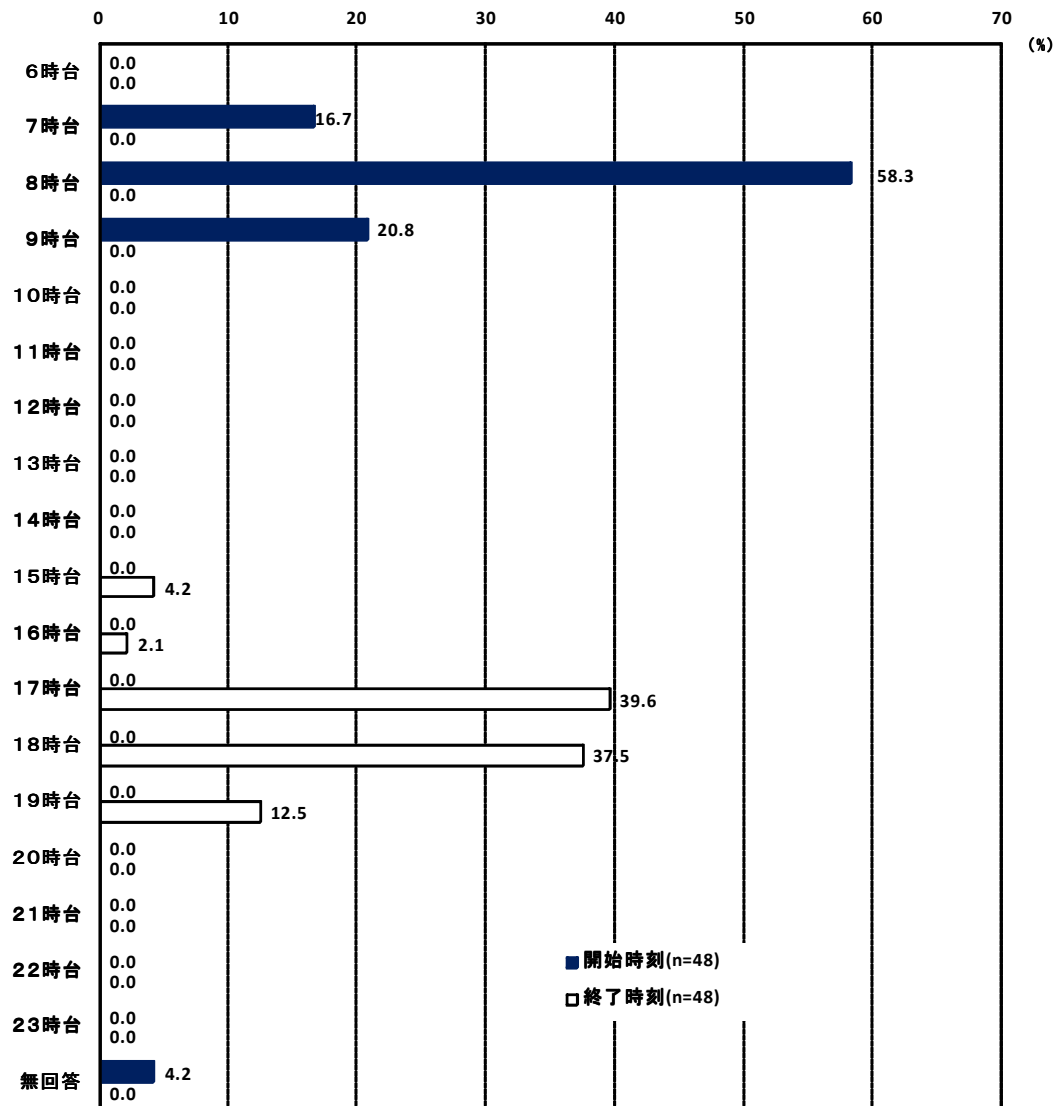
【開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 00 分 終了 17 時 13 分



(3) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中



【開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 10 分 終了 17 時 36 分



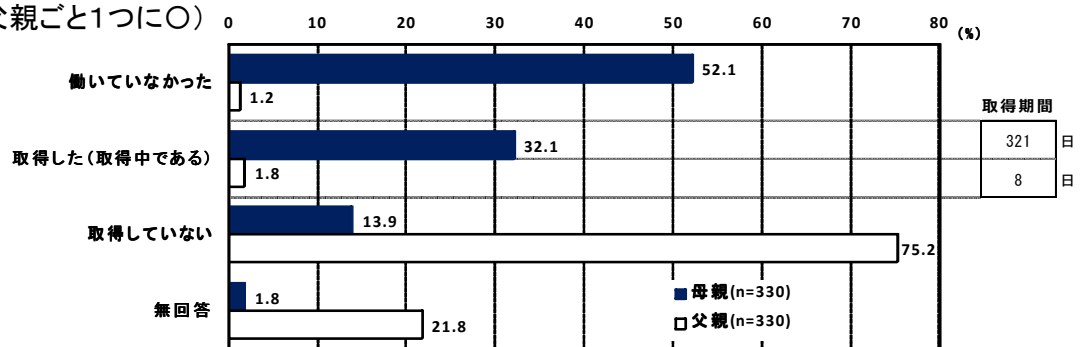
10. 育児休業制度等の利用状況

10-1. 育児休業制度の利用の有無

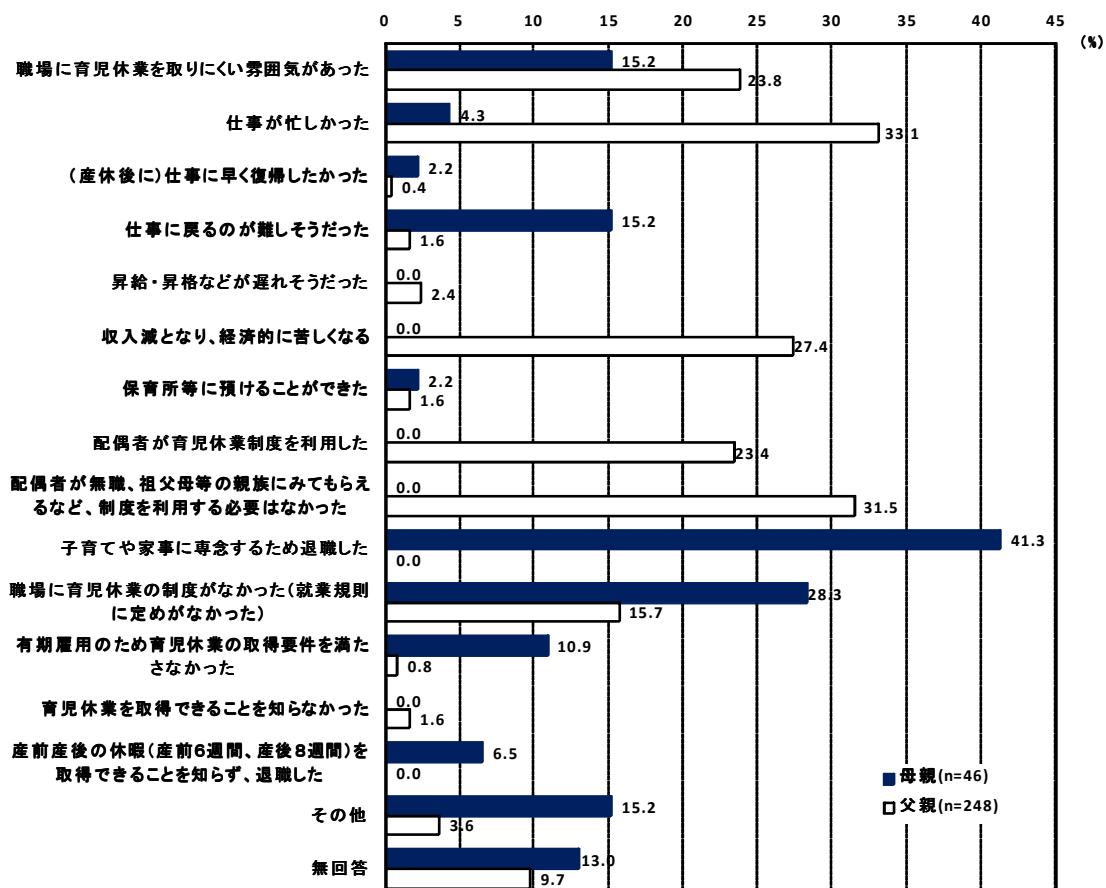
子どもが生まれた時の、母親の育児休業制度の利用経験をみると、「働いていなかった」が52.1%でもっとも多いものの、「取得した(取得中である)」が32.1%となっており、3人に1人は利用経験を持っています。なお、父親の利用経験は1.8%となっています。母親が取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が41.3%でもっとも多く、ついで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が28.3%となっています。

問 25. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(①

母親、②父親ごとに○)



【取得していない理由】



10-2. 育児休業制度取得後の対応等

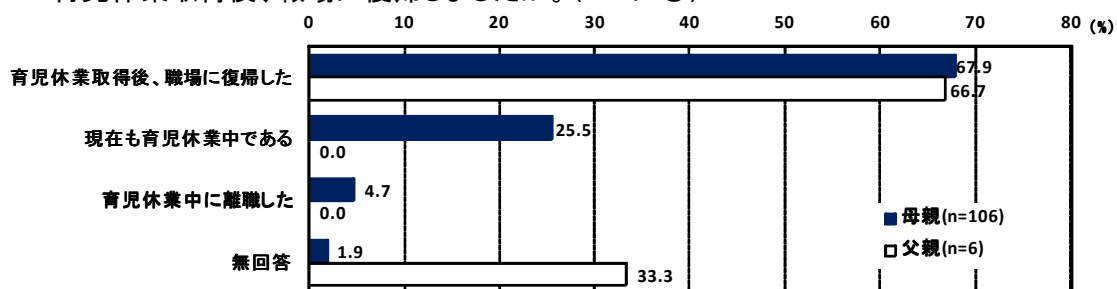
母親の育児休業後の職場復帰についてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」がもっとも多く 67.9%となっています。職場復帰の時期について、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」と答えた方は 27.8%となっています。育児休業の期間としては、子どもが平均 1 歳3ヶ月になるころまでを希望していたものの、実際は子どもが平均 10 ヶ月のころに職場復帰をしています。

希望より早く復帰した方について、その理由は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 37.1%、ついで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 25.7%となっています。また、希望より遅く復帰した方について、その理由は「希望する保育所に入れなかったため」が 4 割を占めています。

また、「あて名のお子さんが 1 歳になったら必ず利用できる事業があった場合 1 歳になるまで育児休業を取得しますか」という質問に対しては、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」と答えた方が 81.5%と全体の 8 割を超えており、1 歳までは育児休業を取得したいという希望はあるものの、実際には難しい状況がうかがえます。

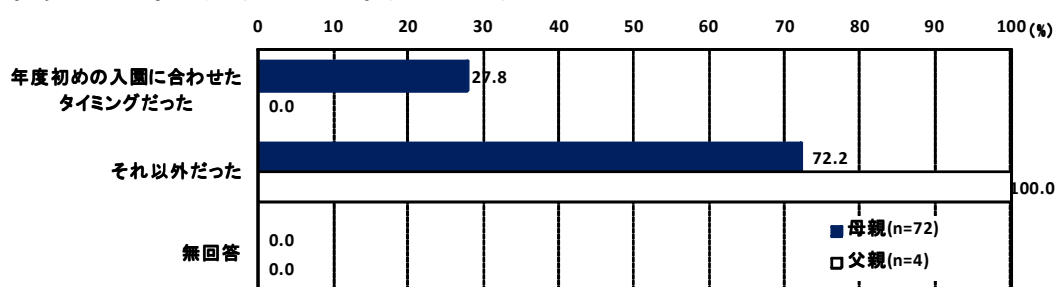
問 26、27 は問 25 で母親または父親が「2. 取得した(取得中である)」に○をした方にうかがいます。

問 26・27. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)



問 26・27 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 26-1・27-1. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)



問 26-2・27-2. 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【母親(平均)】

希望 1 歳 3 ヶ月

実際の取得期間 10 ヶ月

【父親(平均)】

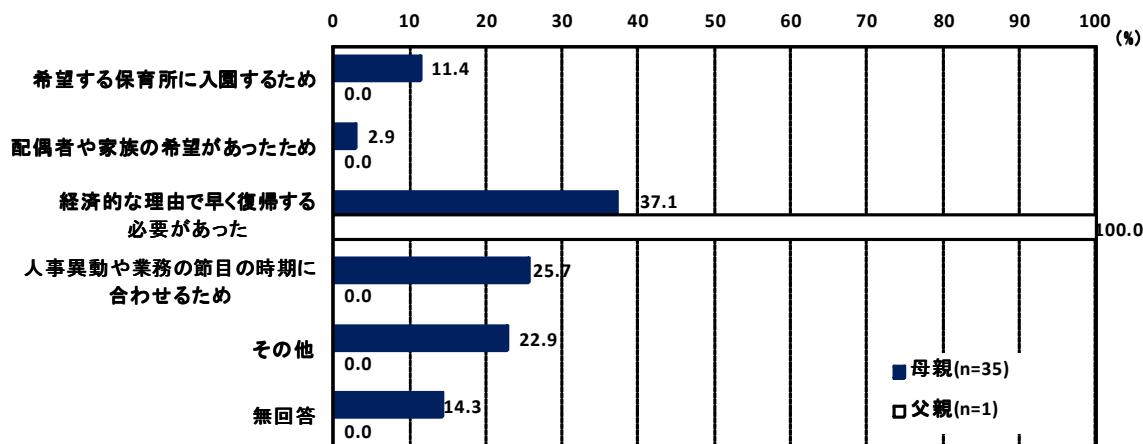
希望 3 ヶ月

実際の取得期間 1 ヶ月

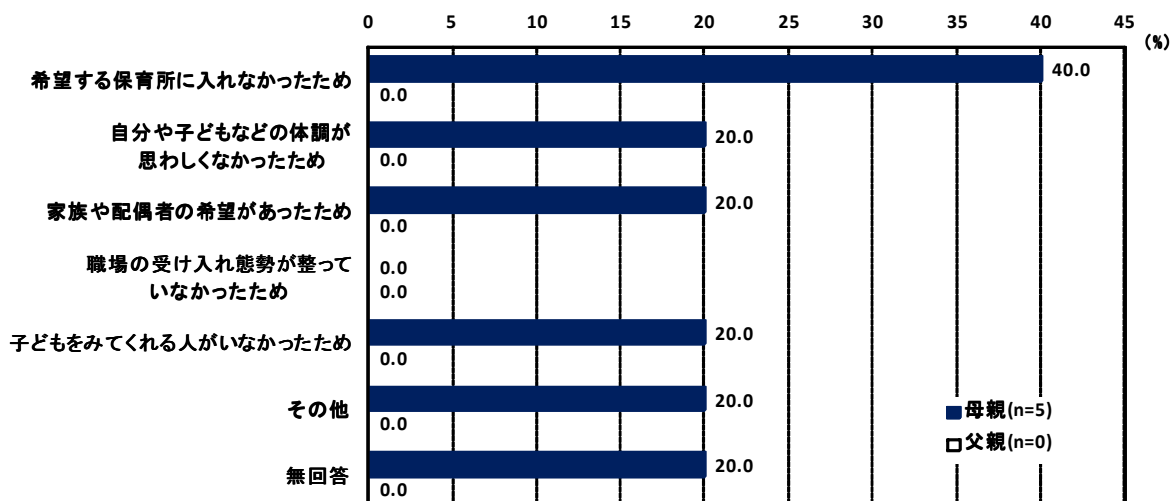
問 26-2・問 27-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 26-3・27-3. 実際の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方



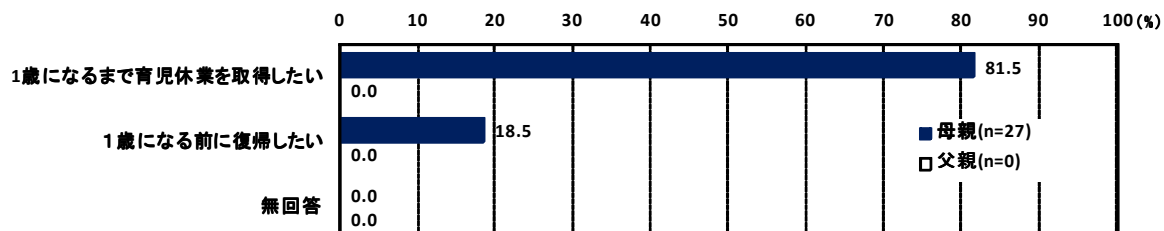
(2) 希望より遅く復帰した方



問 26・問 27 で「2. 現在も育児休業中である」に○をした方にうかがいます。

問 26-4・27-4. あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(1つに○)

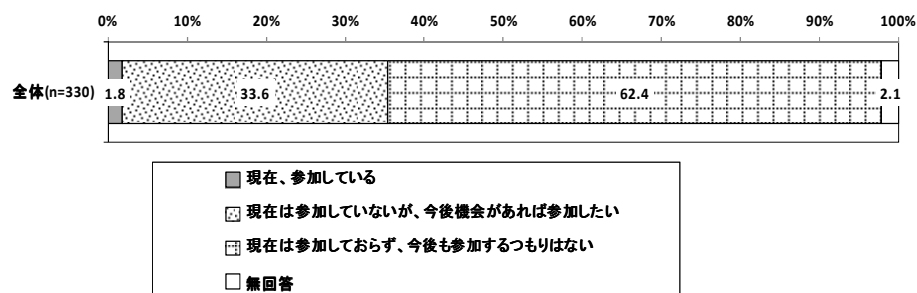


11. 自主的な活動への参加状況について

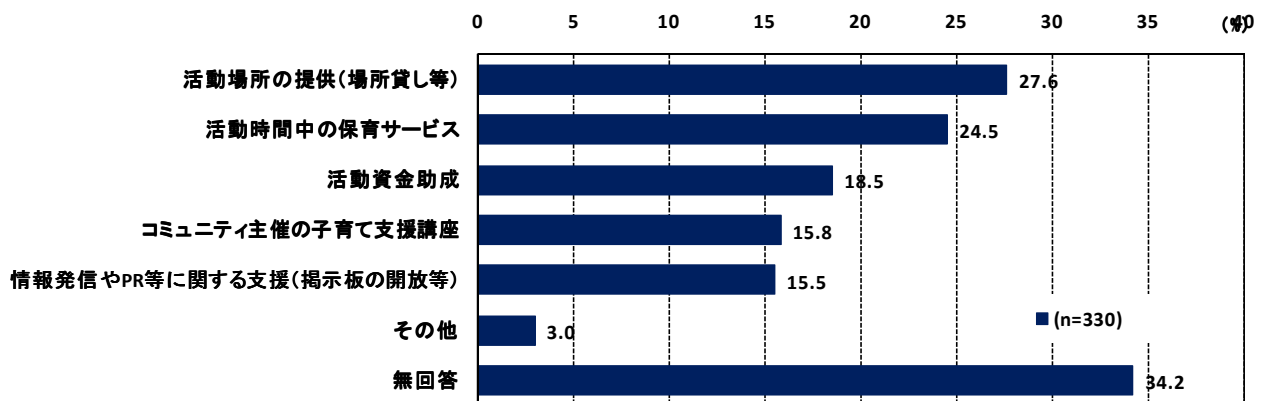
子育てに関するサークルなど自主的な活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は 1.8%と極めて低いものの、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 33.6%となっており、3人に1人が今後の参加を希望しています。

自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援では、「活動場所の提供(場所貸し等)」が 27.6%でもっとも多く、ついで「活動時間中の保育サービス」(24.5%)があげられています。

問 28. あなたは子育てに関するサークル等自主的な活動に参加していますか。(1つに○)



問 29. 自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。(2つまで○)

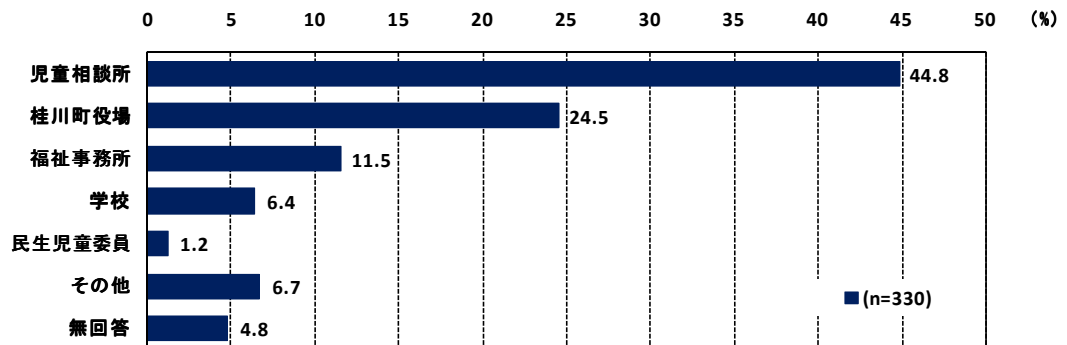


12. 児童虐待について

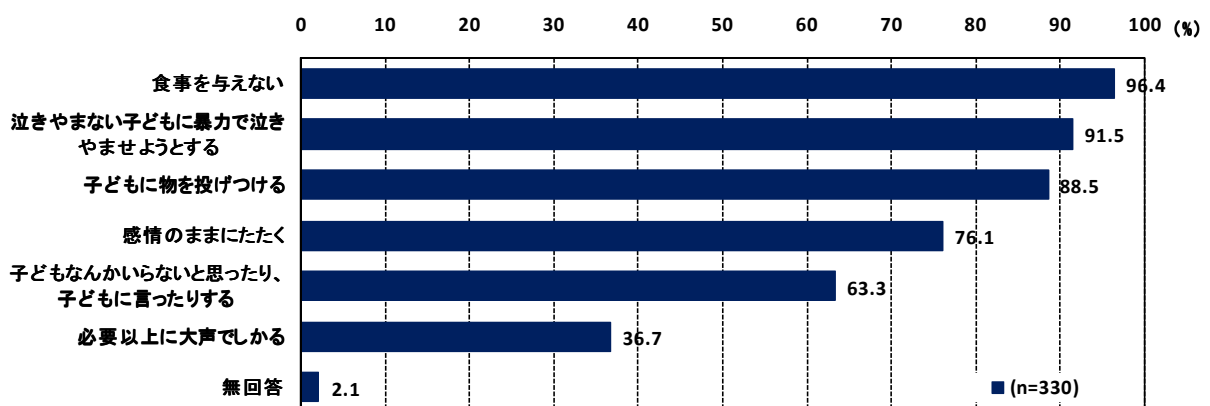
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した際の通報、相談先については、「児童相談所」が 44.8%となっており、以下「桂川町役場」24.5%、「福祉事務所」11.5%と続いています。

「どのような行為が児童虐待にあたると思いますか」という質問に対しては、「食事を与えない」96.4%、「泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとする」91.5%、「子どもに物を投げつける」88.5%、「感情のままにたたく」76.1%、「子どもなんかいないと思ったり、子どもに言ったりする」63.3%となっています。

問 30. 児童福祉法の規定に基づき、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、通告を行う義務が定められています。あなたは児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、どちらに通報、相談しようと思いますか。(1つに○)



問 31. あなたはどのような行為が児童虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

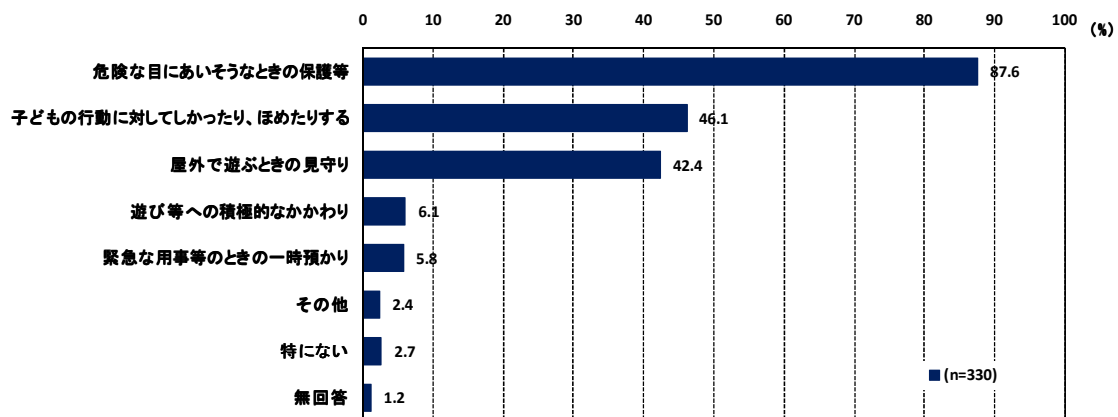


13. 子育て全般について

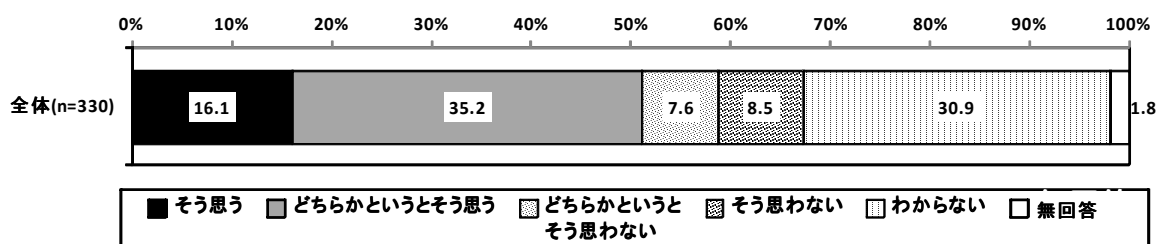
地域に望む子育て支援については、「危険な目にあいそうなときの保護等」が 87.6%で最も多く、以下「子どもの行動に対してしかったり、ほめたりする」が 46.1%、「屋外で遊ぶ時の見守り」42.4%となっており、子どもの安全に対する支援が望まれています。

また「桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか」との質問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて 51.3%となり、半数以上が「子育てしやすい」と思っています。

問 32. あなたは、自分の子どもについて、近所や地域の人たちにどのようなことをしてもらいたと思いますか。(2つまで○)



問 33. 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)



14. 本町の子育て支援策についての満足度と重要度

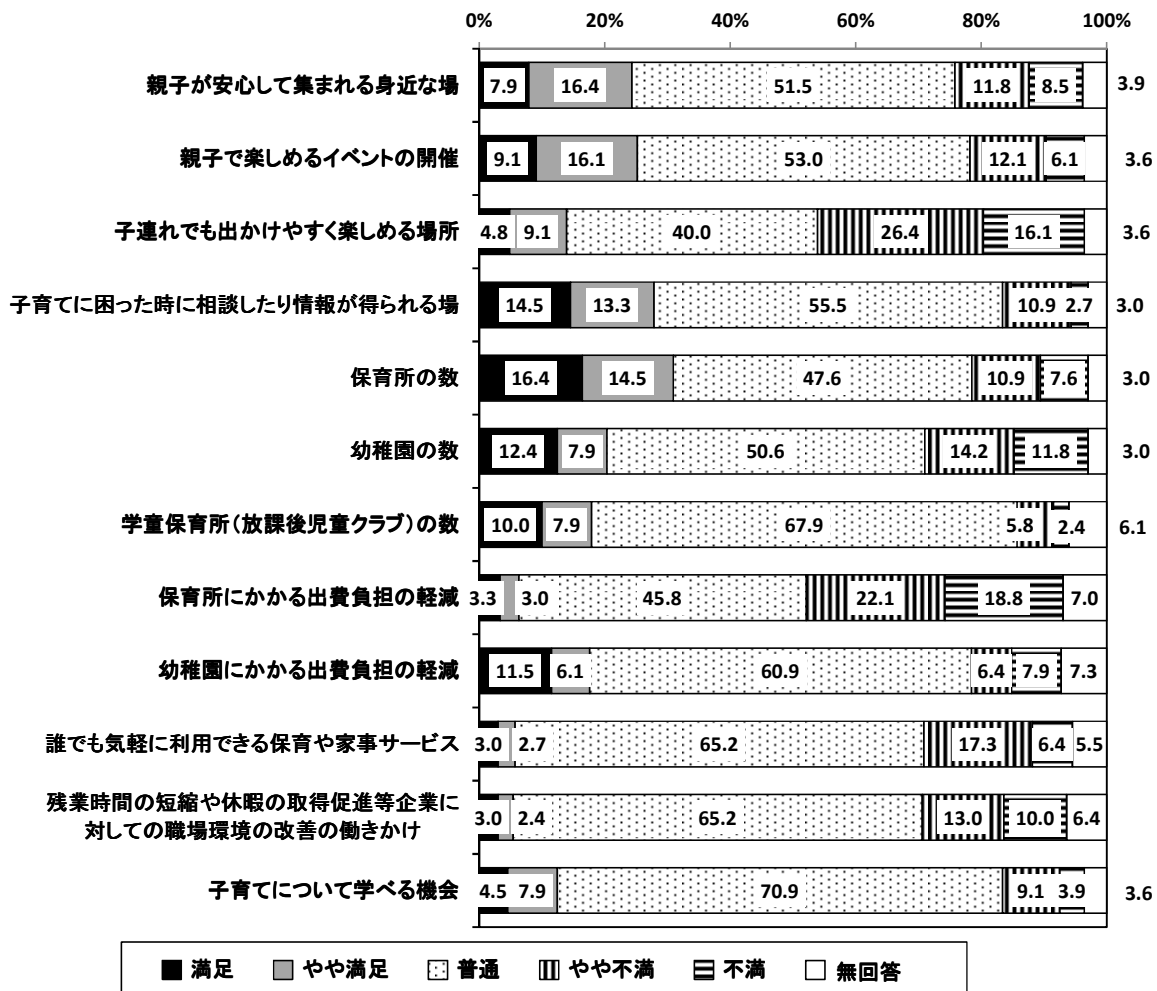
【満足度】

本町の子育て支援策に対する満足度については、「満足」「やや満足」を合わせた割合がもっとも多かったのが「保育所の数」で、30.9%となっています。以下「子育てに困った時に相談したり情報が得られる場」27.8%、「親子で楽しめるイベントの開催」25.2%、「親子が安心して集まれる身近な場」24.3%と続いており、いずれも20%台とやや低めになっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合がもっとも多かったのが「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」の42.5%で、子ども連れの家庭でも楽しめるような施設の充実に対して、ニーズが高まっていることがうかがえます。ついで「保育所にかかる出費負担の軽減」が40.9%となっています。以下「幼稚園の数」、「誰でも気軽に利用できる保育や家事サービス」「残業時間の短縮や休暇の取得促進等企業に対しての職場環境の改善の働きかけ」「親子が安心して集まれる身近な場」等に対しても、不満の割合が20%台となっています。

問 34. 本町の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

【満足度】



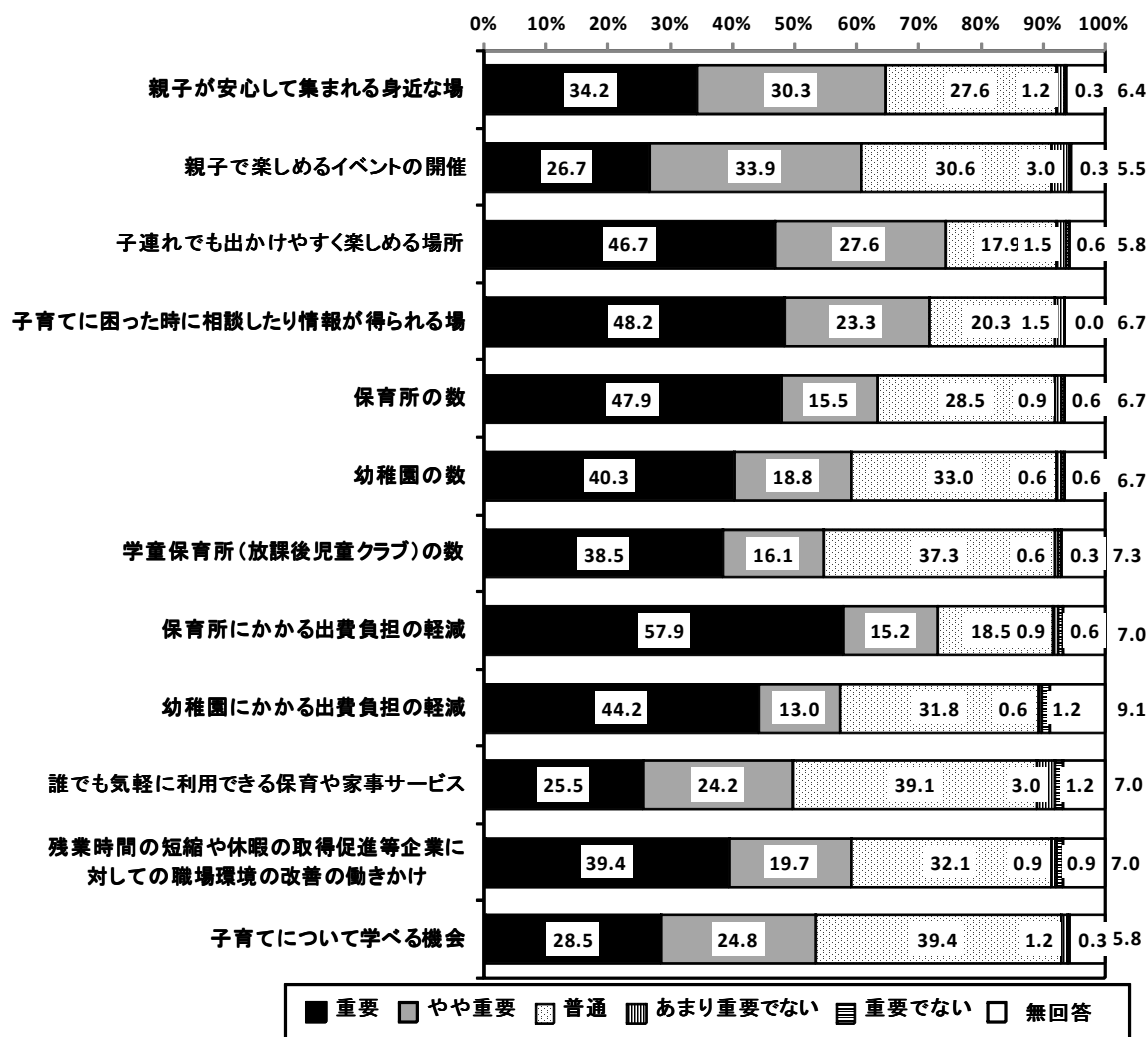
【重要度】

本町の子育て支援策に対する重要度については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」の「重要」「やや重要」を合わせた割合が 74.3%と最も多く、続いて「保育所にかかる出費負担の軽減」が 73.1%、「子育てに困った時に相談したり情報が得られる場」が 71.5%と、この３項目はいずれも 7 割を超えています。

以下「親子が安心して集まれる身近な場」64.5%、「保育所の数」63.4%、「親子で楽しめるイベントの開催」60.6%と続いています。

主に保育所関連の補助やサービスの充実と、親子で楽しめる施設等の充実に対して、ニーズが高まっていることがうかがえます。

【重要度】

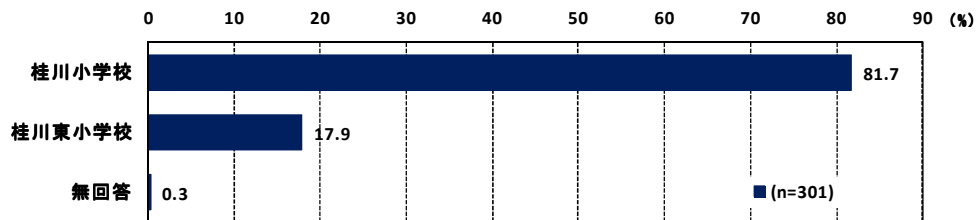




/// 小学生児童調査結果

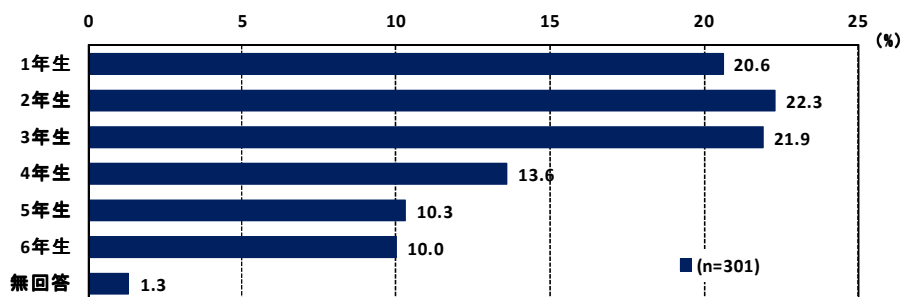
1. 対象者及び保護者の特性

問1. お住まいの小学校区を教えてください。(1つに○)



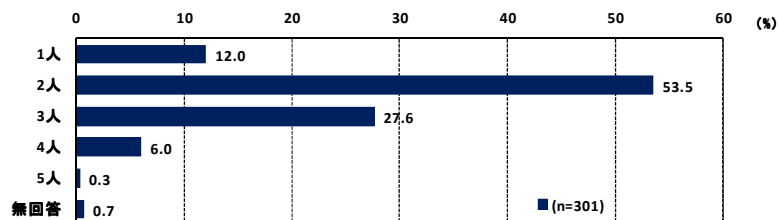
問2. あて名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。

【学年】

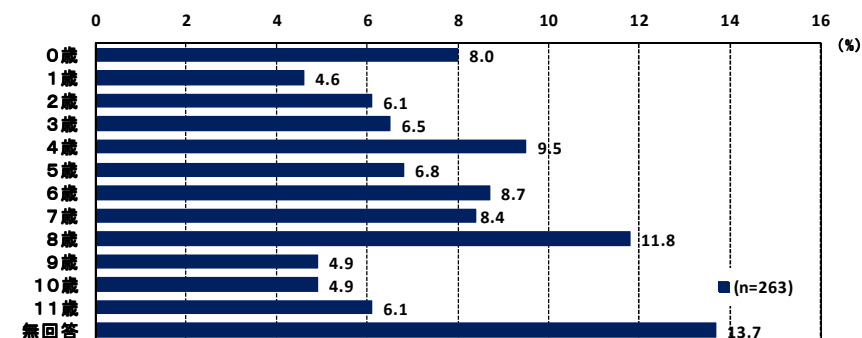


問3. あて名のお子さんにきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をお答えください。

【子どもの数】

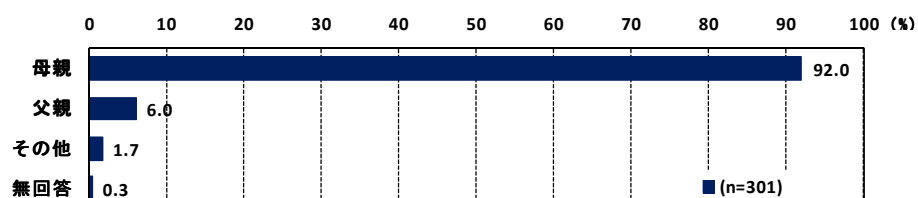


【末子年齢】

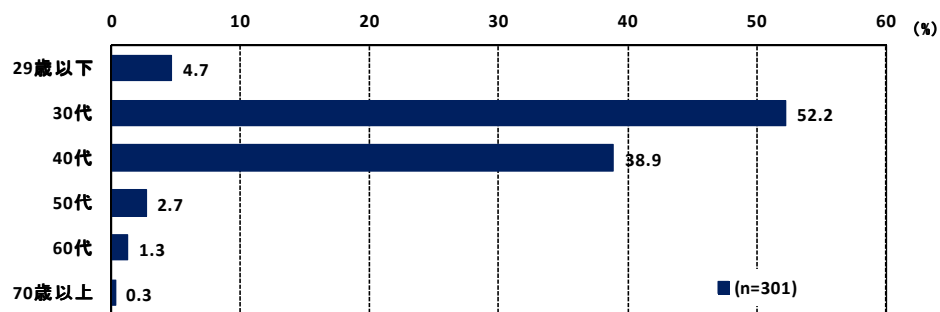


問4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。

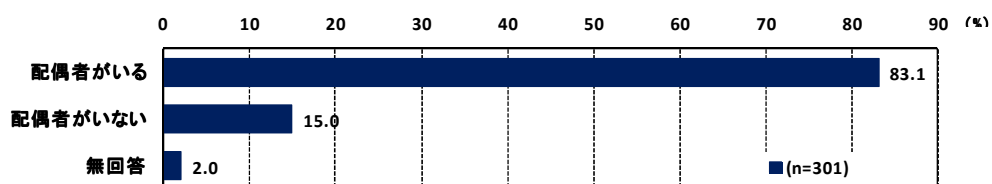
(1つに○)



問5. この調査票にご回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)

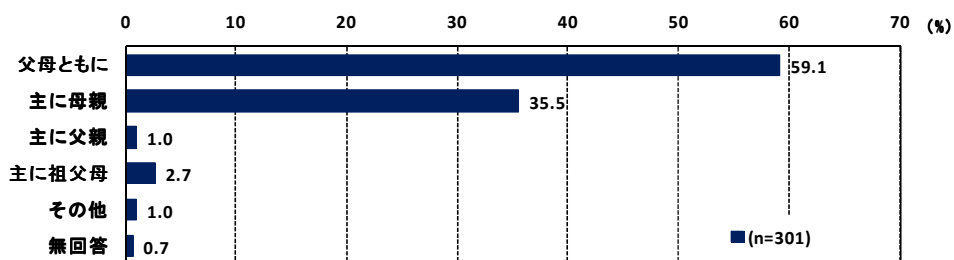


問6. この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)

※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。



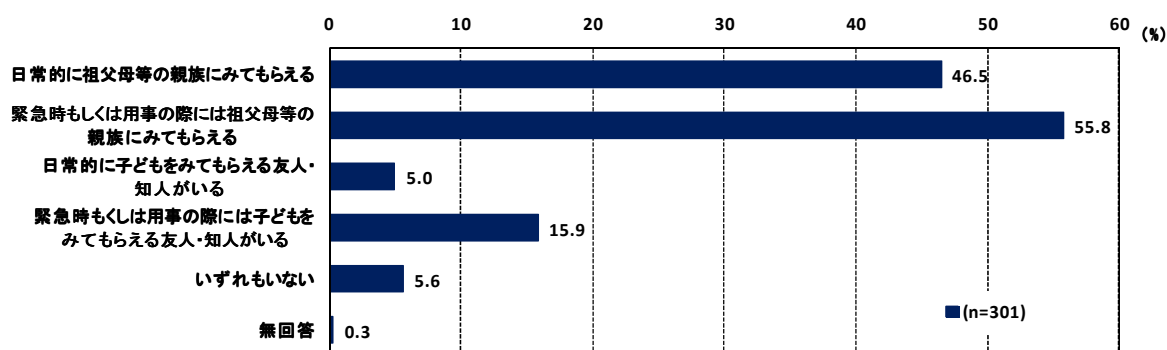
2. 祖父母などにみてもらえる状況

祖父母等にみてもらふことのできる人について、その状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.8%、ついで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 46.5%となっています。

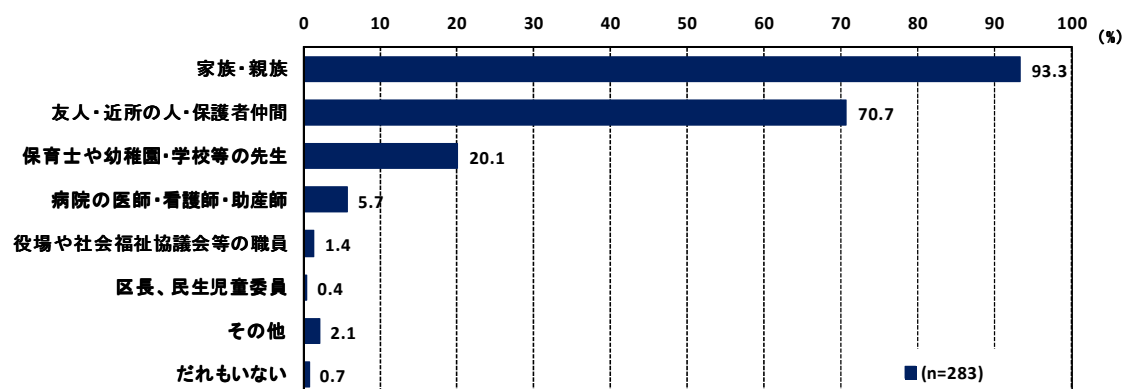
子育てについて気軽に相談できる人は、「家族・親族」の身近な子育て経験者が 93.3%で最も多く、以下「友人・近所の人・保護者仲間」が 70.7%、「保育士や幼稚園・学校等の先生」が 20.1%と続いています。前回調査と比較すると、「家族・親族」が最も多く、「友人・近所の人・保護者仲間」「保育士や幼稚園・学校等の先生」の順と続いている点では、同様の結果となっています。

(※) 前回調査：平成 21 年 3 月実施 小学生児童 調査数 570 回収数 227 回収率 39.8%

問8. 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



問9. 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)



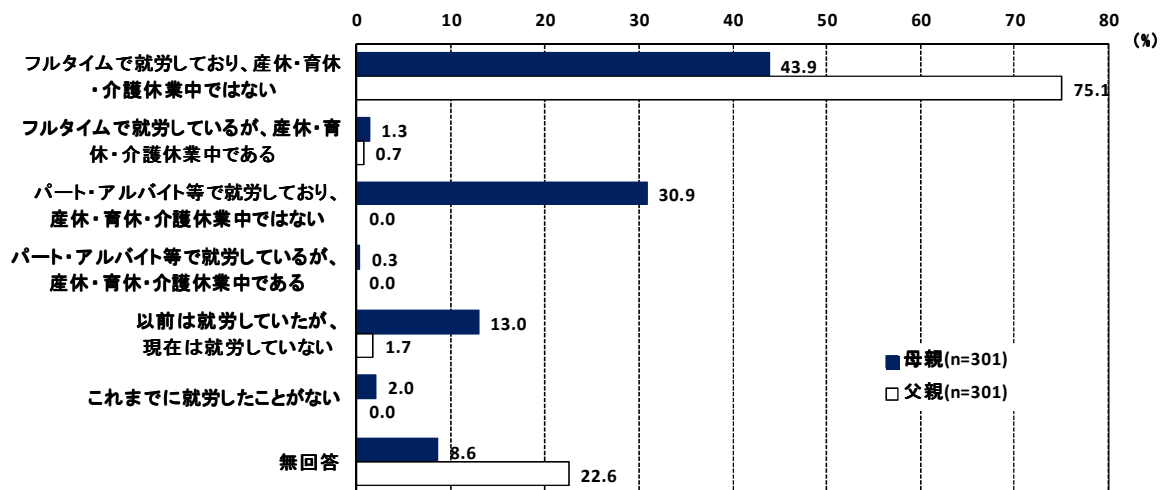
3. 保護者の就労状況について

3-1. 母親(父親)の就労形態

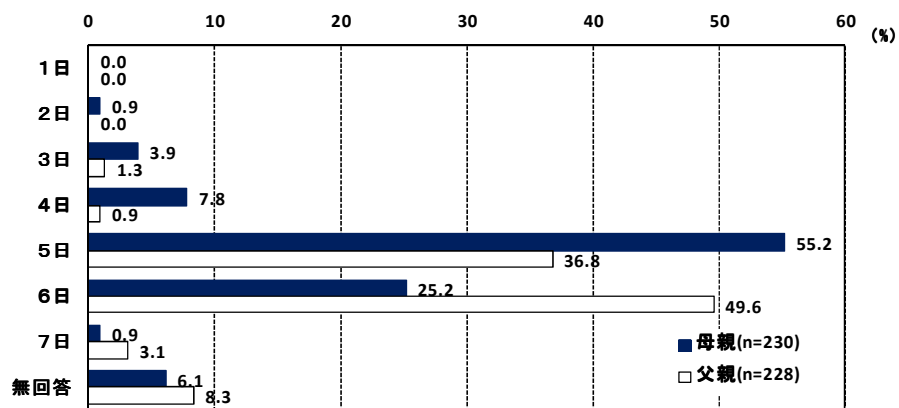
母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 43.9%でもっとも多く、ついで、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 30.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 13.0%となっています。

1 週間当たり就労日数は「5 日」が 55.2%でもっとも多く、ついで「6 日」が 25.2%と続き、平均で 5.1 日となっています。また 1 日当たり就労時間数は、「8～9 時間未満」がもっとも多く 40.4%で、平均は 6.9 時間です。出勤・帰宅時間については、出勤では「8 時台」が 53.0%で半数を超えもっとも多く、帰宅時間は「18 時台」が 36.5%ともっとも多くなっています。

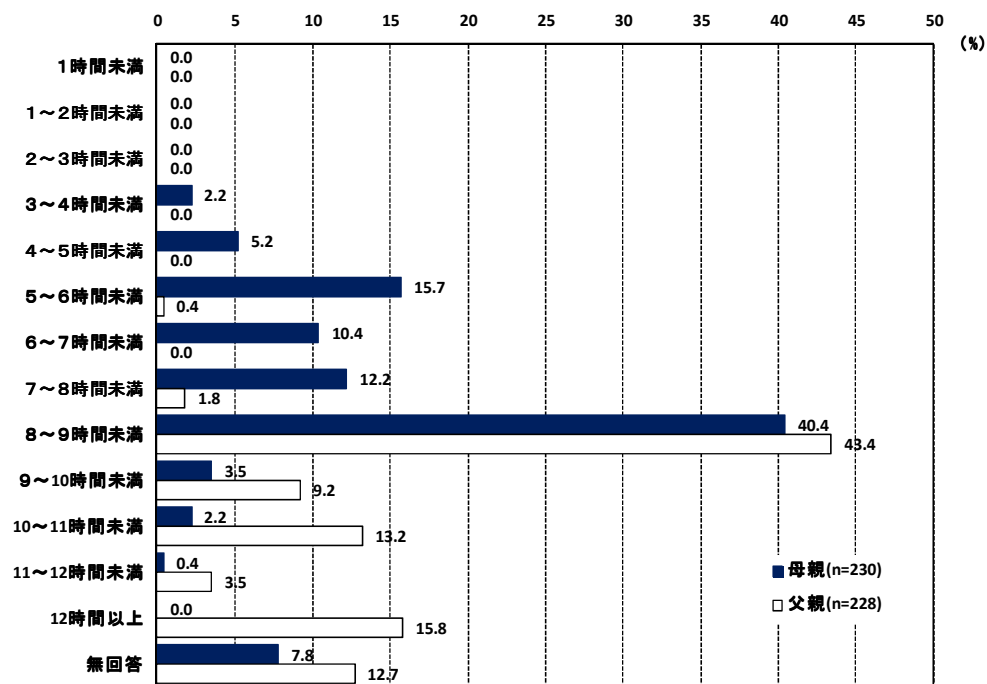
問 10. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)



【1週間当たり就労日数】 平均 母親 5.1日 父親 5.6日

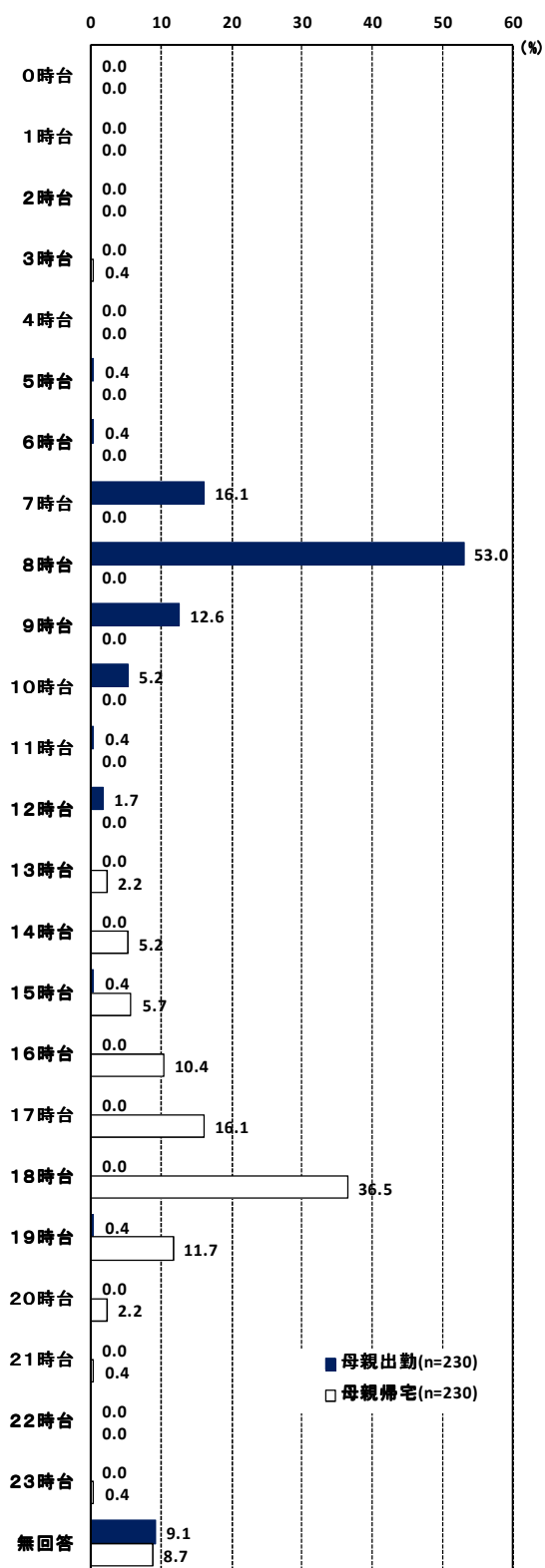


【1日当たり就労時間数】 平均 母親 6.9時間 父親 9.5時間

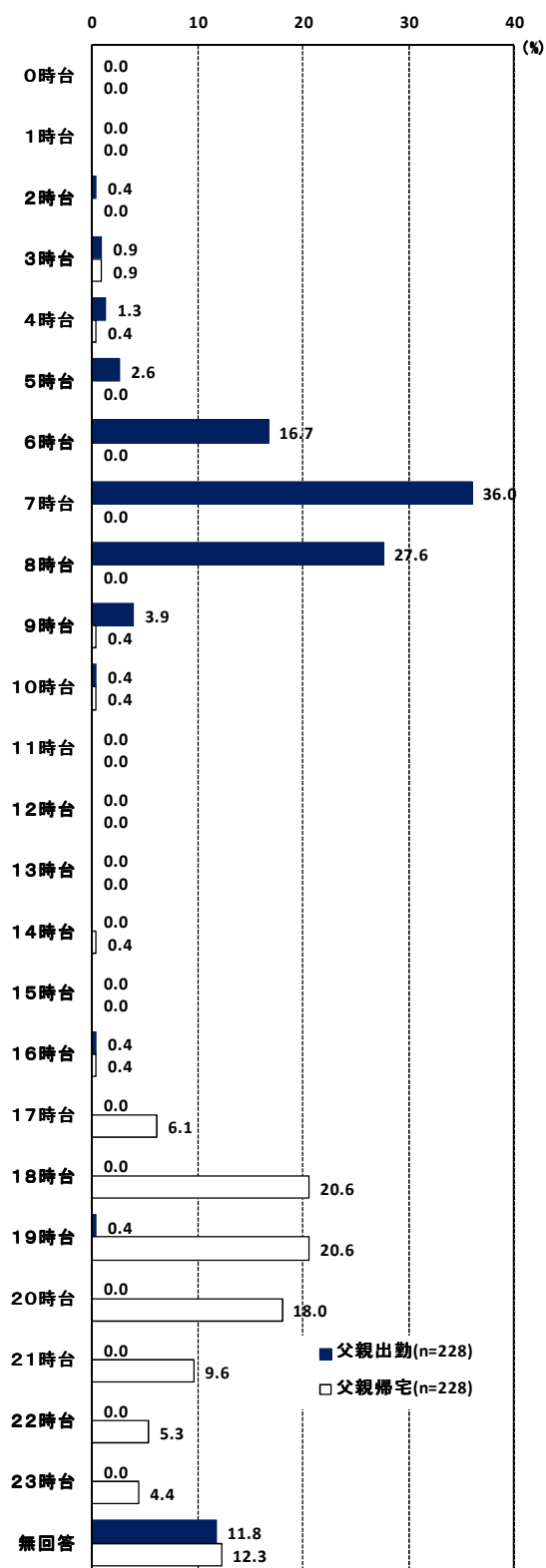


【出勤・帰宅時刻】 平均 母親 出勤 8時 13分 帰宅 17時 12分
 父親 出勤 7時 12分 帰宅 19時 05分

【母親】



【父親】



■就労形態による世帯累計■

サンプル数		301						
		父				親		
		フルタイム で就労して いるが、産 休・育休・ 介護休業中 ではない	フルタイム で就労して いるが、産 休・育休・ 介護休業中 ではない	パート・ア ルバイト等 で就労して いるが、産 休・育休・ 介護休業中 ではない	パート・ア ルバイト等 で就労して いるが、産 休・育休・ 介護休業中 ではない	以前は就 労していた が、現在は 就労してい ない	これまで に就労した ことがない	無回 答・いな い
母	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	106 35.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	25 8.3%
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	72 23.9%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.0%	0 0.0%	17 5.6%
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
親	以前は就労していたが、現在は就労していない	33 11.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.7%
	これまでに就労したことがない	5 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答・いない	7 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 6.3%

上段：実数 下段：サンプル数を母数とするパーセント

共働き世帯	182	60.5%
専業主婦世帯	45	15.0%
父親就労無回答世帯	68	22.6%
母親就労無回答世帯	7	2.3%

母親・父親の就業形態からみた家族類型をみると、共働き世帯が 60.5%、母親が専業主婦の世帯が 15.0%となり、この 2 つの類型で 4 分の 3 を占めています。

共働き世帯の就業形態では、母親が「フルタイム」の比率が「パート・アルバイト」の比率を 10 ポイント以上上回っており、教育・保育サービス別の今後の必要量に影響を及ぼすと予想されます。

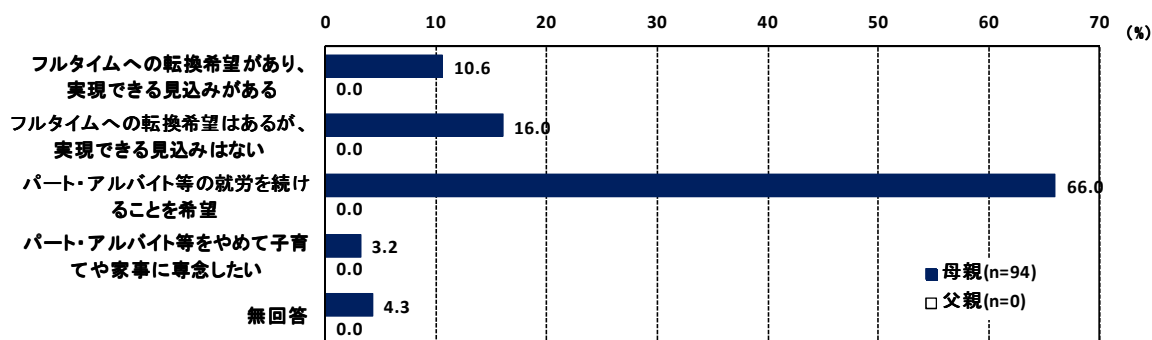
3-2. フルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 66.0%でもっとも多く、全体の 6 割以上を占めています。ついで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 16.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 10.6%となっています。

全体の 26.6%の人がフルタイムへの転換を希望していますが、そのうち実現できる見込みがあるのは 10.6%にとどまっており、フルタイムへの転換の実現が厳しい状況にあることがうかがえます。

問 10. で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1. フルタイムへの転換希望はありますか。（①母親、②父親ごと1つに○）



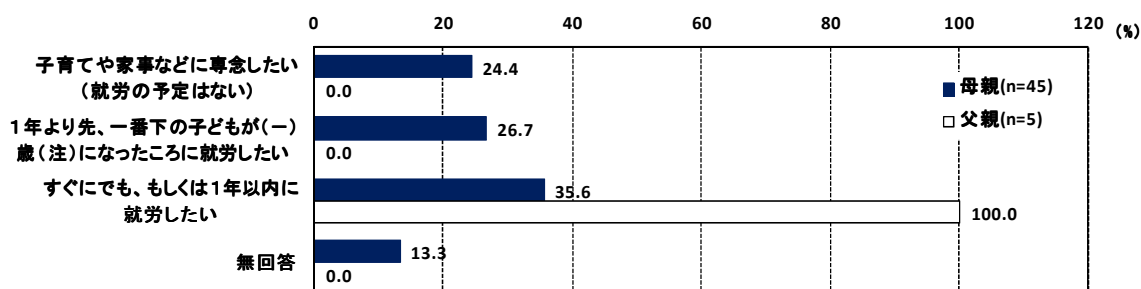
3-3. 現在就労していない母親(父親)の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 35.6%、「1年より先で、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」が 26.7%と、全体の就労意向は 6 割を超えており、就労意欲は強くなっています。

問 10 で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-2. 今後の就労希望はありますか。（①母親、②父親ごと1つに○）



(注) 年齢の回答はありません

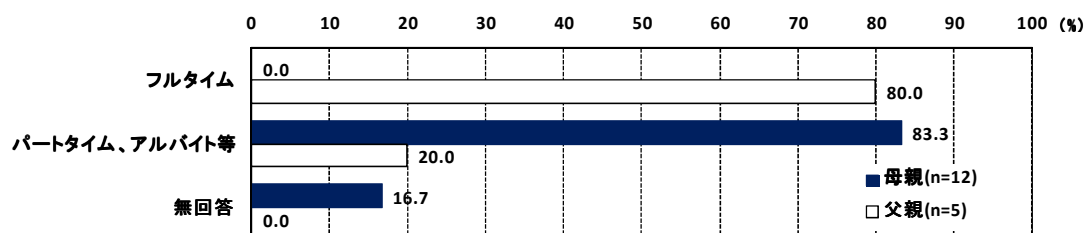
(2) 就労希望の形態

母親の希望する就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」が 83.3%と圧倒的に多くなっています。

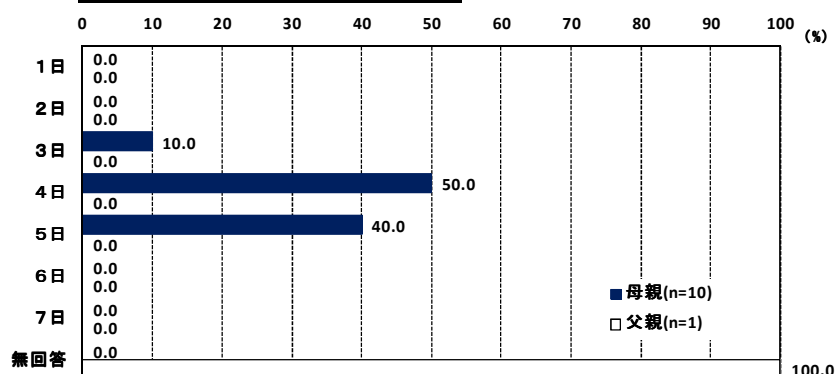
その際の就労時要件としては、希望就労日数は週当たり「4 日」が多く、平均 4.3 日、希望就労時間数は 1 日当たり「5～6 時間未満」がもっとも多く、平均で 4.5 時間となっています。

問 10-2 で「2」または「3」に○をつけた方にうかがいます。

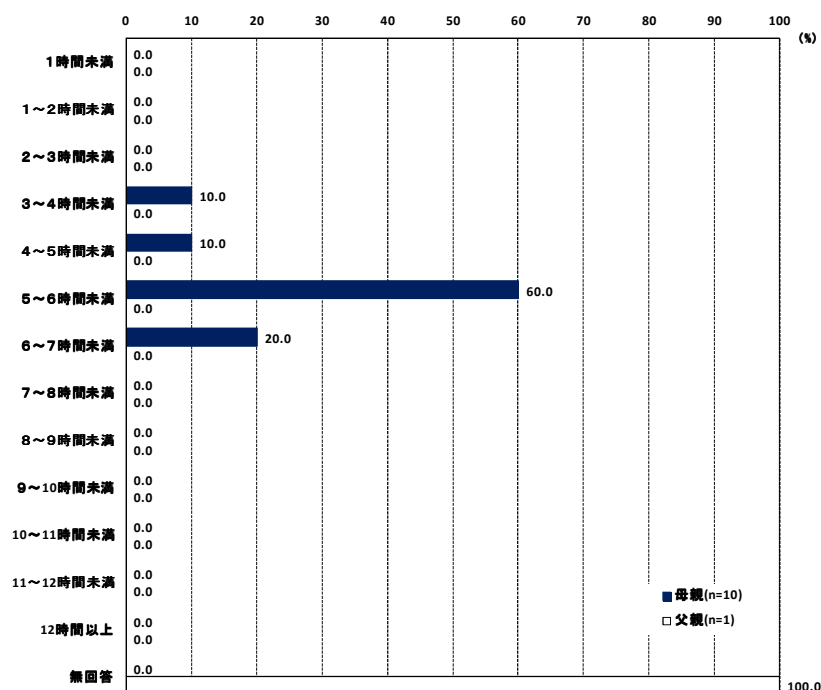
問 10-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。



【1 週当たり就労日数】 平均 母親 4.3 日 父親 一日



【1 日当たり就労時間数】 平均 母親 4.5 時間 父親 一時間

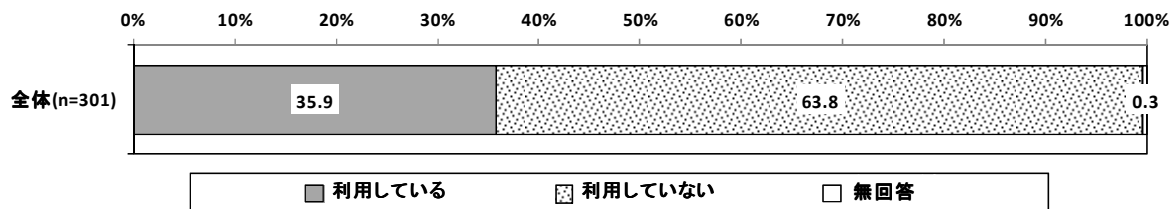


4. 放課後児童クラブについて

4-1. 利用状況

放課後児童クラブの利用状況について、「利用している」と答えた人は 35.9%で、約 3 人に 1 人が利用しています。

問 11. あて名のお子さんは現在、学童保育所(放課後児童クラブ)を利用していますか。(1つに○)



4-2. 平日・土曜日等の利用状況と日数等

放課後児童クラブの利用状況について、平日は「利用している」が 96.3%で大半の人が利用しています。週当たり利用日数は「5 日」が 73.1%でもっとも多くなっています。土曜日は「利用している」が 43.5%で月当たり利用日数は「4 日」がもっとも多くなっています。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中については、「利用している」が 91.7%となっており、週当たり利用日数は「5 日」がもっとも多くなっています。

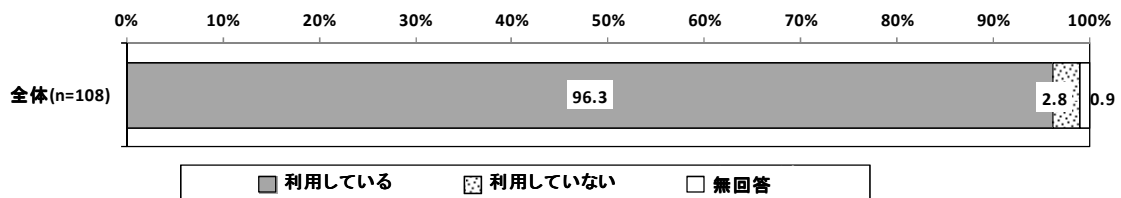
平日の終了時刻は「17 時台」がもっとも多く、土曜日の開始時刻は「8 時台」、終了時刻は「17 時台」がもっとも多くなっています。また、長期休暇期間中については、開始時刻は「8 時台」、終了時刻は「17 時台」がもっとも多くなっています。

問 11 で「1」に○をした方にうかがいます。

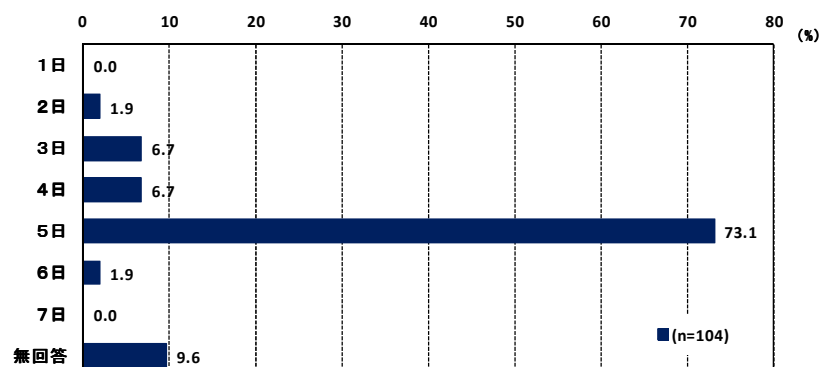
問 11-1. 平日と土曜日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について、利用状況をお答えください。

(それぞれ1つに○) 利用している場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

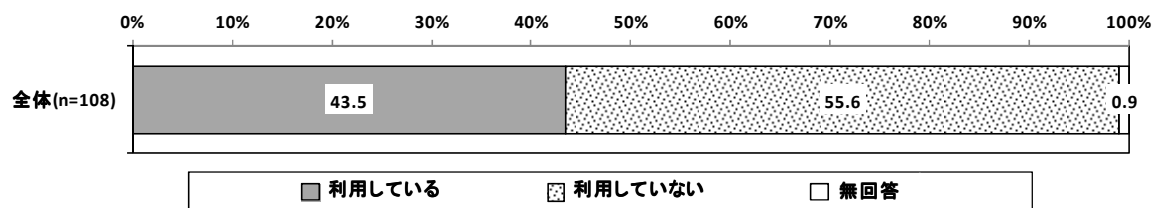
(1) 平日



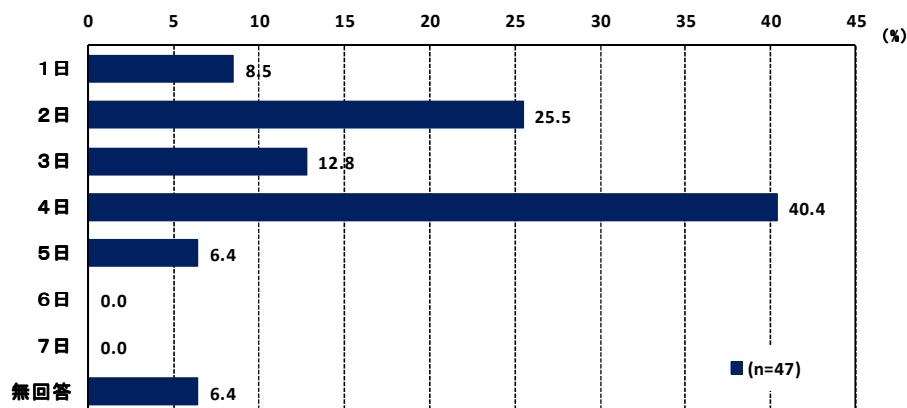
【週当たり利用日数】



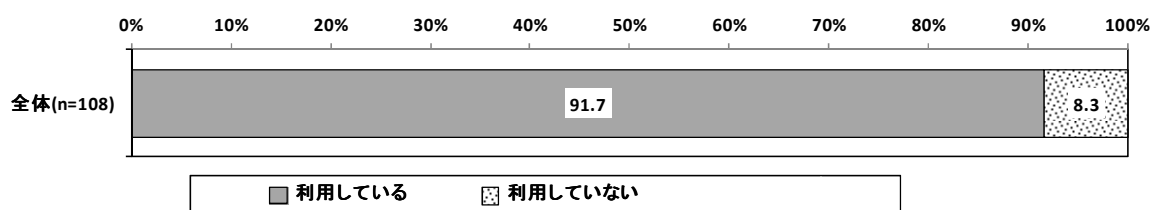
(2) 土曜日



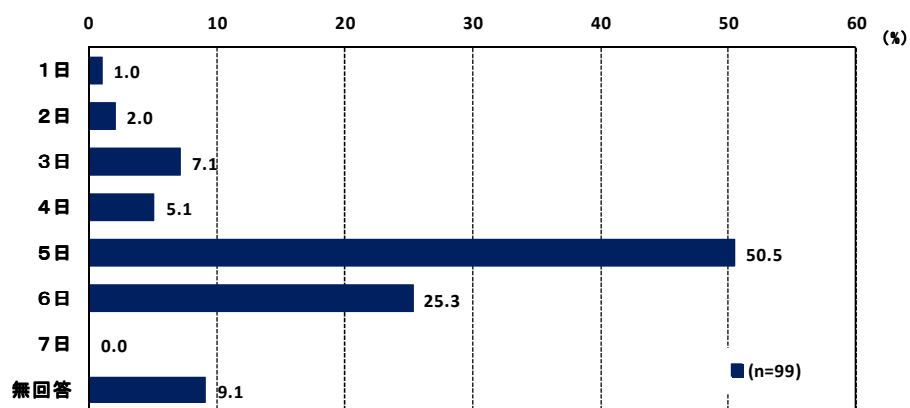
【月当たり利用日数】



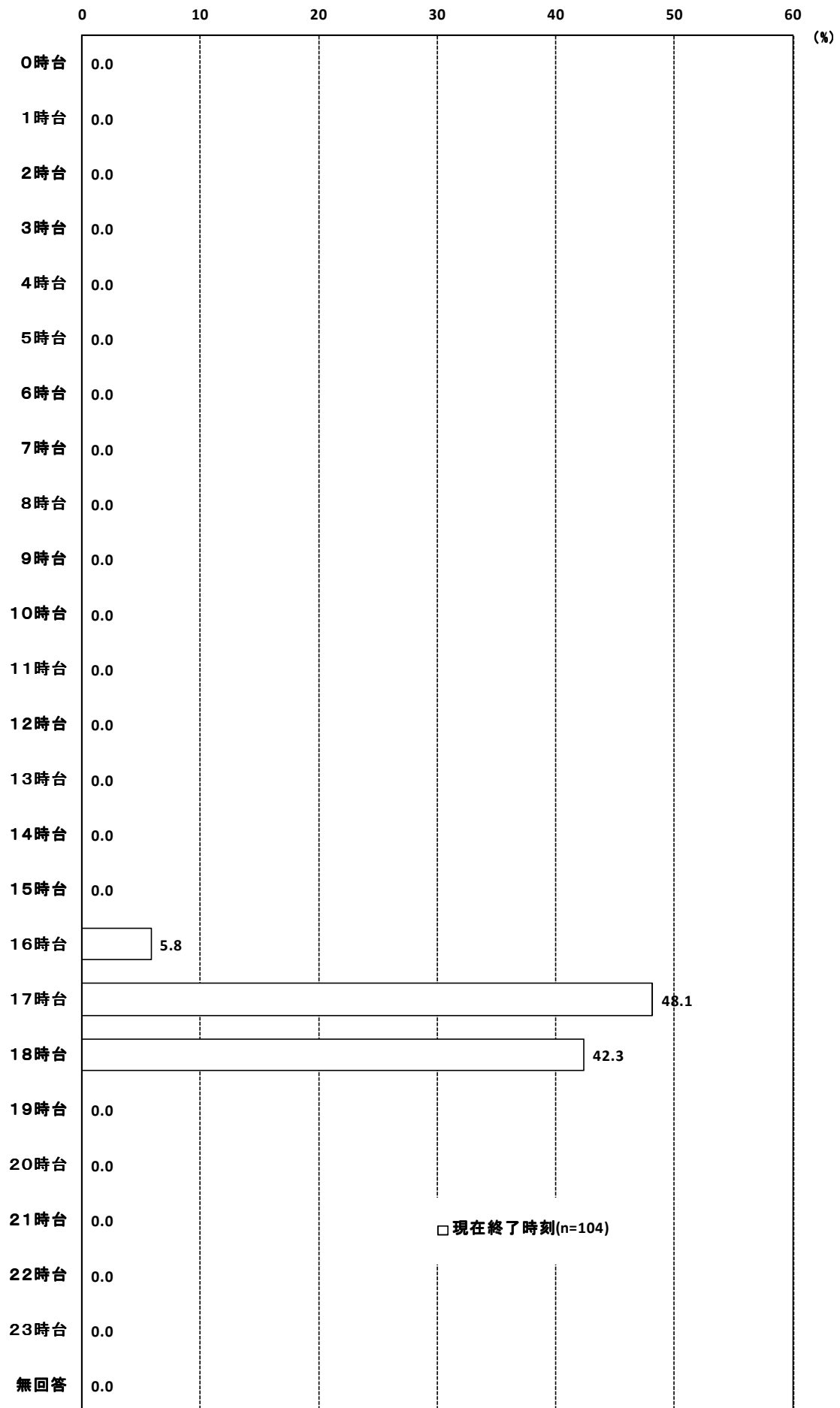
(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中



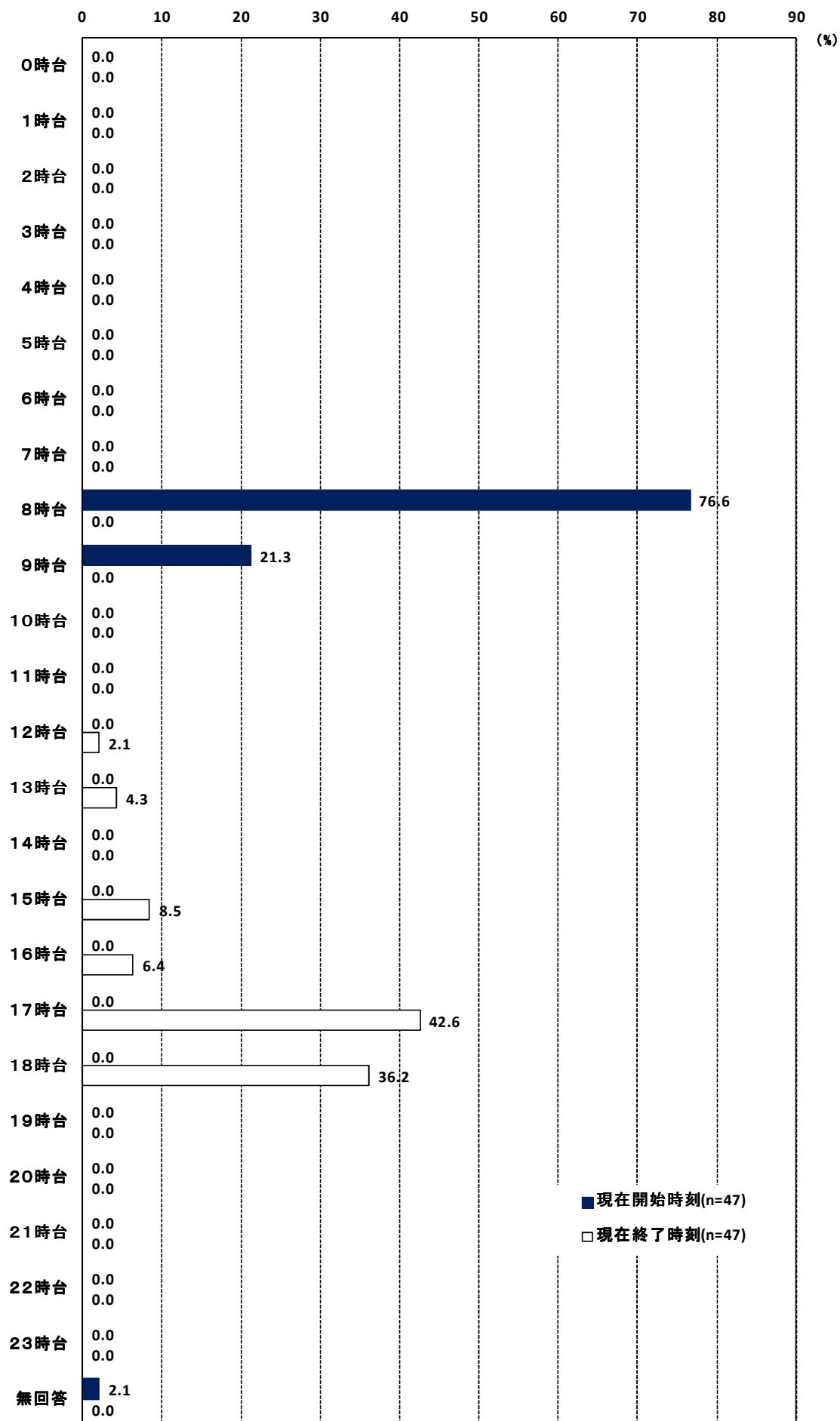
【週当たり利用日数】



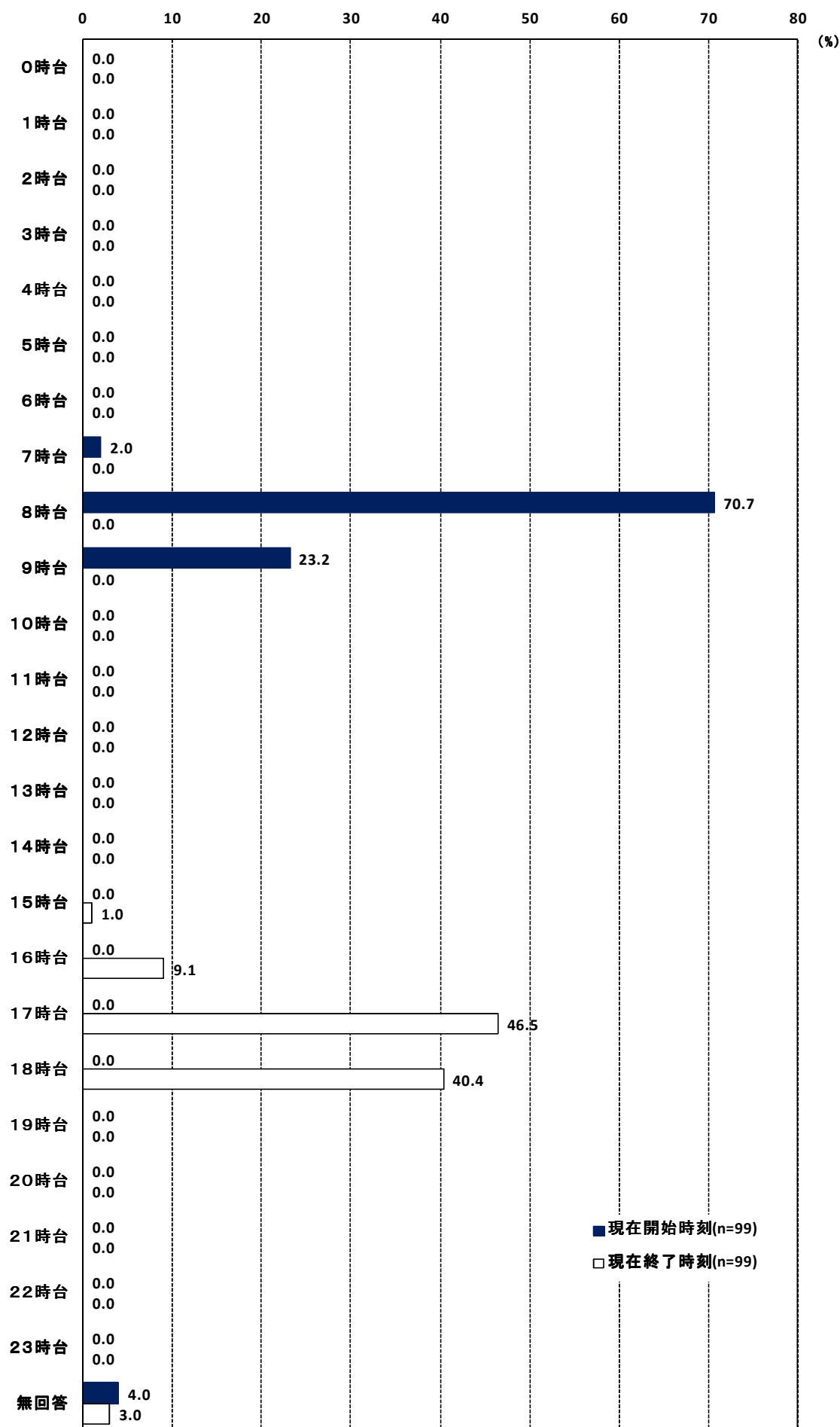
【平日開始・終了時刻】 平均 終了 17 時 35 分



【土曜日開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 15 分 終了 17 時 00 分



【夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 20 分 終了 17 時 30 分



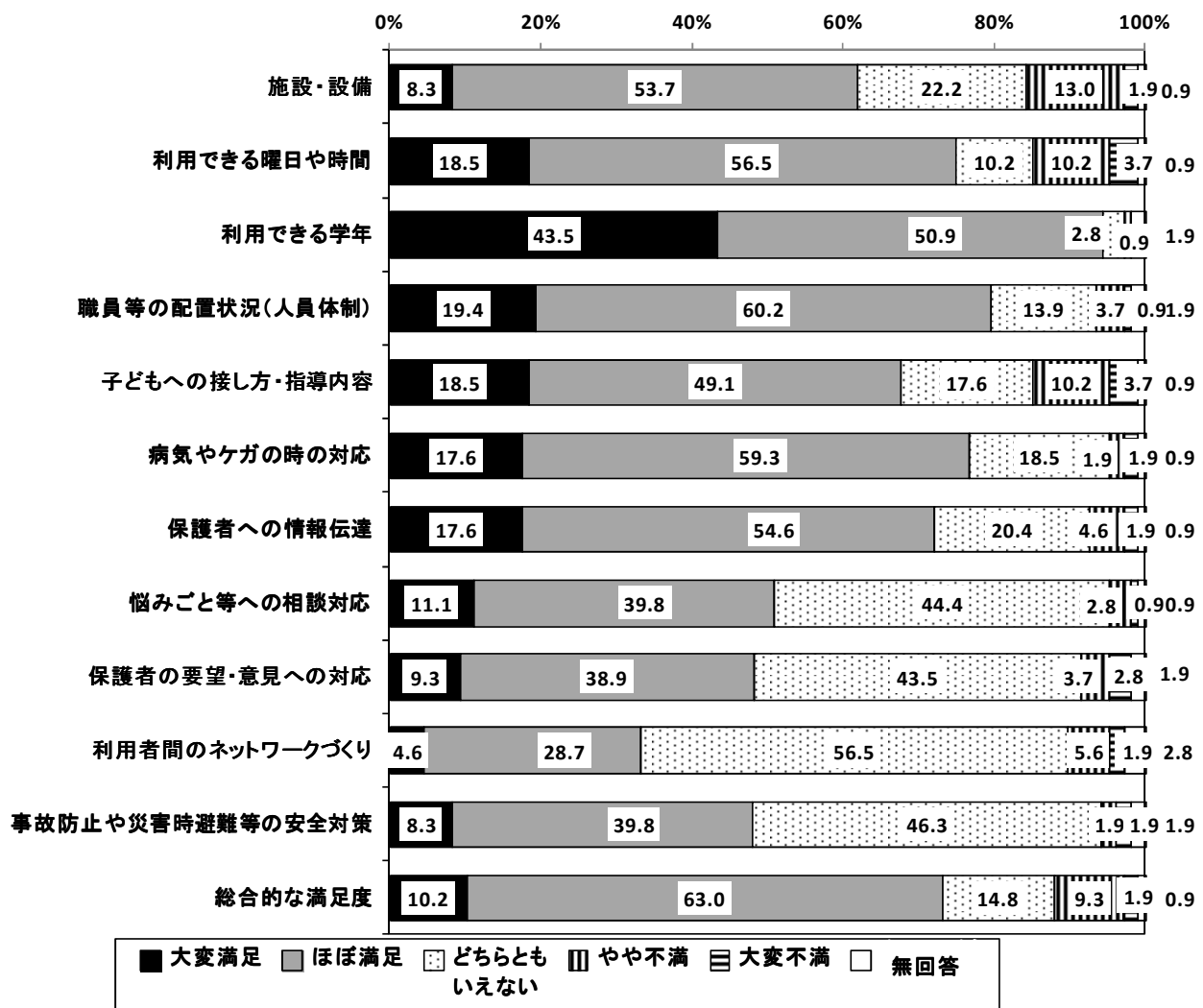
4-3. 放課後児童クラブに対する評価

放課後児童クラブに対する評価については、「満足」と「やや満足」を合わせた割合で見ると、「利用できる学年」(94.4%)、「職員等の配置状況(人員体制)」(79.6%)、「病気やケガの時の対応」(76.9%)、「利用できる曜日や時間」(75.0%)「保護者への情報伝達」(72.2%)となっており、いずれも7割を超える満足度となっています。

一方、「利用者間のネットワークづくり」については満足度が33.3%にとどまっており、保護者間の情報交換の場づくりが必要です。

問 11-2. 現在、通っている学童保育所(放課後児童クラブ)に対してどのように感じていますか。

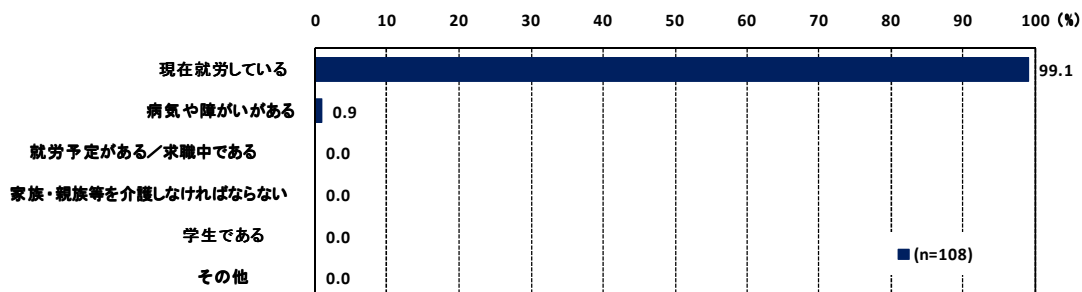
(1～12 及び総合的な満足度それぞれ1つに○)



4-4. 利用している理由

現在、放課後児童クラブを利用している理由としては、「現在就労している」が 99.1%で主なものとなっています。

問 11-3. 現在、利用している理由を教えてください。(1つに○)

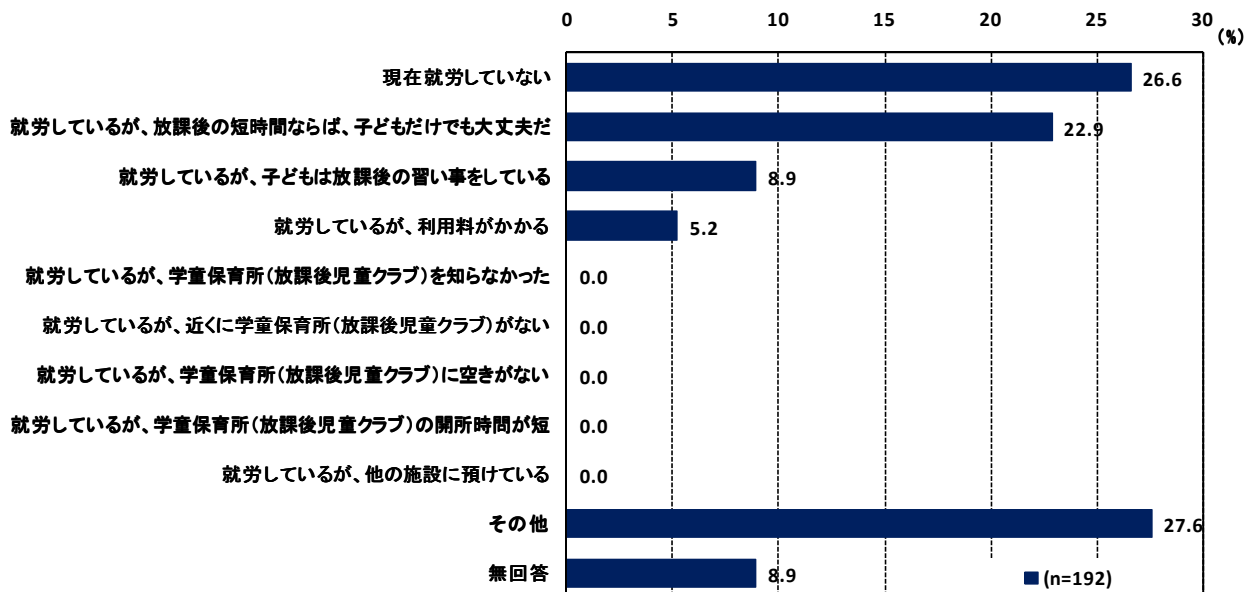


4-5. 利用していない理由

利用していない理由としては、「現在就労していない」が 26.6%と最も多くなっています。ついで、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だ」が 22.9%と続いています。

問 11 で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問 11-4. 利用していない理由は何ですか。(1つに○)

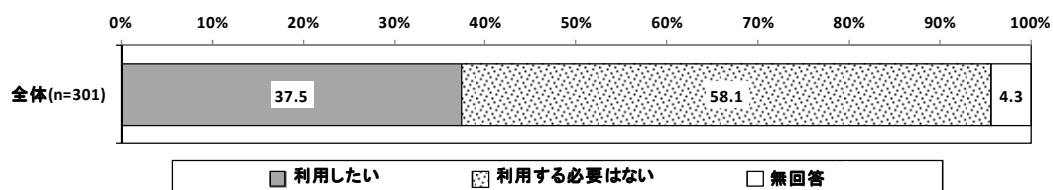


4-6. 今後の利用意向

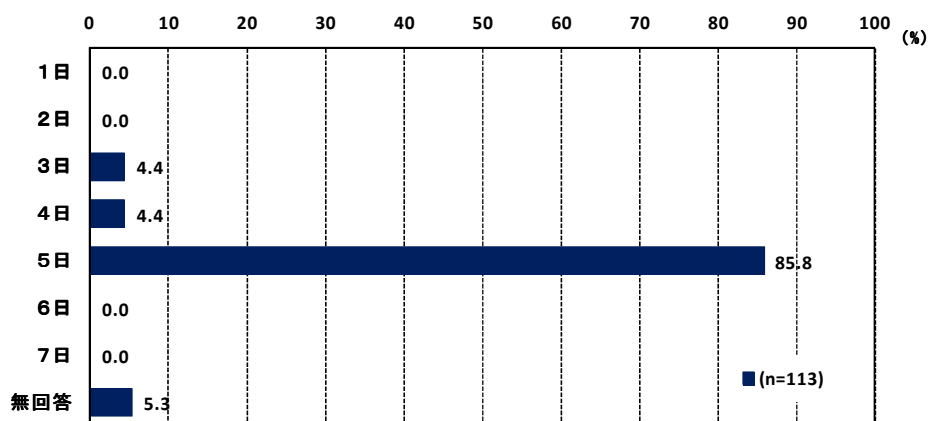
利用していない人も含めて今後の利用意向を尋ねたところ、平日に「利用したい」は37.5%となっています。土曜日の利用を希望しているのは20.9%で、長期の休暇期間中の利用を希望しているのは48.8%となっています。

問 12. あて名のお子さんについて、今後の学童保育所(放課後児童クラブ)の利用意向はありますか。現在利用中の方もお答えください。(それぞれ1つに○)

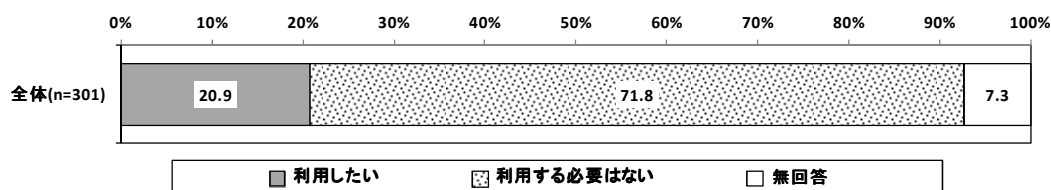
(1) 平日



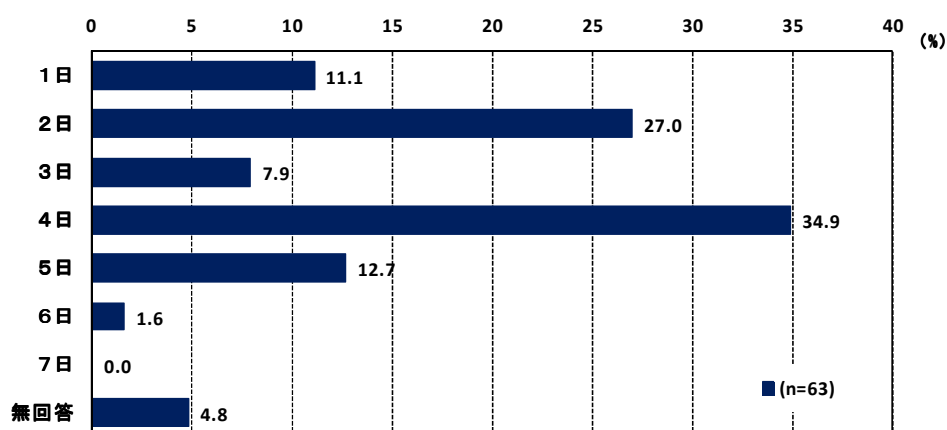
【週当たり利用日数】



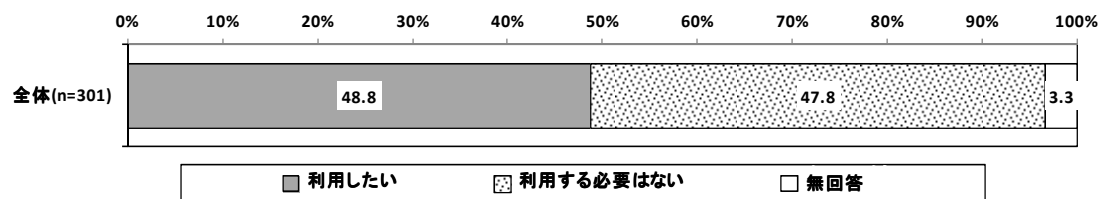
(2) 土曜日



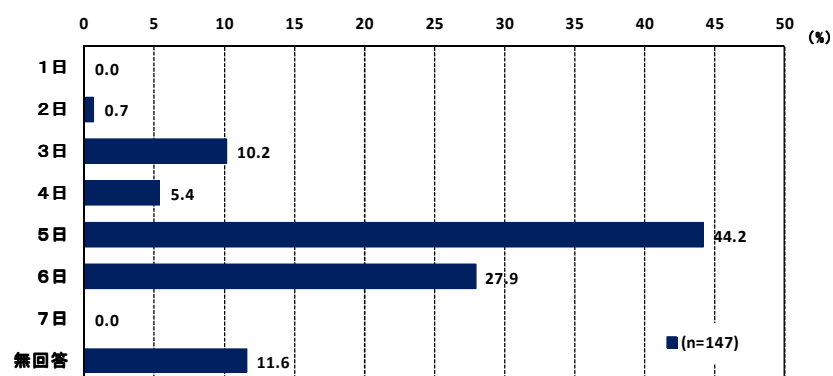
【月当たり利用日数】



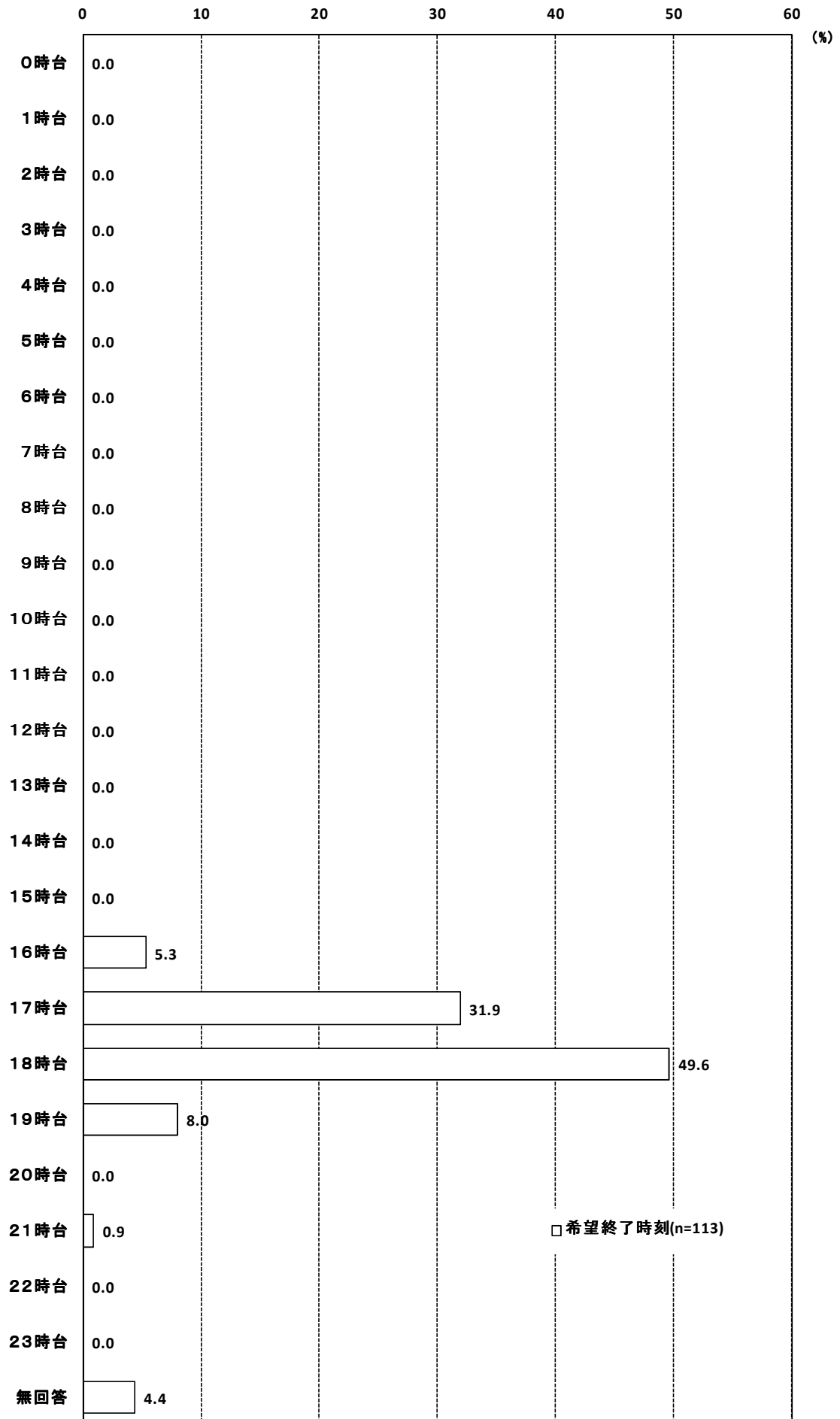
(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について



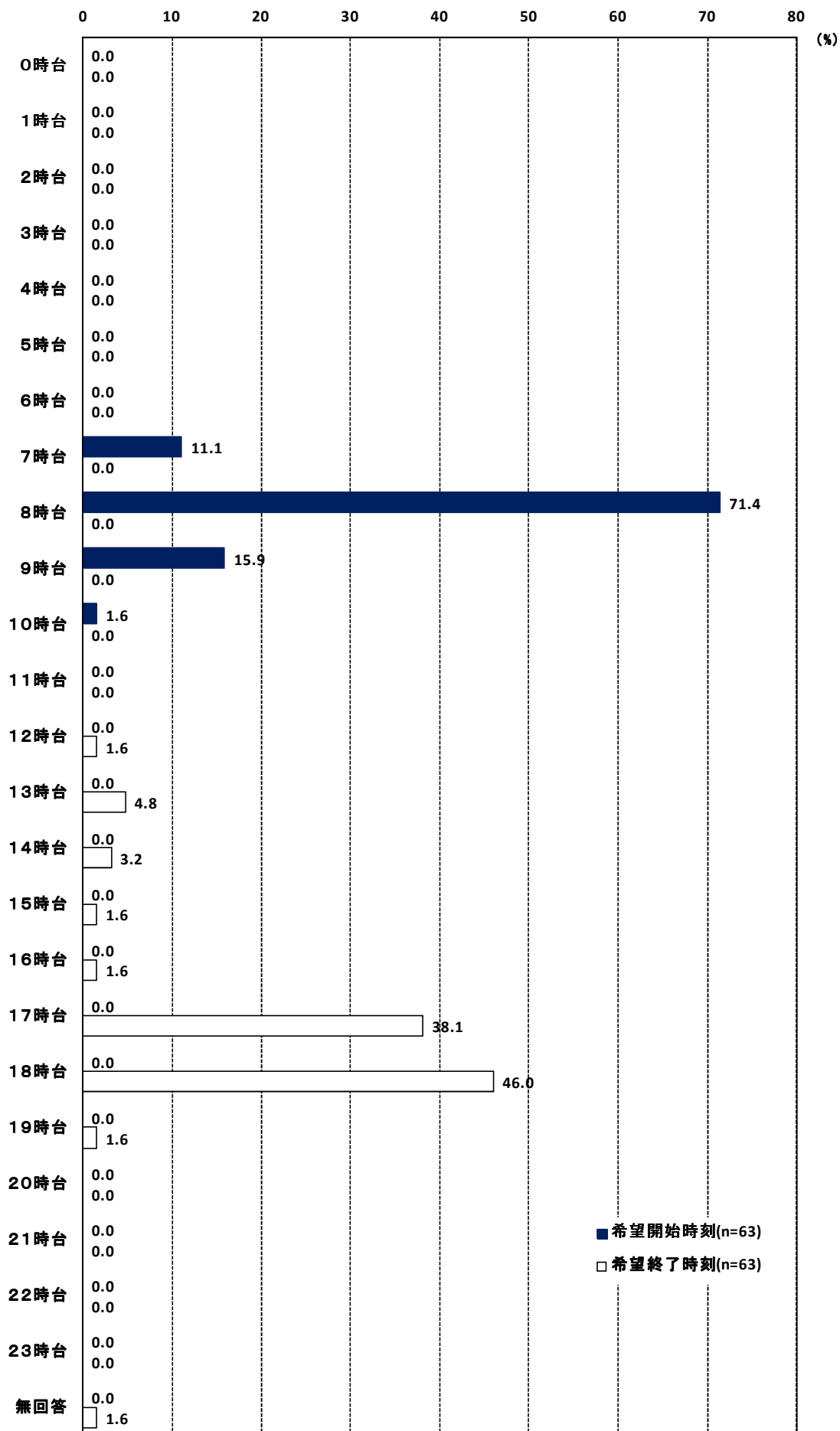
【週当たり利用日数】



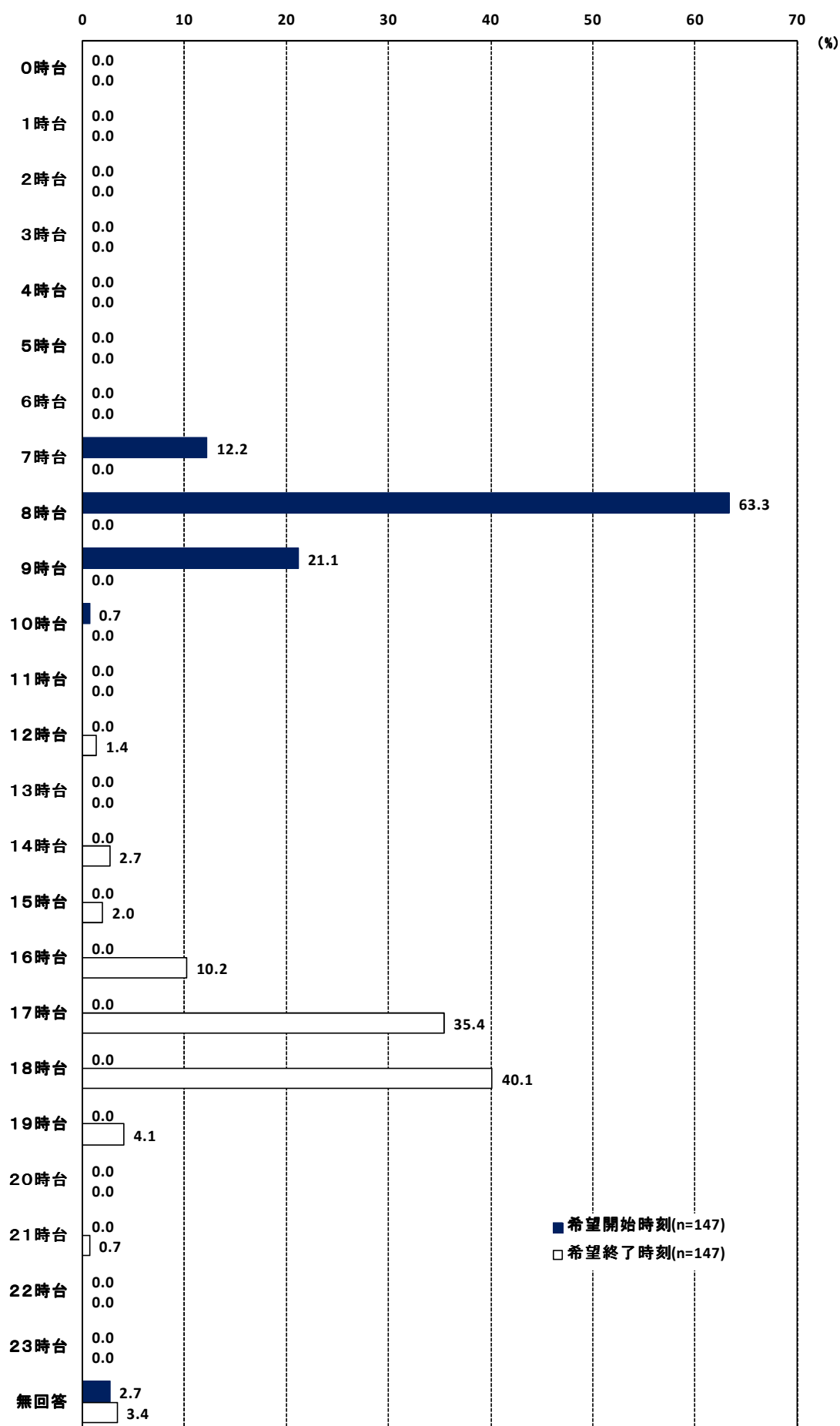
【平日開始・終了時刻】 平均 終了 17時 50分



【土曜日開始・終了時刻】 平均 開始 8時 10分 終了 17時 15分



【夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 15 分 終了 17 時 20 分

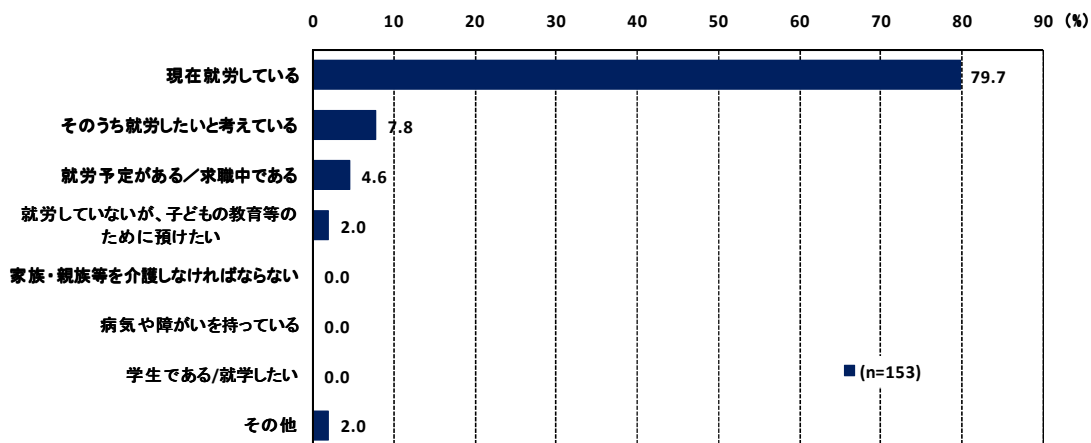


4-7. 利用したい理由

今後、放課後児童クラブを利用したい理由としては、「現在就労している」が 79.7%と圧倒的に多くなっています。

問 12 で(1) から(3)のいずれかで「2. 利用したい」に○をした方にうかがいます。

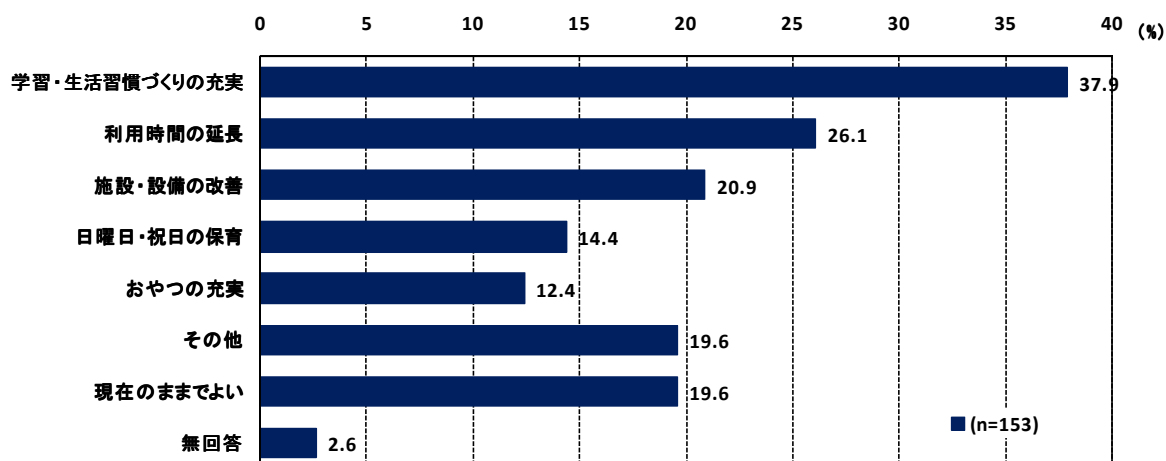
問 12-1. 今後、学童保育所(放課後児童クラブ)を利用したいと考えている理由はどのようなことですか。(1つに○)



4-8. 放課後児童クラブへの希望等

放課後児童クラブへの希望等については、「学習・生活習慣づくりの充実」が 37.9%でもっとも多く、ついで、「利用時間の延長」の 26.1%の順となっており、日常の生活習慣等への期待が大きくなっています。

問 12-2. 学童保育所(放課後児童クラブ)に対してどのようなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)



5. 病児・病後児保育について

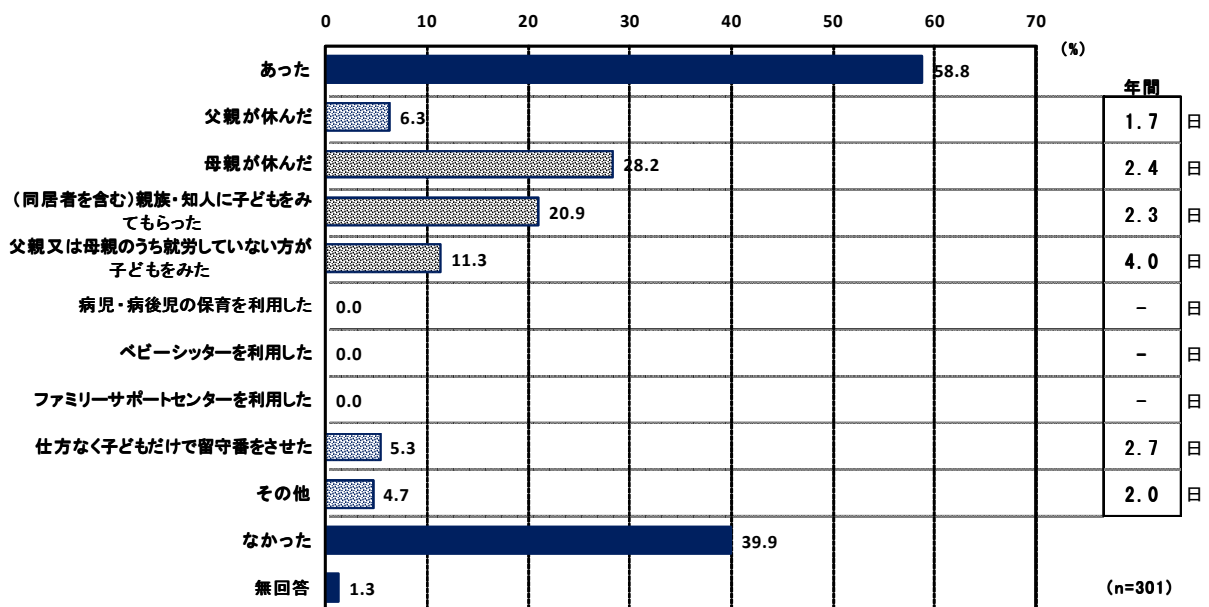
5-1. 過去1年間に子どもが学校を休まなければならなかったことの有無

この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかった経験についてみると、「あった」が58.8%と過半数を占めています。その対処方法としては、「母親が休んだ」が28.2%でもっとも多く、その平均日数は年間2.4日です。ついで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が20.9%で、平均日数は2.3日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもみた」が11.3%で平均日数は4.0日となっています。

問 13. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありますか。

問13で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。(あてはまるものすべてに○)

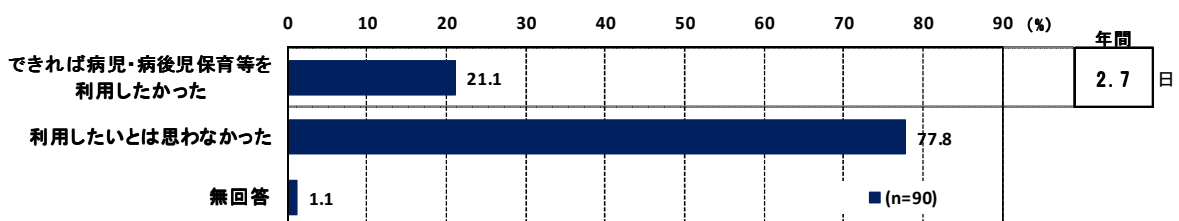


5-2. 病児・病後児保育の利用希望

父親又は母親が休んで対処した方のうち、「できれば病児・病後児保育等を利用したかった」と答えたのは21.1%で、希望日数は年間2.7回となっています。「利用したいとは思わなかった」は77.8%となっています。

問13-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(1つに○)



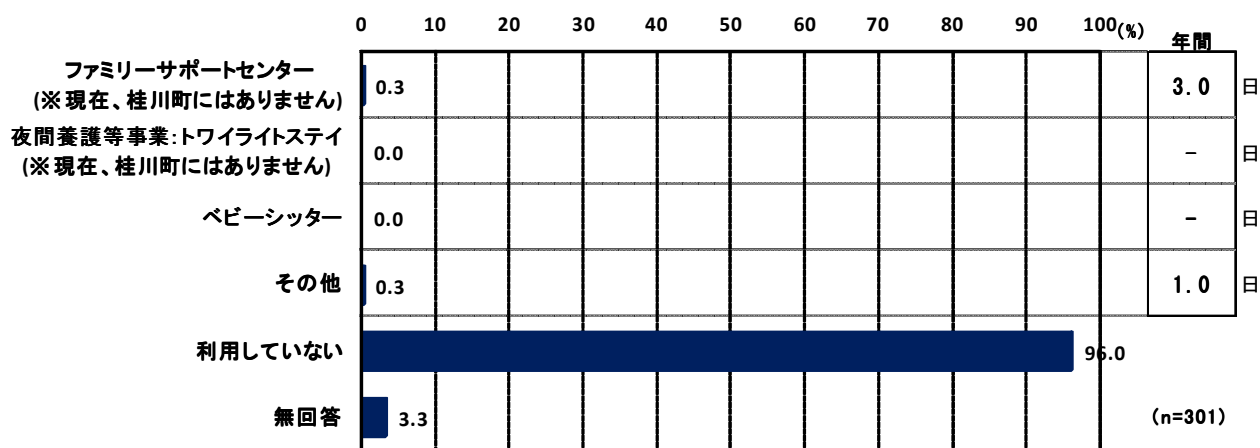
6. 一時預かりについて

6-1. 不特定の教育・保育事業の利用について

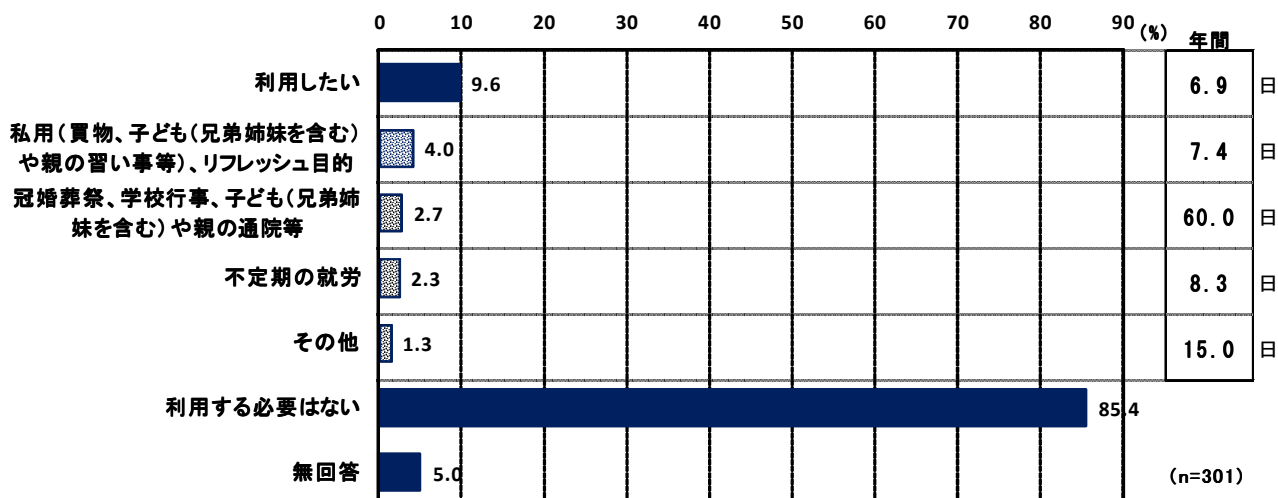
病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不特定に利用している事業についてみると、96.0%の人が「利用していない」と答えています。

また、今後そのような事業を「利用したい」と答えた割合は 9.6%で、その理由としては「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 4.0%で平均日数は 7.4 日となっています。

問 14. あて名のお子さんについて、病気等のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不特定に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。



問 15. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。

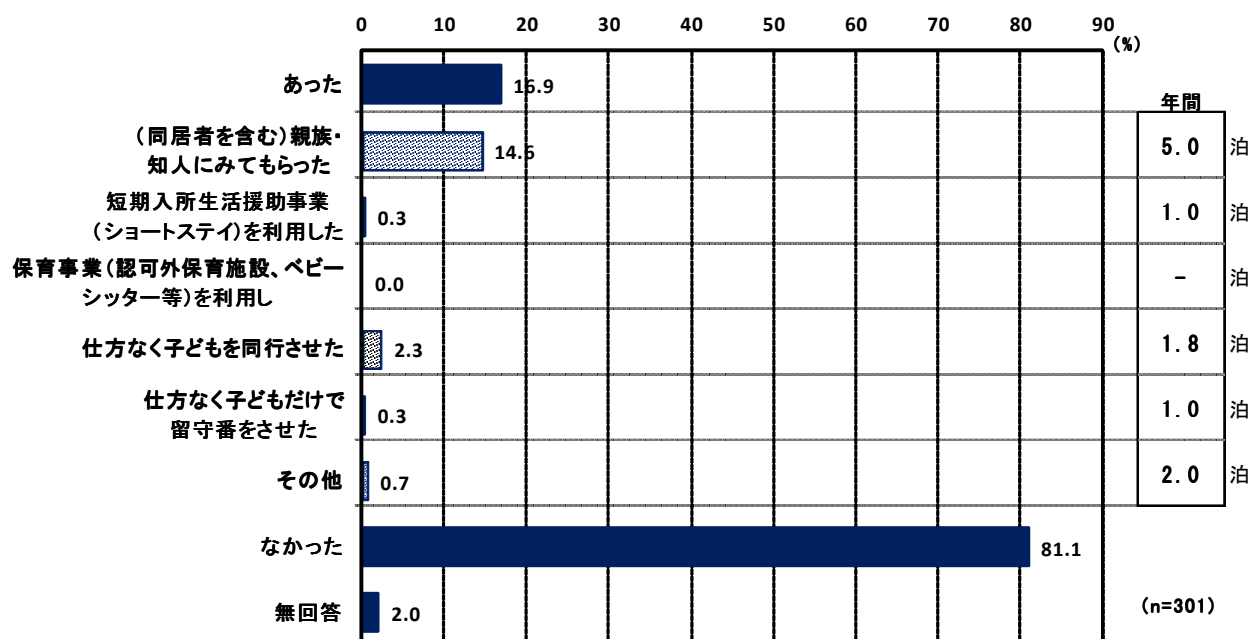


6-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった経験についてみると、「あった」は16.9%です。

その対処方法としては、14.6%が「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答しており、その平均日数は5.0泊となっています。

問 16. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法と泊数もお答えください。

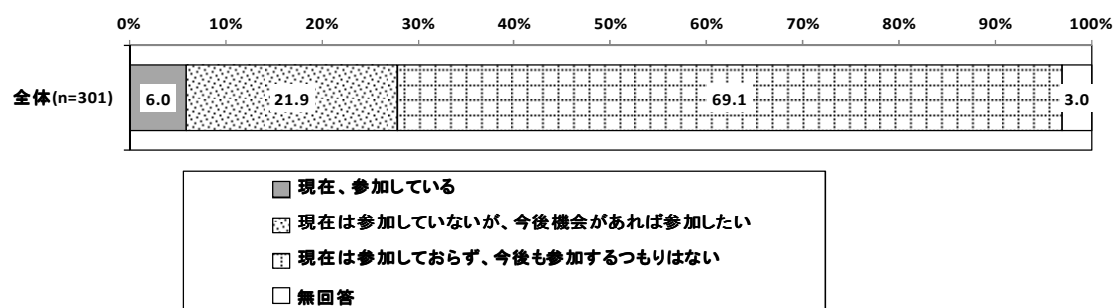


7. 自主的な活動への参加状況について

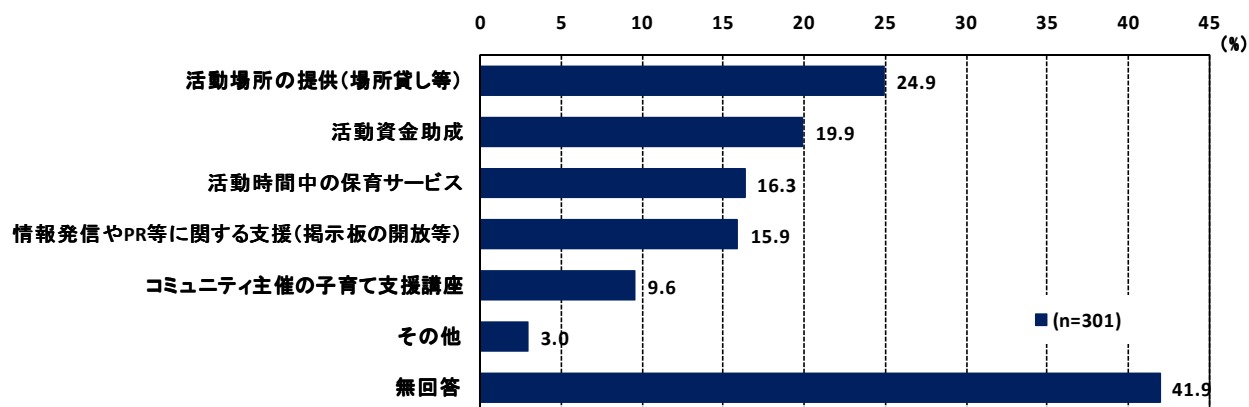
子育てに関するサークルなど自主的な活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は6.0%と極めて低率です。「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が21.9%となっており、利用意向は全体で3割弱にとどまっています。

また今後、自主活動をしていくにあたり、行政に行ってほしい支援については、「活動場所の提供(場所貸し等)」が24.9%でもっとも多く、以下「活動資金助成」19.9%、「活動時間中の保育サービス」16.3%、「情報発信やPRなどに対する支援(掲示板の開放等)」15.9%と続いています。

問 17. あなたは子育てに関するサークル等自主的な活動に参加していますか。(1つに○)



問 18. 自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。(2つまで○)

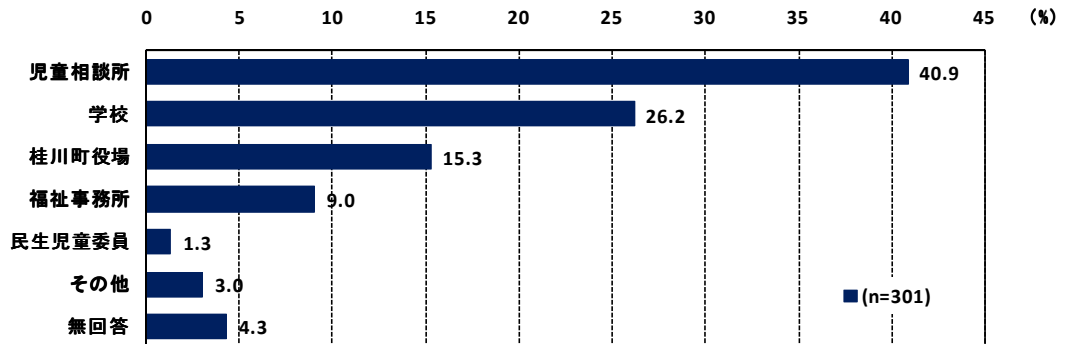


8. 児童虐待について

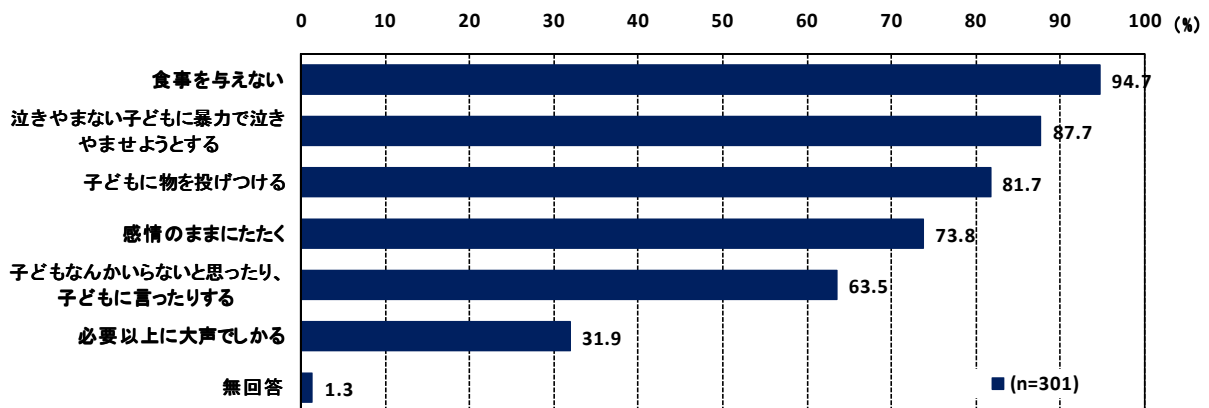
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した際の通報、相談先については、「児童相談所」が40.9%となっており、以下「学校」26.2%、「桂川町役場」15.3%、「福祉事務所」9.0%と続いています。

「どのような行為が児童虐待にあたると思いますか」という質問に対しては、「食事を与えない」94.7%、「泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとする」87.7%、「子どもに物を投げつける」81.7%が8割を超えています。

問 19. 児童福祉法の規定に基づき、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、通告を行う義務が定められています。あなたは児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、どちらに通報、相談しようと思いますか。(1つに○)



問 20. あなたはどのような行為が児童虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

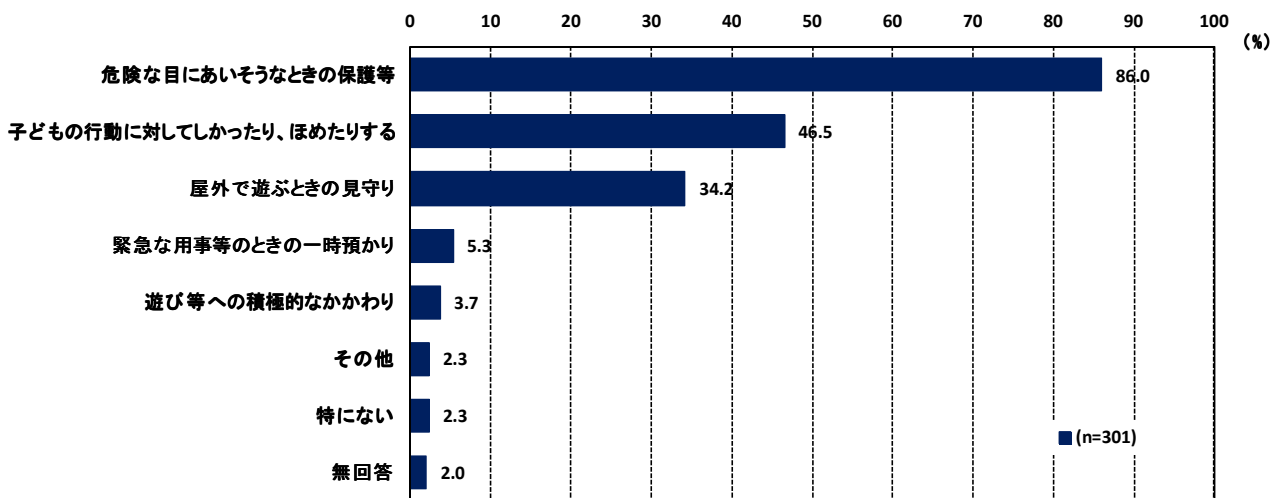


9. 子育て全般について

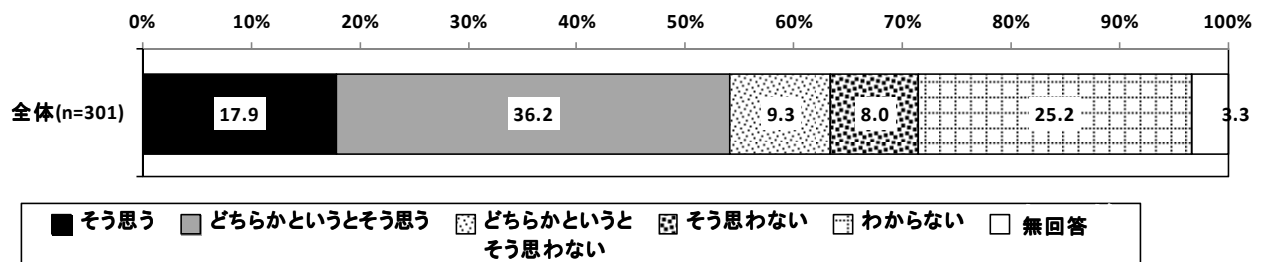
地域に望む子育て支援については、「危険な目にあいそうなときの保護等」が 86.0%で最も多く、以下「子どもの行動に対してしかったり、ほめたりする」が 46.5%、「屋外で遊ぶ時の見守り」34.2%となっており、子どもの安全に対する支援が望まれています。

また「桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか」との質問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて 54.1%となり、半数以上が「子育てしやすい」と思っています。

問 21. あなたは、自分の子どもについて、近所や地域の人たちにどのようなことをしてもらいたと思いますか。(2つまで○)



問 22. 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)



10. 本町の子育て支援策についての満足度と重要度

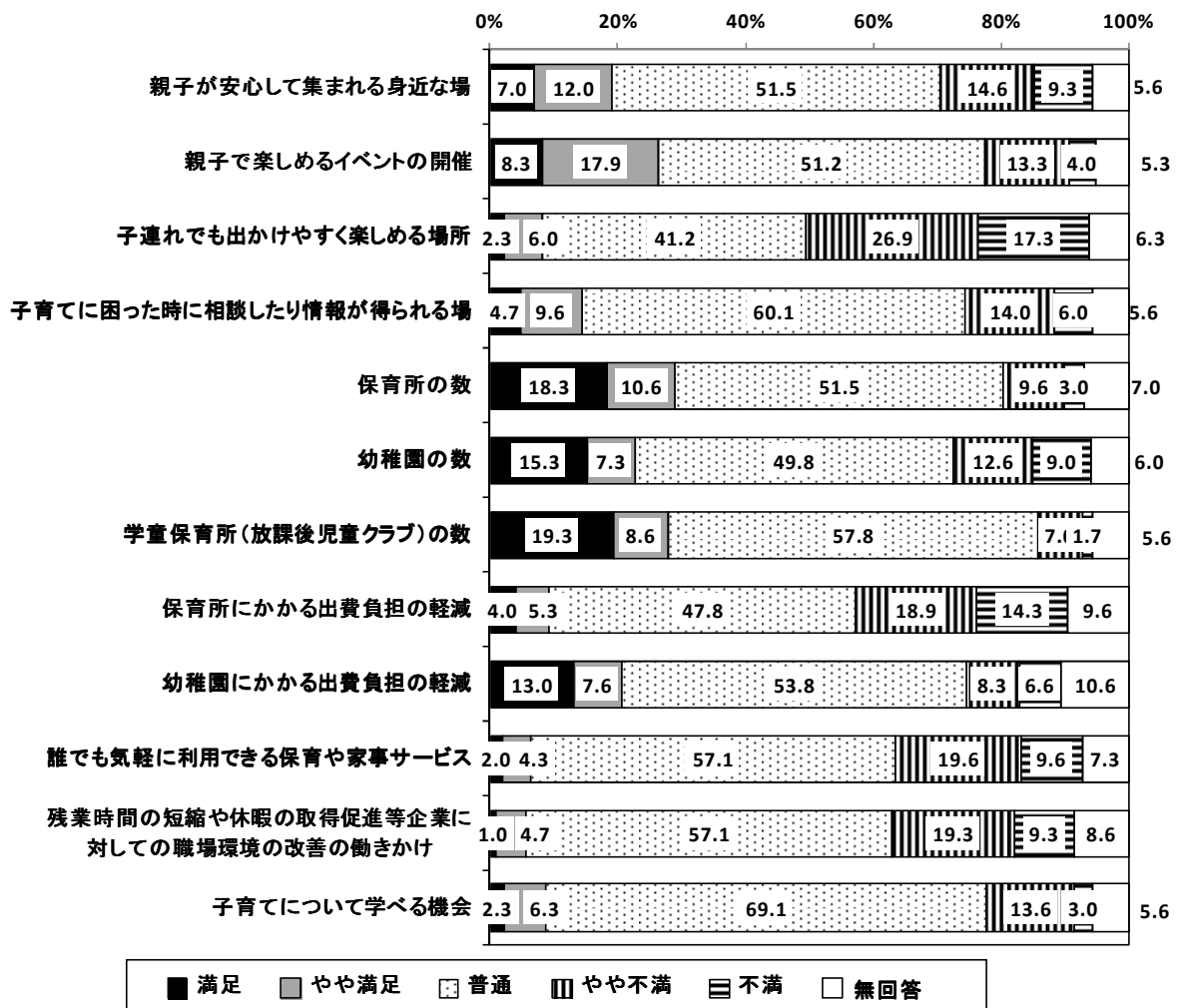
【満足度】

本町の子育て支援策に対する満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた割合がもっとも多かったのが「保育所の数」で、28.9%となっています。以下「学童保育所(放課後児童クラブ)の数」27.9%、「親子で楽しめるイベントの開催」26.2%、「幼稚園の数」22.6%、「幼稚園にかかる出費負担の軽減」20.6%と続いており、いずれも20%台とやや低めになっています。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合がもっとも多かったのが「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」の44.2%で、子ども連れの家庭でも楽しめるような施設の充実に対して、ニーズが高まっていることがうかがえます。ついで「保育所にかかる出費負担の軽減」が33.2%となっています。以下「残業時間の短縮や休暇の取得促進等企業に対しての職場環境の改善の働きかけ」「誰でも気軽に利用できる保育や家事サービス」「親子が安心して集まれる身近な場」「幼稚園の数」「子育てに困った時に相談したり情報が得られる場」等に対しては、不満の割合が20%台となっています。

問 23. 本町の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

【満足度】

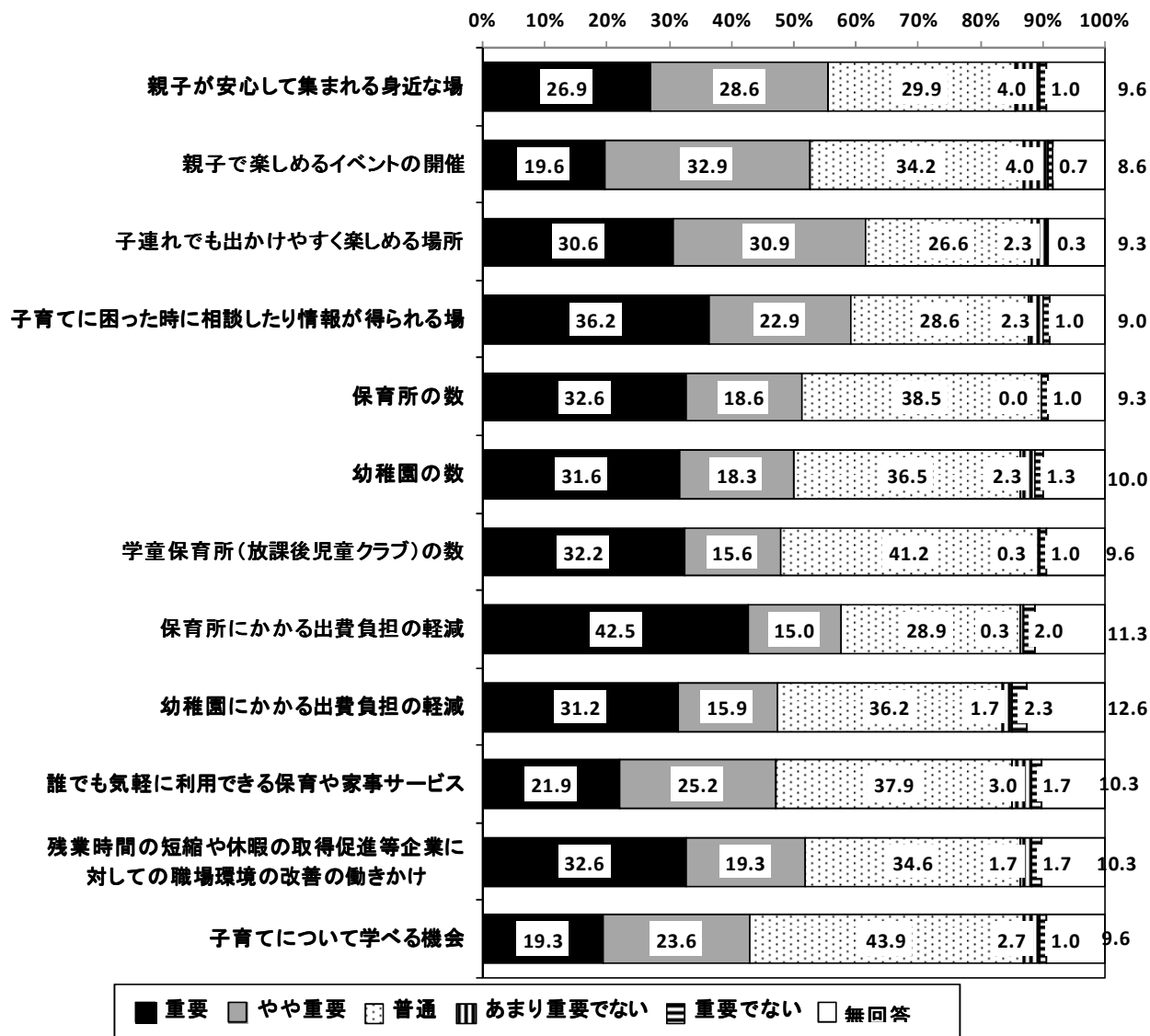


【重要度】

本町の子育て支援策に対する重要度については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」の「重要」「やや重要」を合わせた割合が 61.5%と最も多く、続いて「子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場」の 59.1%、「保育所にかかる出費負担の軽減」の 57.5%「親子が安心して集まれる身近な場」の 55.5%等が上位を占めています。

主に親子で楽しんだり、集まれる場等の充実に対して、ニーズが高まっていることがうかがえます。

【重要度】





調 査 票

桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査

— 就学前児童保護者用 —

《アンケートへのご協力についてのお願い》

皆様には、日頃より桂川町政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。さて、本町では子育て支援のためのさまざまな施策を実施しておりますが、国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、新制度の基礎自治体となる市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけされました。

これを受けて本町では、平成 27 年度を初年度とする『桂川町子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、町民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見等を把握するべく、「桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、就学前のお子さんの保護者の方を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、桂川町や国・県の子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月
桂川町長 井上 利一

※ご記入にあたってのお願い

- ① 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さん（対象のお子さんが何人もおられる場合は末子のお子さん）についてご記入ください。
- ② アンケートには、お子さんの身の回りの世話等を主にしている保護者の方がご記入ください。
- ③ ご回答は、選択肢に○を付けてお選びいただく場合と、数字等を具体的にご記入いただく場合がございます。
- ④ 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いしている設問があります。その場合は説明文、矢印等に従ってお答えください。
- ⑤ “○”をつける数については、“（1つに○）”、“（あてはまるものすべてに○）”等の案内がありますので、設問ごとの案内にしたがってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を〔 〕内にご記入ください。
- ⑥ ご記入がすみましたら、お手数ですが...

※幼稚園・保育園等で配布された方は、同封の返信用封筒に入れて、12月20日（金）までに幼稚園・保育園等に提出してください。

※郵便で送られてきた方は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、12月20日（金）までにポストにご投函ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

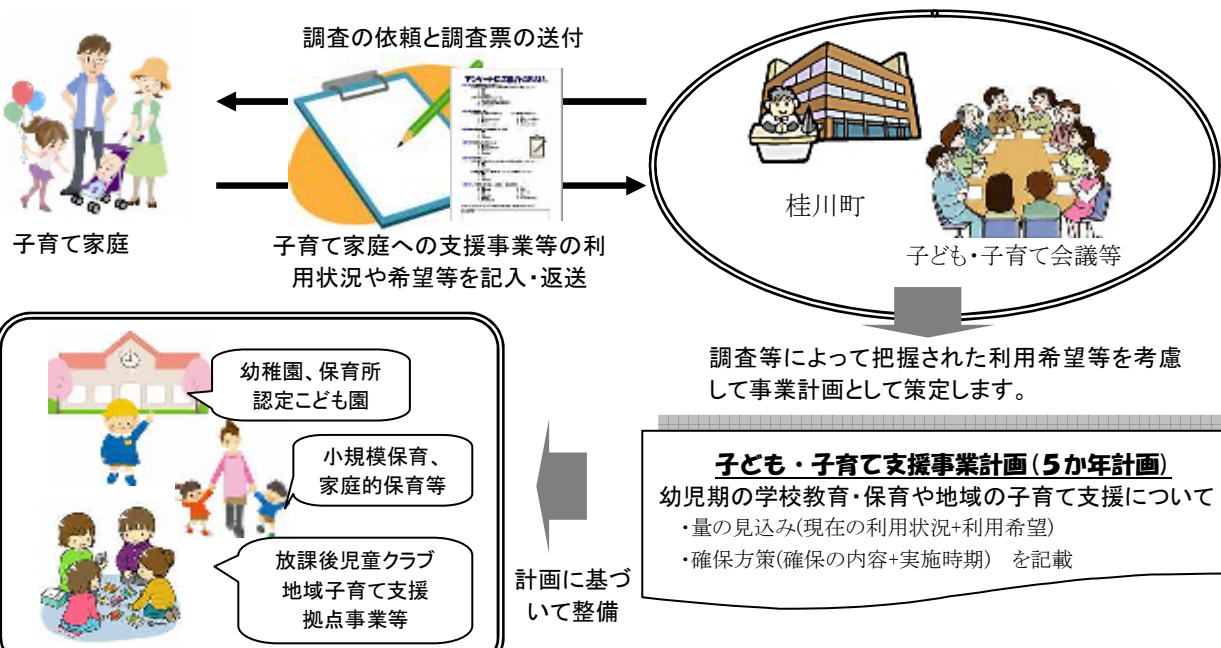
桂川町 健康福祉課 担当：江藤・大浦
電話：65-0001 F A X：65-0078

回答するにあたってお読みください。

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいたご回答は子育て支援の充実に生かされます。



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼稚園：学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）

認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）

子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

あて名のお子さんのことや子育て環境についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 桂川小学校 | 2. 桂川東小学校 | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

平成 年 月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他〔 <input style="width: 50px;" type="text"/> 〕 |
|-------|-------|---|

問5 この調査票にご回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 1. 29歳以下 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70歳以上 |

問6 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)

※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | |
|----------|---|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他〔 <input style="width: 50px;" type="text"/> 〕 | |

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ | |

問9 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・近所の人・保護者仲間 |
| 3. 保育士や幼稚園・学校等の先生 | 4. 病院の医師・看護師・助産師 |
| 5. 役場や社会福祉協議会等の職員 | 6. 区長、民生児童委員 |
| 7. その他〔 <input style="width: 50px;" type="text"/> 〕 | 8. だれもない |

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 10 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

（①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答）

※以下の就労形態は、もっとも多い就労形態についてお答えください。

※家を出る時間と帰宅時間は 24 時間制(分単位を切り捨て)でお答えください。

（例：18 時）

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※フルタイムとは、常勤・非常勤に関わらず週 5 日程度かつ 1 日 8 時間程度の就労のこと。

※パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労のこと。

	①母親	②父親
1. フルタイムで就労している ⇒ 問 11 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問 11 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
3. パート・アルバイト等で就労している ⇒ 問 10-1 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問 10-1 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問 10-2 へ		
6. これまでに就労したことがない ⇒ 問 10-2 へ		

問 10 で「3」または「4」に○をした方にうかがいます。

問 10-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

	①母親	②父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある		
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない		
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望		
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい		

問 10 で「5」または「6」に○をした方にうかがいます。

問 10-2 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

※「2. 1 年より先、一番下の子どもが～」を選択した場合、対象のお子さんの具体的な年齢を()内にお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

	①母親	②父親
1. 子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)		
2. 1 年より先、一番下の子どもが() 歳になったころに就労したい ⇒ 問 10-3 へ		
3. すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい ⇒ 問 10-3 へ		

問 10-2 で「2」または「3」に○をした方にうかがいます。

問 10-3 就労希望の形態はどのようなものですか。

(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

	①母親	②父親
1. フルタイム		
2. パート・アルバイト等		
◆希望する就労日数は1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆希望する就労時間は1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日



**あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業
の利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所等、問11-1に示した事業が含まれます。

すべての方にうかがいます。

問 1 1 お子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
(1つに○)

1. 利用している ⇒ 問11-1~4へ 2. 利用していない ⇒ 問11-5へ

問 11 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 1 1-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

事業番号	事業名
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用・桂川幼稚園等)
2	幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3	認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた施設・土師保育所、吉隈保育所、善来寺保育園等)
4	認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) ※現在、桂川町にはありません
5	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
6	その他の認可外の保育施設 (認可保育所以外の子どもを保育する施設)
7	居宅訪問型保育(ベビーシッター) (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
8	ファミリーサポートセンター (会員登録した地域住民が子どもを預かる事業) ※現在、桂川町にはありません
9	その他〔 〕

問 11-2 問 11-1 で選択した事業番号ごとに、現在の利用状況と、希望する利用日数等を具体的に
にお答えください。※利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

事業番号	利用日数・利用時間・利用時間帯									
	現在：1週あたり[]日 1日あたり 時間（ 時 分～ 時 分）									
	希望：1週あたり[]日 1日あたり 時間（ 時 分～ 時 分）									
	現在：1週あたり[]日 1日あたり 時間（ 時 分～ 時 分）									
	希望：1週あたり[]日 1日あたり 時間（ 時 分～ 時 分）									

問 11-3 問 11-1 で選択した事業のうち、主に利用している事業の実施場所はどこですか。
(1つに○)

1. 桂川町内	2. 飯塚市	3. 嘉麻市	4. 他の市町〔 〕
---------	--------	--------	-----------------------

問 11-4 現在、利用されている幼稚園や保育所に対してどのように感じていますか。
(1～12 及び総合的な満足度それぞれ 1 つに○)

項 目	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満
１．施設・設備					
２．利用できる曜日や時間					
３．利用できる年齢					
４．職員等の配置状況（人員体制）					
５．子どもへの接し方・指導内容					
６．病気やケガの時の対応					
７．保護者への情報伝達					
８．悩みごと等への相談対応					
９．保護者の要望・意見への対応					
10．利用者間のネットワークづくり					
11．事故防止や災害時避難等の安全対策					
12．総合的な満足度					

問 11 で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問 11-5 利用していない理由は何ですか。(1つに○)

- １．利用する必要がない
- ２．子どもの祖父母や親戚の人がみている
- ３．利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- ４．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- ５．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- ６．利用したいが、事業の利用要件(就労要件等)に当てはまらない
- ７．申込みをしているが利用できない
- ８．子どもがまだ小さいため
- ９．その他〔

問 12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 . 幼稚園
(通常の就園時間の利用・桂川幼稚園等)
- 2 . 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 . 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた施設・土師保育所、
吉隈保育所、善来寺保育園等)
- 4 . 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) ※現在、桂川町にはありません
- 5 . 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね 6 人～19 人のもの)
- 6 . 家庭的保育(保育ママ)
(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
- 7 . 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 . 認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) ※現在、桂川町にはありません
- 9 . その他の認可外の保育施設
(認可保育所以外の子どもを保育する施設)
- 10 . 居宅訪問型保育(ベビーシッター)
(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 11 . ファミリーサポートセンター ※現在、桂川町にはありません
(会員登録した地域住民が子どもを預かる事業)
- 12 . その他〔 〕

1. 桂川町内 2. 飯塚市 3. 嘉麻市 4. 他の市町〔 〕

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 1 3 現在、桂川町には「地域子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）はありませんが、近隣の市町の地域子育て支援センターを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。

1. 近隣の地域子育て支援センターを利用している	→◆1ヶ月あたりの利用回数 回/月
2. 利用していない	

問 1 4 問 13 の地域子育て支援センターについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いませんか。（1つに○）また、希望するおおよその利用回数（頻度）をお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい	→◆1ヶ月あたりの利用回数 回/月
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	→◆1ヶ月あたりの利用回数 回/月
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	
4. 桂川町に同様な施設ができれば、利用したい	

問 1 5 下記の 1～14 のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。（サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○）

サービスの種類	A 知っている	B 利用した ことがある	C 今後、利用 したい
1. 児童遊園（地域の公園）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
2. 妊婦健康診査	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
3. 乳幼児健康診査 （生後4カ月、7カ月、12カ月、1歳6ヶ月、3歳）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
4. 妊婦さん安心教室（母親学級）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
5. ピヨピヨ教室（生後2カ月）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
6. わんぱく教室（生後7カ月以上）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
7. 母乳相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
8. 新生児訪問	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
9. 保育所地域交流事業 （園庭の開放「焼いも、焼きそば、カレーパーティー」）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
10. ミニミニお話し会（毎週土曜日）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
11. ブックスタート（4カ月、7ヶ月、12ヶ月）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
12. リフレッシュ事業 （社会福祉協議会事業・託児ボランティア）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
13. 手作りいろいろ教室・子育て支援講座 （社会福祉協議会事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
14. すくすく広場・サロン事業（社会福祉協議会事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設等の事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない ※現在、保育所等で土曜日の保育を利用されている方は、ここに○

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回利用したい

希望したい
利用時間帯

時 分 から 時 分 まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に 1~2 回利用したい

希望したい
利用時間帯

時 分 から 時 分 まで

現在、幼稚園を利用している方にうかがいます。利用していない方は、問 18 にお進みください。

問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

希望したい
利用時間帯

時 分 から 時 分 まで

**あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方(問 11 で「1」に○をつけた方)にうかがいます。定期的な教育・保育の事業を利用していない方は、問 19 へお進みください。

問 18 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

1. あった ⇒ 問 18-1 へ 2. なかった ⇒ 問 19 へ

問 18 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 18-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）（あてはまるものすべてに○、あわせて（ ）内に数字記入）

- | | | |
|--|-----------|------------|
| 1. 父親が休んだ | () 日 | } 問 18-2 へ |
| 2. 母親が休んだ | () 日 | |
| 3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった | () 日 | } 問 19 へ |
| 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | () 日 | |
| 5. 病児・病後児の保育を利用した | () 日 | |
| 6. ベビーシッターを利用した | () 日 | |
| 7. ファミリーサポートセンターを利用した | () 日 | |
| 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | () 日 | |
| 9. その他〔 〕 | () 日 | |

問 18-1 で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった ⇒ () 日
2. 利用したいとは思わなかった

**あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

すべての方にうかがいます。

問 19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。

(あてはまるものすべてに○、あわせて () 内に数字記入)

1. 一時預かり ※現在、桂川町にはありません (私用等理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 ※現在、桂川町にはありません (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. リフレッシュ事業 (託児ボランティア WaWa による託児支援・社会福祉協議会)	() 日
4. ファミリーサポートセンター ※現在、桂川町にはありません (地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
5. 夜間養護等事業：トワイライトステイ ※現在、桂川町にはありません (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	() 日
6. ベビーシッター	() 日
7. その他〔 〕	() 日
8. 利用していない	

問 20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	計（ ）日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日
ウ. 不定期の就労	（ ）日
エ. その他〔 〕	（ ）日
2. 利用する必要はない	

問 2 1 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この 1 年間の対処方法と泊数もお答えください。

1. あった	ア。（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	()泊
	イ。短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	()泊
	ウ。イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	()泊
	エ。仕方なく子どもを同行させた	()泊
	オ。仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	カ。その他〔 〕	()日
2. なかった		

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の 放課後の過ごし方についてうかがいます。

あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方にうかがいます。該当しない方は、問 25 へお進みください。

- 問 2 2 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、あわせて（ ）内に数字記入）
- ※学童保育所（放課後児童クラブ）を希望する場合は、利用時間を 24 時間制でお答えください。

【放課後子ども教室とは】

・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

【学童保育所（放課後児童クラブ）とは】

地域によって学童保育等と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合等に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

（あてはまるものすべてに○、あわせて（ ）内に数字記入）

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、スイミング、学習塾等）	週（ ）日くらい
4. 児童館（※）	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室（※）	週（ ）日くらい
6. 学童保育所（放課後児童クラブ）	週（ ）日くらい ⇒下校時から（ ）時まで
7. ファミリーサポートセンター（※）	週（ ）日くらい
8. その他（公園等）	週（ ）日くらい

（※）現在、桂川町にはありません。また、ひまわりアンビシャス広場、夢・人・未来塾は対象外です。

- 問 2 3 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、あわせて（ ）内に数字記入）

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、スイミング、学習塾等）	週（ ）日くらい
4. 児童館（※）	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室（※）	週（ ）日くらい
6. 学童保育所（放課後児童クラブ）	週（ ）日くらい ⇒下校時から（ ）時まで
7. ファミリーサポートセンター（※）	週（ ）日くらい
8. その他（公園等）	週（ ）日くらい

（※）現在、桂川町にはありません。また、ひまわりアンビシャス広場、夢・人・未来塾は対象外です。

問 22 または問 23 で「6. 学童保育所(放課後児童クラブ)」に○をした方にうかがいます。
希望しない方は、問 25 にお進みください。

問 2 4 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中、
学童保育所(放課後児童クラブ)の利用希望はありますか。(1つに○)

※希望する利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい														
希望したい 利用時間帯			時			分	から			時			分	まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい														
希望したい 利用時間帯			時			分	から			時			分	まで

(3) 夏休み・冬休み等長期の休暇期間中

1. 利用する必要はない 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい														
希望したい 利用時間帯			時			分	から			時			分	まで

もう少しあります。
よろしくお願いします。



(1) 母親の場合(父親の場合は、問 27 へお進みください。)



問 2 6 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1 つに○)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 . 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問26-1 へ |
| 2 . 現在も育児休業中である | ⇒ 問26-4 へ |
| 3 . 育児休業中に離職した | ⇒ 問28 へ |

問 26 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 2 6 - 1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1 つに○)

※年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

- | |
|--------------------------|
| 1 . 年度初めの入園に合わせたタイミングだった |
| 2 . それ以外だった |

問 2 6 - 2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間	歳	ヶ月
希 望	歳	ヶ月

問 26-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 2 6 - 3 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 . 希望する保育所に入園するため |
| 2 . 配偶者や家族の希望があったため |
| 3 . 経済的な理由で早く復帰する必要があるため |
| 4 . 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5 . その他〔 |

〕

(2) 希望より遅く復帰した方(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 . 希望する保育所に入れなかったため |
| 2 . 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため |
| 3 . 家族や配偶者の希望があったため |
| 4 . 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5 . 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6 . その他〔 |

〕

問 26 で「2」に○をした方にうかがいます。

問 2 6 - 4 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。(1 つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 . 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2 . 1歳になる前に復帰したい |
|-----------------------|------------------|

(2) 父親の場合



問 2 7 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1 つに○)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 . 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問27-1 へ |
| 2 . 現在も育児休業中である | ⇒ 問27-4 へ |
| 3 . 育児休業中に離職した | ⇒ 問28 へ |

問 27 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 2 7 - 1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1 つに○)

※年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

- | |
|--------------------------|
| 1 . 年度初めの入園に合わせたタイミングだった |
| 2 . それ以外だった |

問 2 7 - 2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間	歳	ヶ月
希 望	歳	ヶ月

問 27-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 2 7 - 3 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 . 希望する保育所に入園するため |
| 2 . 配偶者や家族の希望があったため |
| 3 . 経済的な理由で早く復帰する必要があるため |
| 4 . 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5 . その他〔 |

〕

(2) 希望より遅く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 . 希望する保育所に入れなかったため |
| 2 . 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため |
| 3 . 家族や配偶者の希望があったため |
| 4 . 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5 . 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6 . その他〔 |

〕

問 27 で「2」に○をした方にうかがいます。

問 2 7 - 4 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。(1 つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 . 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2 . 1歳になる前に復帰したい |
|-----------------------|------------------|

自主的な活動への参加状況についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 2 8 あなたは子育てに関するサークル等自主的な活動に参加していますか。(1つに○)

1. 現在参加している
2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問 2 9 自主活動をしていくにあたって行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。
(2つまで○)

1. 活動場所の提供(場所貸し等)
2. 情報発信やPR等に関する支援(掲示板の開放等)
3. 活動時間中の保育サービス
4. 活動資金助成
5. コミュニティ主催の子育て支援講座
6. その他〔 〕

児童虐待についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 3 0 児童福祉法の規定に基づき、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、通告を行う義務が定められています。あなたは児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、どちらに通報、相談しようと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 桂川町役場 | 2. 児童相談所 |
| 3. 福祉事務所 | 4. 学校 |
| 5. 民生児童委員 | 6. その他〔 〕 |

問 3 1 あなたはどのような行為が児童虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要以上に大声でしかる
2. 感情のままにたたく
3. 食事を与えない
4. 子どもなんかいないと思ったり、子どもに言ったりする
5. 泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとする
6. 子どもに物を投げつける

子育て全般についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 3 2 あなたは、自分の子どもについて、近所や地域の人たちにどのようなことをしてもらいたいと思いますか。(2つまで○)

1. 危険な目にあいそうなときの保護等
2. 子どもの行動に対してしかったり、ほめたりする
3. 屋外で遊ぶときの見守り
4. 緊急な用事等の際の一時預かり
5. 遊び等への積極的なかわり
6. その他〔 〕
7. 特にない

問33 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。（1つに○）

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない	4. そう思わない
5. わからない	

問34 本町の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

①あなたは、各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ○をつけてください。

②あなたは、各項目についてどの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ○をつけてください。

評価等 項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
■記載例 1. 親子が安心して集まれる身近な場	○1	2	3	4	5	1	○2	3	4	5
1. 親子が安心して集まれる身近な場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 親子で楽しめるイベントの開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 保育所の数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 幼稚園の数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 学童保育所（放課後児童クラブ）の数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 保育所にかかる出費負担の軽減	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 幼稚園にかかる出費負担の軽減	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 誰でも気軽に利用できる保育や家事サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進等企業に対しての職場環境の改善の働きかけ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 子育てについて学べる機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問35 桂川町の子育て支援に関するご意見や感想等をご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



**調査にご協力いただき、
大変ありがとうございました。**

※幼稚園・保育園等で配布された方は、同封の返信用封筒
に入れて、12月20日(金)までに幼稚園・保育園等に提出し
てください。

※郵便で送られてきた方は、同封の返信用封筒(切手不要)に
入れて、12月20日(金)までにポストにご投函ください

桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査

— 小学生児童保護者用 —

《アンケートへのご協力についてのお願い》

皆様には、日頃より桂川町政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。さて、本町では子育て支援のためのさまざまな施策を実施しておりますが、国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、新制度の基礎自治体となる市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけされました。

これを受けて本町では、平成 27 年度を初年度とする『桂川町子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、町民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見等を把握するべく、「桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、小学生のお子さんの保護者の方を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、桂川町や国・県の子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月
桂川町長 井上 利一

※ご記入にあたってのお願い

- ① 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん（対象のお子さんが何人もおられる場合は末子のお子さん）**についてご記入ください。
- ② アンケートには、お子さんの身の回りの世話等を主にしている保護者の方がご記入ください。
- ③ ご回答は、選択肢に○を付けてお選びいただく場合と、数字等を具体的にご記入いただく場合がございます。
- ④ 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いしている設問があります。その場合は説明文、矢印等に従ってお答えください。
- ⑤ “○”をつける数については、“（1 つに○）”、“（あてはまるものすべてに○）”等の案内がありますので、設問ごとの案内にしたがってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を〔 〕内にご記入ください。
- ⑥ ご記入がすみましたら、お手数ですが...

※学校で配布された方は、**同封の返信用封筒に入れて、12月20日(金)までに学校**に提出してください。

※郵便で送られてきた方は、**同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月20日(金)までにポストにご投函ください。**

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

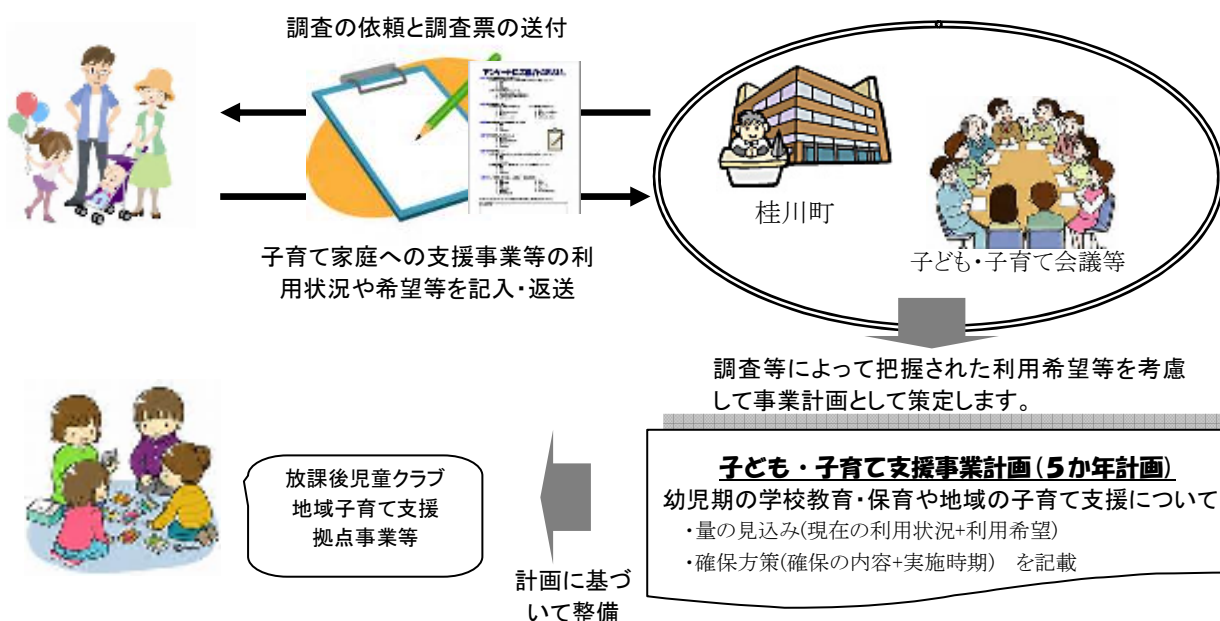
桂川町 健康福祉課 担当：江藤・大浦
電話：65-0001 FAX：65-0078

回答するにあたってお読みください。

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいたご回答は子育て支援の充実に生かされます。



あて名のお子さんのことや子育て環境についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を教えてください。(1つに○)

1. 桂川小学校

2. 桂川東小学校

問2 あて名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

平成

年

月生まれ

年生

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

人

末子の生年月

平成

年

月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)

1. 母親

2. 父親

3. その他〔〕

問5 この調査票にご回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)

1. 29歳以下

2. 30代

3. 40代

4. 50代

5. 60代

6. 70歳以上

問6 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)

1. 配偶者がいる

2. 配偶者がいない

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)
※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他〔〕

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる

4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

5. いずれもない ⇒ 問10へ

問9 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族

2. 友人・近所の人・保護者仲間

3. 保育士や幼稚園・学校等の先生

4. 病院の医師・看護師・助産師

5. 役場や社会福祉協議会等の職員

6. 区長、民生児童委員

7. その他〔〕

8. だれもない

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 10 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

（①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答）

※以下の就労形態は、もっとも多い就労形態についてお答えください。

※家を出る時間と帰宅時間は 24 時間制（分単位を切り捨て）でお答えください。

（例：18 時）

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※フルタイムとは、常勤・非常勤に関わらず週 5 日程度かつ 1 日 8 時間程度の就労のこと。

※パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労のこと。

	①母親	②父親
1. フルタイムで就労している ⇒ 問 11 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問 11 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
3. パート・アルバイト等で就労している ⇒ 問 10-1 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問 10-1 へ		
◆就労日数は 1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆就労時間は 1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日
◆家を出る平均的な時間は何時ごろですか。	時	時
◆平均的な帰宅時間は何時ごろですか。	時	時
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問 10-2 へ		
6. これまでに就労したことがない ⇒ 問 10-2 へ		

問 10 で「3」または「4」に○をした方にうかがいます。

問 10-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

	①母親	②父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある		
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない		
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望		
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい		

問 10 で「5」または「6」に○をした方にうかがいます。

問 10-2 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

※「2. 1 年より先、一番下の子どもが～」を選択した場合、対象のお子さんの具体的な年齢を()内にお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

	①母親	②父親
1. 子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)		
2. 1 年より先、一番下の子どもが() 歳になったころに就労したい ⇒ 問 10-3 へ		
3. すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい ⇒ 問 10-3 へ		

問 10-2 で「2」または「3」に○をした方にうかがいます。

問 10-3 就労希望の形態はどのようなものですか。

(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

	①母親	②父親
1. フルタイム		
2. パート・アルバイト等		
◆希望する就労日数は1 週あたり何日ですか。	日/週	日/週
◆希望する就労時間は1 日あたり何時間ですか。	時間/日	時間/日



あて名のお子さんの学童保育所（放課後児童クラブ） の利用についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

【学童保育所（放課後児童クラブ）とは】

地域によって学童保育等と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合等に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 1 1 あて名のお子さんは現在、学童保育所（放課後児童クラブ）を利用していますか。
（1つに○）

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 利用している | ⇒ 問 11-1～3 へ |
| 2. 利用していない | ⇒ 問 11-4 へ |

問 11 で「1. 利用している」に○をした方にうかがいます。

問 1 1 - 1 平日と土曜日、夏休みや冬休み等長期の休暇期間中について、利用状況をお答えください。（それぞれ1つに○）利用している場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

※利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

（1）平日

1. 利用していない			
2. 利用している→ ◆週あたりの利用日数（ ）日			
現在の 利用時間帯	下校時間から	時	分まで

（2）土曜日

1. 利用していない			
2. 利用している→ ◆月あたりの利用日数（ ）日			
現在の 利用時間帯	時	分	から 時 分まで

（3）夏休みや冬休み等長期の休暇期間中

1. 利用していない			
2. 利用している→ ◆週あたりの利用日数（ ）日			
現在の 利用時間帯	時	分	から 時 分まで

問 11-2 現在、通っている学童保育所（放課後児童クラブ）に対してどのように感じていますか。
（1～12 及び総合的な満足度それぞれ 1 つに○）

項 目	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満
1. 施設・設備					
2. 利用できる曜日や時間					
3. 利用できる学年					
4. 職員等の配置状況（人員体制）					
5. 子どもへの接し方・指導内容					
6. 病気やケガの時の対応					
7. 保護者への情報伝達					
8. 悩みごと等への相談対応					
9. 保護者の要望・意見への対応					
10. 利用者間のネットワークづくり					
11. 事故防止や災害時避難等の安全対策					
12. 総合的な満足度					

問 11-3 現在、利用している理由を教えてください。（1 つに○）

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している 2. 就労予定がある／求職中である 3. 家族・親族等を介護しなければならない 4. 病気や障がいがある 5. 学生である 6. その他〔	〕
--	---

問 11 で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問 11-4 利用していない理由は何ですか。（1 つに○）

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していない 2. 就労しているが、学童保育所（放課後児童クラブ）を知らなかった 3. 就労しているが、近くに学童保育所（放課後児童クラブ）がない 4. 就労しているが、学童保育所（放課後児童クラブ）に空きがない 5. 就労しているが、学童保育所（放課後児童クラブ）の開所時間が短い 6. 就労しているが、利用料がかかる 7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしている 8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う 9. 就労しているが、他の施設に預けている 10. その他〔	〕
---	---

すべての方にうかがいます。

問 1 2 あて名のお子さんについて、今後の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用意向はありますか。現在利用中の方も教えてください。（それぞれ 1 つに○）利用を希望する場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯も教えてください。※利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

（１）平日

1. 利用する必要はない			
2. 利用したい → ◆週あたりの利用日数（ ）日			
希望する 利用時間帯	下校時間から	時 分	まで

（２）土曜日

1. 利用する必要はない			
2. 利用したい → ◆月あたりの利用日数（ ）日			
希望する 利用時間帯	時 分	から	時 分まで

（３）夏休みや冬休み等長期の休暇期間中

1. 利用する必要はない			
2. 利用したい → ◆週あたりの利用日数（ ）日			
希望する 利用時間帯	時 分	から	時 分まで

問 12 で（１）から（３）のいずれかで「2. 利用したい」に○をした方にうかがいます。

問 1 2 - 1 今後、学童保育所（放課後児童クラブ）を利用したいと考えている理由はどのようなことですか。（1 つに○）

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している 2. 就労予定がある／求職中である 3. そのうち就労したいと考えている 4. 家族・親族等を介護しなければならない 5. 病気や障がいを持っている 6. 学生である／就学したい 7. 就労していないが、子どもの教育等のために預けたい 8. その他〔	〕
--	---

問 1 2 - 2 学童保育所（放課後児童クラブ）に対してどのようなことを希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用時間の延長 2. 日曜日・祝日の保育 3. 施設・設備の改善 4. 学習・生活習慣づくりの充実 5. おやつの実施 6. その他〔	〕
7. 現在のままでよい	

**あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

すべての方にうかがいます。

問 1 4 あて名のお子さんについて、病気等のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。

(あてはまるものすべてに○、あわせて () 内に数字記入)

1.	ファミリーサポートセンター ※現在、桂川町にはありません （地域住民が子どもを預かる事業）	()日
2.	夜間養護等事業：トワイライトステイ ※現在、桂川町にはありません （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	()日
3.	ベビーシッター	()日
4.	その他〔 〕	()日
5.	利用していない	

問 15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	計（ ）日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ 目的	（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日
ウ. 不定期の就労	（ ）日
エ. その他〔 〕	（ ）日
2. 利用する必要はない	

問 16 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法と泊数もお答えください。

1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他〔 〕	（ ）日
2. なかった		

自主的な活動への参加状況についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 1 7 あなたは子育てに関するサークル等自主的な活動に参加していますか。(1つに○)

- 1 . 現在参加している
- 2 . 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
- 3 . 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問 1 8 自主活動をしていくにあたって行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。
(2つまで○)

- 1 . 活動場所の提供(場所貸し等)
- 2 . 情報発信やPR等に関する支援(掲示板の開放等)
- 3 . 活動時間中の保育サービス
- 4 . 活動資金助成
- 5 . コミュニティ主催の子育て支援講座
- 6 . その他〔

〕

児童虐待についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 1 9 児童福祉法の規定に基づき、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、通告を行う義務が定められています。あなたは児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、どちらに通報、相談しようと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 . 桂川町役場 | 2 . 児童相談所 |
| 3 . 福祉事務所 | 4 . 学校 |
| 5 . 民生児童委員 | 6 . その他〔 |

〕

問 2 0 あなたはどのような行為が児童虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 . 必要以上に大声でしかる
- 2 . 感情のままにたたく
- 3 . 食事を与えない
- 4 . 子どもなんかいないと思ったり、子どもに言ったりする
- 5 . 泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとする
- 6 . 子どもに物を投げつける

子育て全般についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 2 1 あなたは、自分の子どもについて、近所や地域の人たちにどのようなことをしてもらいたいと思いますか。(2つまで○)

1. 危険な目にあいそうなどの保護等
2. 子どもの行動に対してしかったり、ほめたりする
3. 屋外で遊ぶときの見守り
4. 緊急な用事等などのときの一時預かり
5. 遊び等への積極的なかわり
6. その他〔 〕
7. 特にない

問 2 2 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 2 3 本町の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

①あなたは、各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ○をつけてください。

②あなたは、各項目についてどの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ○をつけてください。

評価等 項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
■記載例 1. 親子が安心して集まれる身近な場	○1	2	3	4	5	1	○2	3	4	5
1. 親子が安心して集まれる身近な場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 親子で楽しめるイベントの開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 保育所の数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 幼稚園の数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 学童保育所（放課後児童クラブ）の数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 保育所にかかる出費負担の軽減	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 幼稚園にかかる出費負担の軽減	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 誰でも気軽に利用できる保育や家事サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進等企業に対しての職場環境の改善の働きかけ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 子育てについて学べる機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問24 桂川町の子育て支援に関するご意見や感想等をご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

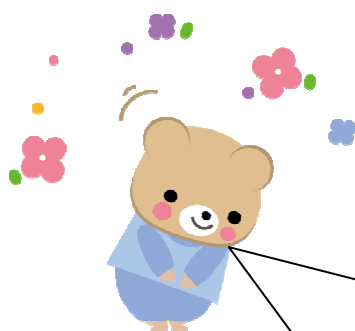
.....

.....

.....

.....

.....



**調査にご協力いただき、
大変ありがとうございました。**

※学校で配布された方は、同封の返信用封筒に入れて、12月20日(金)までに学校に提出してください。

※郵便で送られてきた方は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月20日(金)までにポストにご投函ください。